



KONICA MINOLTA

bizhub 3320

ユーザーズガイド

2013. 8

A6WP-9560-00K

目次

1—安全にお使いいただくために	7
2—本機について	12
本機についての情報とその参照先	12
設置場所を選ぶ	13
本機の構成について	14
スキャナーの基本機能について	16
ADF と原稿ガラスの使い方	16
操作パネルの使い方	17
インジケータおよびスリープボタンのランプの色について	18
3—追加のセットアップ	20
内蔵オプションを取付ける	20
ハードウェアオプションを取付ける	24
ケーブルの接続	27
プリンターソフトウェアをセットアップする	28
ネットワークでの接続	30
セットアップ状態を確認する	37
4—用紙や専用紙をセットする	39
用紙サイズと用紙タイプを設定する	39
ユニバーサル用紙を設定する	39
トレイに用紙をセットする	40
多目的フィーダーに用紙をセットする	44
各トレイの用紙タイプと用紙サイズのリンク設定/解除	48
5—用紙について	52
適切な用紙を選択するために	52
サポートされる用紙の大きさ、種類、重さ	54

特殊紙について.....	58
用紙の保管.....	60
6—印刷.....	61
文書を印刷する.....	61
コンフィデンシャルジョブと保持されたジョブの印刷.....	62
情報ページの印刷.....	65
印刷ジョブをキャンセルする.....	65
7—コピー.....	67
コピーする.....	67
写真をコピーする.....	68
特殊な用紙にコピーする.....	69
設定を変更してコピーする.....	71
情報を付加してコピーする.....	77
コピージョブをキャンセルする.....	77
コピーで設定できる機能について.....	77
8—E メール.....	81
本機の E メール機能を設定する.....	81
E メールショートカットを作成する.....	82
原稿を E メールで送る.....	83
Eメールの送信をキャンセルする.....	83
9—ファクス.....	84
本機のファクス機能を設定する.....	84
ファクス送信.....	96
内蔵 Web サーバー機能で FAX ショートカットを作成する.....	98
設定を変更してファクスを送信する.....	98
ファクスの送信をキャンセルする.....	100
受信ファクスの保留と転送.....	101
ファクスで設定できる機能について.....	102

10—スキャン	104
FTP アドレスにスキャン	104
コンピューターにスキャン	106
11—設定メニューについて	108
メニュー一覧	108
[用紙メニュー]	109
[レポート]メニュー	122
[ネットワーク/ポート]メニュー	123
[セキュリティ]メニュー	132
[設定]メニュー	134
12—環境保護のために	182
用紙とトナーの節約	182
節電する	183
13—セキュリティに関する機能	187
データの揮発性に関する注意	187
揮発性メモリーの情報を消去する	187
不揮発性メモリーの情報を消去する	187
14—メンテナンス	189
本機を清掃する	189
消耗品および各部の状態を確認する	191
推定残りページについて	191
消耗品の注文について	191
消耗品の保管	193
消耗品を交換する	194
本機を移動する	198
15—本機の管理について	200
ネットワーク設定と管理者情報を確認する	200
仮想ディスプレイを確認する	200

E メールアラートセットアップ	200
レポートを確認する	201
内蔵 Web サーバー機能で消耗品通知を設定する	201
出荷時設定に戻す	202
16—紙づまりの処理	203
紙づまりを起こさないためには	203
紙づまりのメッセージと発生箇所について	205
紙づまり[20y.xx].....	206
紙づまり[20y.xx].....	209
紙づまり[20y.xx].....	210
紙づまり[23y.xx].....	211
紙づまり[24y.xx].....	212
紙づまり[25y.xx].....	213
スキャナの紙づまり。スキャナから原稿をすべて取り除いてください[28y.xx].....	214
17—トラブルシューティング	215
表示されるメッセージについて	215
ハードウェアに関する問題を解決する	230
印刷に関する問題を解決する	238
コピーに関する問題を解決する.....	273
ファクスに関する問題を解決する	277
スキャナーに関する問題を解決する.....	286
内蔵 Web サーバー機能の画面が開かない.....	292
サポートとサービスのご案内.....	294
18—付録.....	295
著作権について.....	295
本書について	295
登録商標および商標	295
ソフトウェア使用許諾契約書	296

ユーザーズガイド

騒音レベル.....	297
温度仕様条件	297
製品の廃棄	297
国際エネルギースタープログラム対応について	298
消費電力.....	299

1—安全にお使いいただくために

製品を安全にお使いいただくために、必ず以下の「取扱上の注意」をよくお読みになってください。また、このユーザーズガイドの内容を十分理解してから、本機の電源を入れるようにしてください。

電源コードを接続する電源コンセントは、電源プラグがすぐに抜けるよう本機の近くで十分なスペースがあり、正しくアース接地されているコンセントを利用してください。

本機を水の近くや濡れやすい場所に設置しないでください。

 **注意—感電の恐れがあります:**雷雨の際は FAX 機能を使用しないでください。また、雷雨の際は、本機のセットアップや、FAX 機器、電源コード、電話線などのケーブル接続作業を行わないでください。

 **注意—ケガをする可能性があります:**機器のバランスが不安定にならないよう、トレイは個別に給紙してください。1つのトレイに用紙をセットしているうちは、他のトレイはすべて閉じておきます。

ユーザーズガイドなど同梱のマニュアルに記載されている以外の修理やサービスについては、サービス技術者にお尋ねください。

本機は、指定の部品を装着して使用した場合に、安全性に関する厳しい世界標準を満たすように設計されています。一部の部品の安全性に関する機能は開示されていない場合があります。また、指定以外の交換部品の使用については責任を負わないものとします。

 **注意—感電の恐れがあります:**すべての機器の接続（イーサネットケーブルおよび電話線の接続など）が適切なポートに正しく行われていることを確認してください。

 **注意—ケガをする可能性があります:**本機はレーザーを使用しています。本書に記載されている以外の制御や調整、操作を行うと有害なレーザー照射にさらされる危険性があります。

本機は印刷時に用紙を加熱する処理を行うため、化学物質が放散される可能性があります。有害物質を発生させないように、あらかじめ各説明書に記載されている使用可能な用紙の項目を確認し、適切な用紙を使用してください。

 **注意—表面が高温になっています:**本機の内部が高温になっている場合があります。高温になった部品で火傷などを負わないように、表面が冷えてから処理してください。

 **注意—ケガをする可能性があります:**本機に使用されているリチウム電池は交換するように設計されておりません。誤って交換しようとした場合は破裂する危険性があります。本機内部のリチウム電池は、絶対に充電、分解、焼却処分をしないでください。リチウム電池の処分が必要な場合は、お買上げのサービス実施店にお問合わせください。

本機を一般の電話回線に接続するには、付属の RJ-11 コネクタ規格か、AWG26 規格、または広く利用されている電話通信ケーブルを使用してください。

 **注意—ケガをする可能性があります:**電源コードを切断したり、結んだり、束ねたり、傷を付けたりしないでください。また、コードの上に重いものを置いたりしないでください。電源コードがこすれたり、引っ張られたりする状態で使用しないでください。電源コードを家具や壁などの間に挟まないでください。以上のことを守らないと、火災

や感電の原因になる恐れがあります。電源コードが以上の状態になっていないか、定期的に確認してください。確認の前には、電源コードをコンセントから抜いてください。

 **注意—感電の恐れがあります**: 感電の危険を避けるため、本機の外側の掃除を始める前に電源コードをコンセントから抜き、接続されているすべてのコードやケーブルを外します。

本製品に付属する、または製造元が代替品として認可した電源コードのみを使用してください。

 **注意—傾く恐れがあります**: 床に設置する場合は、別途固定するための部品が必要です。大容量トレイまたはその他の給紙オプション、複数の給紙オプションを使用するときは、プリンタースタンドまたはプリンター台のどちらかが必要です。スキャン機能、コピー機能、ファクス機能が付いた多機能プリンター(MFP)を購入した場合は、このような固定する部品が必要になります。

 **注意—感電の恐れがあります**: 設置後に本機のコントローラーボードに触れる必要がある場合や、オプションのハードウェアやメモリーデバイスを取付ける場合、作業を行う前に本機の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。本機に他の機器を接続している場合はそれらの機器の電源も切り、本機に接続しているコードやケーブルを抜いてください。

 **注意—ケガをする可能性があります**: 本機の重量は 18 kg を超えています。持ち上げる場合は、安全のため訓練された 2 人以上で持ち上げてください。

 **注意—ケガをする可能性があります**: 本機を移動する際は、ケガや本機の破損を避けるため、以下のことに注意してください。

- 電源スイッチで本機の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。
- 本機を移動する前に、コードやケーブル類をすべて外してください。
- オプションのトレイが取付けられている場合、本機からトレイを取外します。オプションのトレイを取外すには、トレイの右側面のラッチをトレイの正面に向けてカチッと音がするまでスライドさせます。
- 本機を持ち上げるときは、本機の両側面にある持ち手を使用します。
- 本機を床などに置くときは指が本機の下に挟まれないように注意してください。
- 本機を設置する前に、本機の周囲に操作するために十分なスペースがあることを確認してください。

このユーザーズガイドは大切に保管してください。

●絵記号の意味

この使用説明書および製品への表示では、製品をただしくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を追う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵表示の例



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。

 警告	 <ul style="list-style-type: none"> 本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。
 <ul style="list-style-type: none"> 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。 この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っばったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。 	 <ul style="list-style-type: none"> 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。 タコ足配線をしないでください。コンセントに表示された電流値を超えて使用すると、火災、感電のおそれがあります。 原則的に延長コードは使用しないで下さい。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご相談ください。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。

	<p>警告</p>
	<p>必ずアース(接地)接続してください。アース(接地)接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> アース(接地)接続する場合は必ず電源プラグを電源に取付ける前に行ってください。 アース(接地)接続を取外す場合は必ず電源プラグを電源から取外してから行ってください。 <p>アース線を接続する場合は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> コンセントのアース端子 接地工事を施してある接地端子(第D種) <p>次のような所には絶対にアース線を取付けしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ガス管(ガス爆発の原因になります) 電話専用アース(落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります) 水道管(途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります)
	<p>本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。 本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。
	<p>トナーまたはトナーの入った容器を火中に投げないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。</p>

	<p>注意</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。インストラクションガイドで固定脚を使用するよう指示がある製品については、固定脚で本体を固定してください。動いたり、倒れたりして怪我の原因になることがあります。
	<p>本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分(定着器周辺など)に、触れないでください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。 本製品の周囲で引火性のスプレーや液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。 トナーカートリッジや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> プラグを抜くときは電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 電源プラグのまわりに物を置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。

 **注意**



本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
連休等で本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。
- 本製品を狭い部屋等で使用される場合は、定期的に部屋の換気をしてください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性があります。
- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

2—本機について

本機についての情報とその参照先

必要な情報	参照先
<p>最初のセットアップについて:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本機を接続する • プリンターソフトウェアをインストールする 	<p>設定マニュアル—設定マニュアルは本機に付属しています。</p>
<p>追加のセットアップと使用方法:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 用紙と専用紙を選ぶ、保管する • 用紙をセットする • プリンター設定を変更する • 文書と写真を確認して印刷する • プリンターソフトウェアのセットアップと使用方法 • ネットワーク接続で設定する • お手入れやメンテナンスについて • トラブルシューティング(トラブルとその対応について) 	<p>『ユーザーズガイド』および『クイックリファレンスガイド』—これらのガイドは『Drivers and Documentation CD』に収録されています。</p>
<p>以下の情報:</p> <ul style="list-style-type: none"> • イーサネットネットワークに接続する • 接続に関する問題の対処方法 	<p>『ネットワークガイド』—『Drivers and Documentation CD』に収録されています。CD をコンピューターに挿入し、CD メニューから[取扱説明書]をクリックします。左側のナビゲーション枠で[ユーザーズガイドとその他の説明書]→[ネットワークガイド]をたどって開きます。</p>
<p>以下の項目についての最新情報、更新、および技術サポート情報:</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザーズガイド(取扱説明書) • ドライバーのダウンロード 	<p>コニカミノルタホームページ: http://www.konicaminolta.jp/</p> <p>メモ: あらかじめ以下の情報(保証書や本体背面で確認できます)を記録しておいていただくと、サービス実施店へのお問い合わせ時にスムーズに確認ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 製品型番 • シリアル番号 • ご購入日 • ご購入販売店

必要な情報	参照先
保証に関する情報	保証に関する情報は、本製品の保証書をご覧ください。

設置場所を選ぶ

⚠️注意—ケガをする可能性があります:本機の重量は 18 kg を超えています。持ち上げる場合は、安全のため訓練された 2 人以上で持ち上げてください。

設置場所を選ぶときは、トレイ、カバー、ドアを開くための十分なスペースを確保します。ハードウェアオプションを取付ける予定がある場合は、それらの分のスペースも確保します。以下の点を確認してください。

- 正しく接地され、抜き差しが容易な電源コンセントの近くに設置します。
- 設置面が平らかつ丈夫で、安定していることを確認します。
- 本機を以下の状態に保つようしてください。
 - 清潔で乾燥した、ほこりのない状態にします。
 - 箱に入っていないステープルの針やペーパークリップを近くに置かないようにします。
 - エアコン、ヒーター、換気装置の風が直接当たらないようにします。
 - 直射日光、極度な湿気、激しい気温の変動を避けます。
- 以下の推奨温度内になるよう注意してください。激しい変動を避けてください。

操作環境の温度	15.6~32.2°C
保管時の温度	-40~40°C

- 適切な換気のために本機の周りには以下の空間を確保するようにしてください:



1	右側	110 mm
2	前面	305 mm
3	左側	65 mm
4	背面	100 mm
5	上面	540 mm

本機の構成について

⚠️ 注意—傾く恐れがあります: 床に設置する場合は、別途固定するための部品が必要です。大容量トレイまたはその他の給紙オプション、複数の給紙オプションを使用するときは、プリンタースタンドまたはプリンター台のどちらかが必要です。スキャン機能、コピー機能、ファクス機能が付いた多機能プリンター (MFP) を購入した場合は、このような固定する部品が必要になります。

⚠️ 注意—ケガをする可能性があります: 機器のバランスが不安定にならないよう、トレイは個別に給紙してください。1つのトレイに用紙をセットしているうちは、他のトレイはすべて閉じておきます。

本機には、オプションの 250 枚または 550 枚トレイを 1 つ、追加できます。オプションのトレイの装着について、詳しくは、以下の項目をご覧ください。

参照⇒「[オプショントレイを取付ける](#)」

ユーザーズガイド



1	操作パネル
2	自動原稿フィーダー(ADF)
3	ADFトレイ
4	ADF 排紙トレイ
5	前面ドア解除ボタン
6	標準用紙トレイ(容量 250 枚)
7	オプション用紙トレイ(容量 250 枚/容量 550 枚)
8	多目的フィーダー(容量 50 枚)
9	排紙ストッパー
10	標準排紙トレイ

スキャナーの基本機能について

- 簡単なコピーから特殊なコピーまで可能です。
- 操作パネルで指定してファクスを送信できます。
- 同時に複数の宛先にファクスを送信できます。
- 原稿をスキャンして、コンピューターや電子メールアドレス、または FTP の宛先に送信します。
- 文書をスキャンして、別のプリンターに PDF 文書として送信します (FTP 経由)。

ADF と原稿ガラスの使い方

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿ガラス
 <p>ADF (自動原稿フィーダー) の画像。紙がトレイにセットされ、赤い矢印がスキャン方向を示しています。</p> <p>複数ページの原稿をスキャンするときに使用します。</p>	 <p>原稿ガラスの画像。カバーが開かれ、紙がガラスの上に置かれています。</p> <p>1 ページの原稿や本のページ、小サイズの原稿 (ハガキや写真など)、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿 (雑誌の切抜きなど) の原稿をスキャンするときに使用します。</p>

ADF を使う

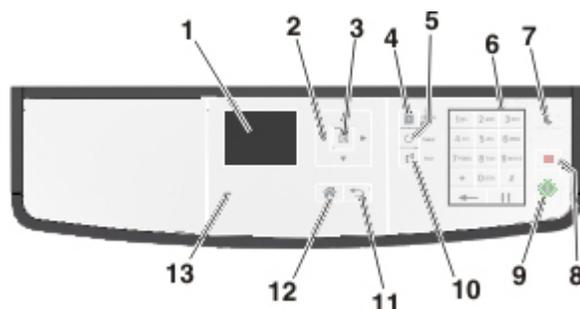
- 原稿は上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。
- ADF トレイには、普通紙を 50 枚までセットできます。
- 74 mm から 217 mm の横幅、105 mm から 356 mm の縦長までのサイズをスキャンできます。
- 52~120 g/m² までの坪量の用紙をスキャンできます。
- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿 (雑誌の切抜きなど) を読込まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。

原稿ガラスを使う

原稿台を使用する場合は：

- 原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥(矢印の部分)に合わせてセットします。
- 216 × 297 mm までのサイズをスキャン/コピーできます。
- 25 mm までの厚さの本をコピーできます。

操作パネルの使い方



	項目	用途
1	ディスプレイ	<ul style="list-style-type: none"> • 本機の状態とメッセージを表示します。 • 本機のセットアップと操作を行います。
2	▲▼◀▶ボタン	上下左右にスクロールします。
3	[OK]ボタン	<ul style="list-style-type: none"> • メニューの設定値を選択します。 • 設定を保存します。
4	アドレスボタン	登録されている宛先を表示します。
5	リダイヤルボタン	最後に送信したファクス番号を表示します。
6	テンキー	数字や文字、記号を入力します。

	項目	用途
7	スリープボタン	スリープモードまたはハイバネートモードを有効にします。 以下の操作でスリープモードから復帰します。 <ul style="list-style-type: none">  (スリープボタン)を押す コンピューターから印刷ジョブを送信する 主電源スイッチで電源 ON/OFF リセットを実行する ファクスを受信する
8	ストップ/キャンセルボタン	動作や設定を停止します。
9	スタートボタン	選択されているモードのジョブ(コピー、スキャンまたはファクス)を開始します。
10	ファクスボタン	ファクスを送信します。
11	戻るボタン	1つ前の画面に戻ります。
12	ホームボタン	ホーム画面に戻ります。
13	インジケータランプ	本機の状態を確認します。

インジケータおよびスリープボタンのランプの色について

操作パネルのインジケータやスリープボタンのランプの色で本機の状態を確認できます。

インジケータランプの色と本機の状態

インジケータランプ	本機の状態
消灯	本機がオフまたはハイバネートモードです。
緑色に点滅	本機がウォーミングアップ中、データ処理中、または印刷中です。
緑色に点灯	本機の電源が入った状態で、アイドル中です。
赤色に点滅	トラブルが発生している状態です。ディスプレイに表示されるメッセージで状態を確認できます。

スリープボタンのランプの色と本機の状態

スリープボタンのランプ	本機の状態
消灯	本機がオフまたは準備完了後のアイドル状態です。
黄色に点灯	本機がスリープモードです。
黄色に点滅	本機がハイバネートモードに移行中かハイバネートモードからの復帰中です。
ゆっくりとした点滅(0.1秒の点灯と1.9秒の消灯)	本機がハイバネートモードです。

3—追加のセットアップ

内蔵オプションを取付ける

 **注意—感電の恐れがあります**：設置後に内部のコントローラーボードに触れる必要がある場合や、オプションのハードウェアやメモリーデバイスを取付ける場合は、作業を行う前に本機の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。他の機器を接続している場合はそれらの機器の電源も切り、接続しているコードやケーブルを抜いてください。

使用可能な内蔵オプション

- メモリーカード
 - UK-P01 アップグレードキット：256MB ユーザーフラッシュメモリー
 - フォント
 - UK-P06 アップグレードキット：繁体語フォントカード
 - UK-P05 アップグレードキット：簡体語フォントカード
 - UK-P04 アップグレードキット：韓国語フォントカード
 - UK-P07 アップグレードキット：日本語フォントカード
- 内蔵ポート(ISP)
 - NC-P03 ワイヤレスネットワークインターフェイスカード Marknet 8352

コントローラーボードにアクセスする

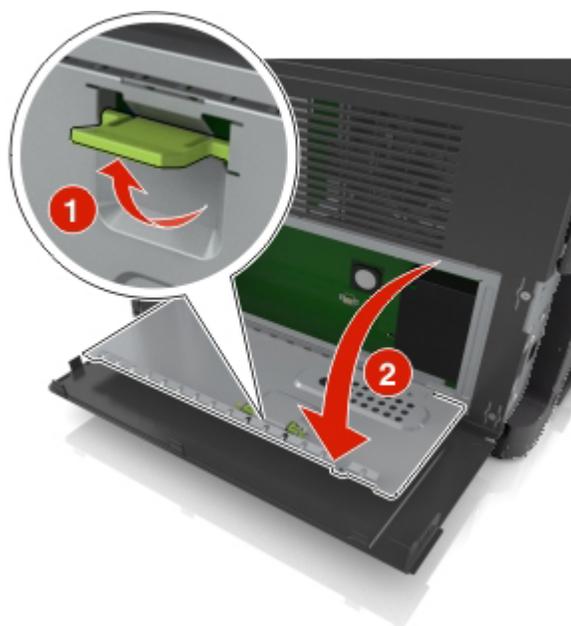
 **注意—感電の恐れがあります**：設置後に内部のコントローラーボードに触れる必要がある場合や、オプションのハードウェアやメモリーデバイスを取付ける場合は、作業を行う前に本機の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。他の機器を接続している場合はそれらの機器の電源も切り、接続しているコードやケーブルを抜いてください。

ユーザズガイド

1. コントローラーボードのアクセスタブを開きます。

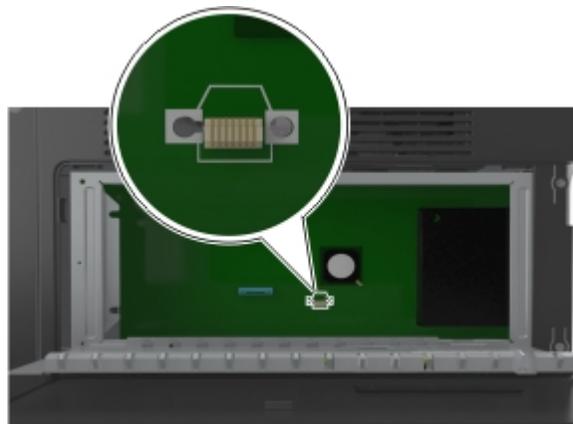


2. 緑のハンドルを持ち上げて、コントローラーボードのシールド板を開きます。

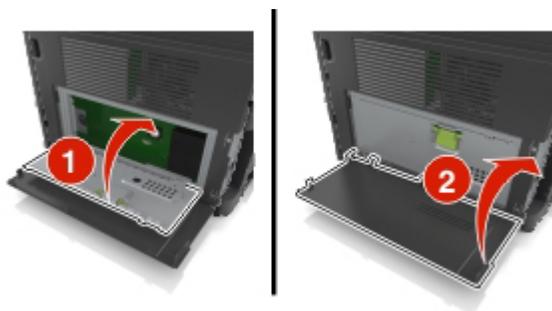


- 以下の図で、オプションカード用のコネクタ位置を確認します。

警告—破損の恐れがあります:コントローラーボードの電子部品は静電気によって破損する恐れがあります。コントローラーボードの電子部品またはコネクタに触れる前に、本機の金属面に触れて、放電してください。



- コントローラーボードのシールド板とアクセスドアを閉じます。



オプションカードを取付ける

⚠️ 注意—感電の恐れがあります:設置後に内部のコントローラーボードに触れる必要がある場合や、オプションのハードウェアやメモリーデバイスを取付ける場合は、作業を行う前に本機の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。他の機器を接続している場合はそれらの機器の電源も切り、接続しているコードやケーブルを抜いてください。

警告—破損の恐れがあります:コントローラーボードの電子部品は静電気によって破損する恐れがあります。コントローラーボードの電子部品またはコネクタに触れる前に、本機の金属面に触れて、放電してください。

- コントローラーボードを開けて操作できるようにします。

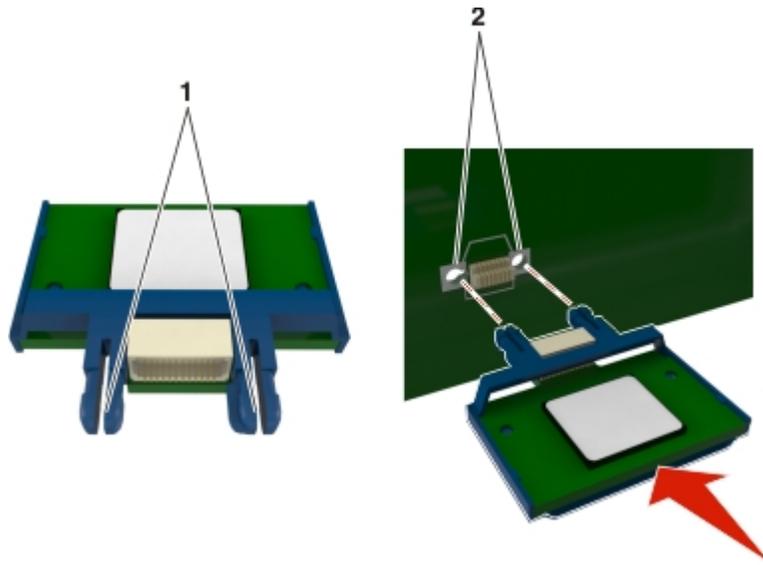
参照⇒「[コントローラーボードにアクセスする](#)」

- オプションカードを梱包から取出します。

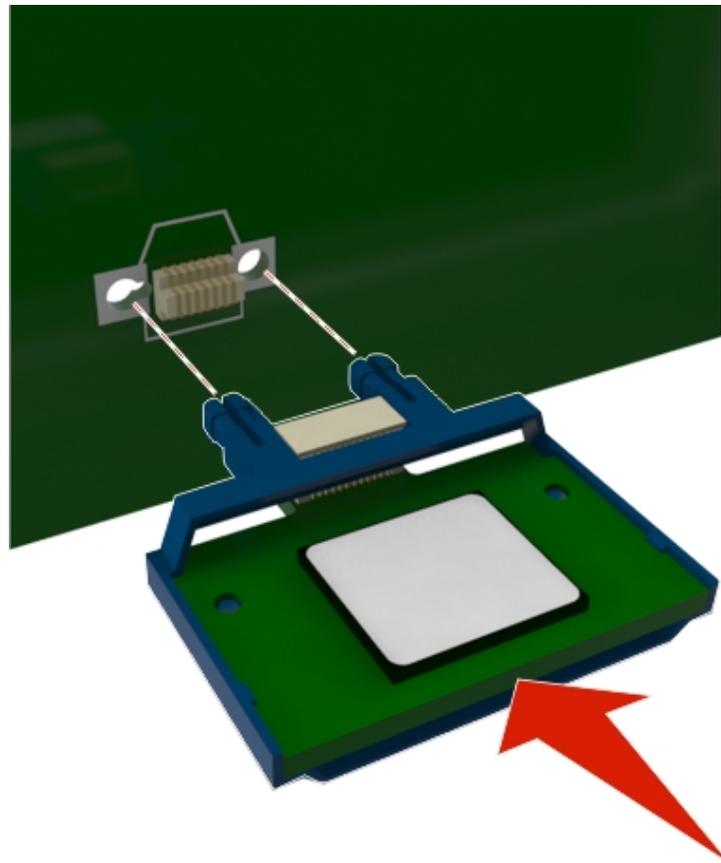
警告—破損の恐れがあります:カードの端にある接点には触れないでください。破損する可能性があります。

ユーザズガイド

3. カードの側面を持ち、カードのプラスチックピン(1)をコントローラーボードの穴(2)に合わせます。



4. 図のように、カードをしっかり押込みます。



警告—破損の恐れがあります:カードを正しく挿入しないと、カードやコントローラーボードを破損する恐れがあります。

メモ:カードのコネクターの端から端までがコントローラーボードのコネクターに密着し、カードが水平になっている必要があります。

5. コントローラーボードのシールド板とアクセスポートを順に閉じます。

メモ:プリンターソフトウェアやハードウェアオプションを追加でセットアップした場合、印刷ジョブで使用できるようにするために、プリンタードライバーの設定でオプションを手動追加する必要がある場合があります。

参照⇒[「プリンタードライバーで利用可能なオプションを更新する」](#)

ハードウェアオプションを取付ける

取付け順について

 **注意—ケガをする可能性があります:**本機の重量は 18 kg を超えています。持ち上げる場合は、安全のため訓練された 2 人以上で持ち上げてください。

 **注意—感電の恐れがあります:**設置後に内部のコントローラーボードに触れる必要がある場合や、オプションのハードウェアやメモリーデバイスを取付ける場合は、作業を行う前に本機の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。他の機器を接続している場合はそれらの機器の電源も切り、接続しているコードやケーブルを抜いてください。

 **注意—傾く恐れがあります:**床に設置する場合は、別途固定するための部品が必要です。大容量トレイまたはその他の給紙オプション、複数の給紙オプションを使用するときは、プリンタースタンドまたはプリンター台のどちらかが必要です。スキャン機能、コピー機能、ファクス機能が付いた多機能プリンター (MFP) を購入した場合は、このような固定する部品が必要になります。

購入したハードウェアオプションは、次の重ね順で取付けてください。

- プリントースタンド
- オプション用紙トレイ (容量 250 枚/容量 550 枚)
- 本機

プリンタースタンド、オプション用紙トレイ (容量 250 枚/容量 550 枚) について、詳しくはオプションに付属のセットアップシートをご覧ください。

オプショントレイを取付ける

 **注意—ケガをする可能性があります:**本機の重量は 18 kg を超えています。持ち上げる場合は、安全のため訓練された 2 人以上で持ち上げてください。

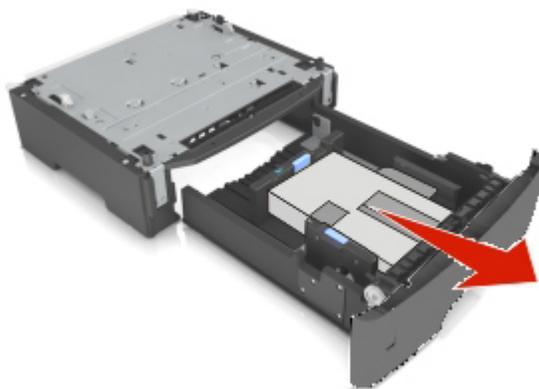
⚠️ 注意—感電の恐れがあります: 設置後に内部のコントローラーボードに触れる必要がある場合や、オプションのハードウェアやメモリーデバイスを取付ける場合は、作業を行う前に本機の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。他の機器を接続している場合はそれらの機器の電源も切り、接続しているコードやケーブルを抜いてください。

⚠️ 注意—傾く恐れがあります: 床に設置する場合は、別途固定するための部品が必要です。大容量トレイまたはその他の給紙オプション、複数の給紙オプションを使用するときは、プリンタースタンドまたはプリンター台のどちらかが必要です。スキャン機能、コピー機能、ファクス機能が付いた多機能プリンター (MFP) を購入した場合は、このような固定する部品が必要になります。

1. 電源スイッチで電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。



2. オプショントレイを梱包材から取出します。梱包材はすべて外してください。
3. 用紙トレイ部分をベースから引出して取外します。

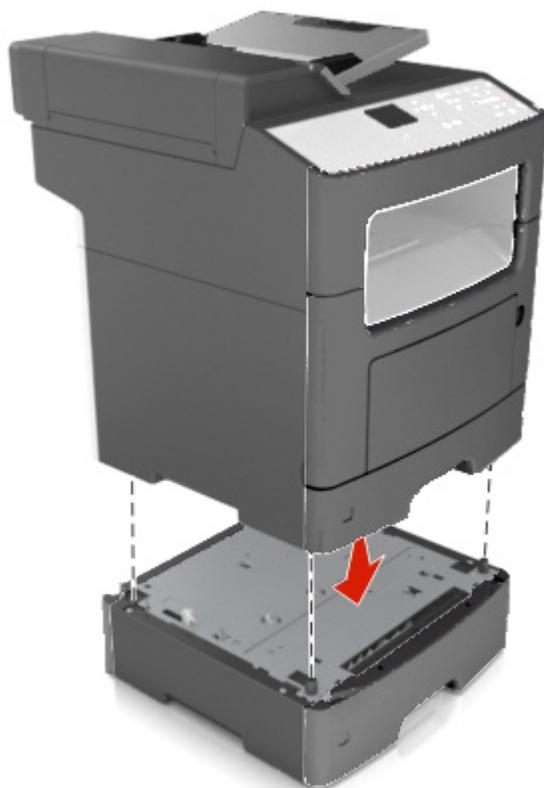


4. トレイ内部の梱包材をすべて取除きます。
5. ベースに用紙トレイを挿入します。
6. 本機の近くにオプショントレイを置いて準備します。

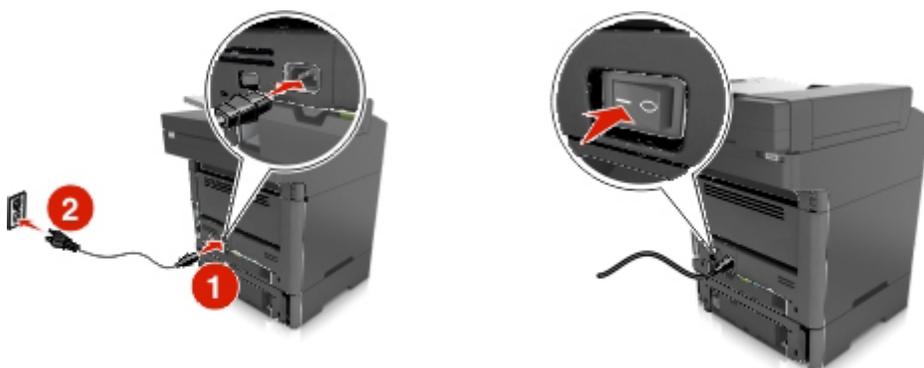
ユーザズガイド

7. 本機を持ち上げ、オプションレイに合わせてから、ゆっくりとオプションレイの上を下ろします。

メモ: オプションレイは本機やオプションレイを上を重ねることで固定されます。



8. 電源コードを接続し、正しくアースしてあるコンセントに接続してから、電源をオンにします。



メモ:

- プリンターソフトウェアやハードウェアオプションを追加でセットアップした場合、印刷ジョブで使用できるようにするために、プリンタードライバーの設定でオプションを手動追加する必要がある場合があります。
参照⇒「[プリンタードライバーで利用可能なオプションを更新する](#)」
- オプションのトレイを取外すときは、右側面のラッチを正面に向けてカチッと音がするまでスライドさせ、積み重なったトレイを上から順に取外してください。

ケーブルの接続

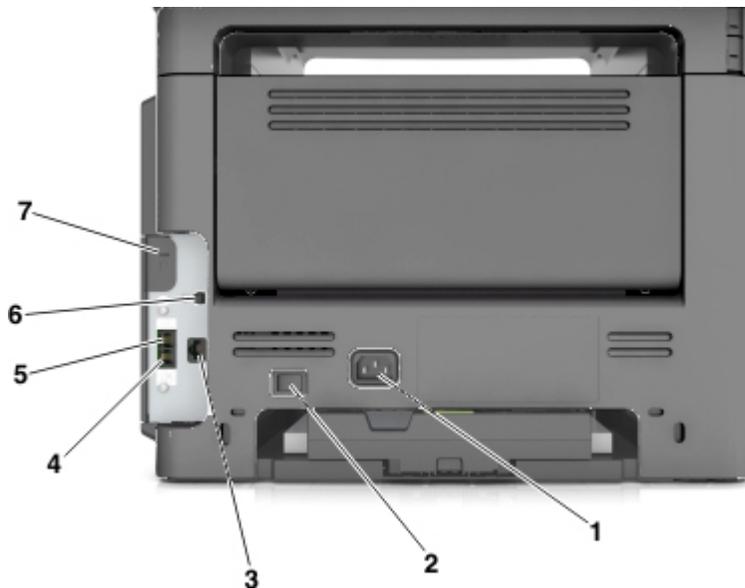
⚠注意—感電の恐れがあります:雷雨の際はFAX機能を使用しないでください。また、雷雨の際は、本機のセットアップや、FAX機器、電源コード、電話線などのケーブル接続作業を行わないでください。

ローカル接続の場合はUSBケーブルでコンピューターに、ネットワーク接続の場合はイーサネットケーブルでネットワークに接続します。

次のことに注意してください。

- USBケーブルはケーブルのUSBマークと本機のUSBマークを合わせて挿入してください。
- イーサネットポートに対応するイーサネットケーブルを準備してください。

警告—破損の恐れがあります:印刷中はUSBケーブルやイーサネットアダプター、本機の以下の部品には触らないでください。データの欠損や誤動作する恐れがあります。



	項目	用途
1	電源インレット	コンセントに接続する電源コードを挿入します。接地処理されたコンセントに接続してください。

	項目	用途
2	電源スイッチ	電源をオン/オフします。
3	イーサネットポート	イーサネットネットワークに接続するイーサネットケーブルを挿入します。
4	外付け電話機接続用ポート(EXT)	外付けの電話機や留守番電話機と本機を電話線で接続します。ファクス専用回線がなく、通話用の電話回線と共用するときなどに利用します。 メモ: ポートを使用するときは、プラグを取外してください。
5	回線ポート(LINE)	ファクスを送受信するために、本機を電話回線に接続する電話通信ケーブルを接続します。接続は、一般的な壁面の電話ジャック(RJ-11)やDSLフィルターまたはVoIPアダプター、その他のアダプターを使用しているときはそれらの機器のポートに接続します。
6	USB プリンターポート	コンピューターに接続するUSBケーブルを挿入します。
7	セキュリティスロット	盗難を防止するロックを取付けます。

プリンターソフトウェアをセットアップする

プリンタードライバーのインストール

Windows の場合

- 『Drivers and Documentation CD』をコンピューターの CD/DVD ドライブに挿入します。
- コンピューターの画面に表示される手順に従います。

メモ: Windows Vista で USB 接続している場合は、PostScript ドライバーがインストールされません。この場合は、[プリンターの追加]ウィザードで USB ポートを選択してインストールしてください。

- [プリンターのインストール]をクリックし、コンピューターの画面に表示される手順に従います。

Macintosh の場合

- 『Drivers and Documentation CD』を Macintosh の CD ドライブに挿入します。
- デスクトップ上の CD アイコン>[Drivers]フォルダー->[Mac]フォルダーの順にダブルクリックしてフォルダーを開き、以下のファイルをダブルクリックします。

→ Mac OS X v10.3/v10.4:「bizhub_4020_3320_103104.pkg」をダブルクリック

- Mac OS X v10.5: [other]フォルダー内の「bizhub_4020_3320_105.pkg」をダブルクリック
- Mac OS X v10.6/v10.7/v10.8: [other]フォルダー内の「bizhub_4020_3320_106.pkg」をダブルクリック

3. インストーラーが起動します。

メモ: Mac OS X 10.6/10.7/10.8 では使用する用紙サイズによってドライバー用の言語フォルダーが異なります。お使いの環境に合わせて選んでください。

- おもにメトリックサイズ(A4 など)で印刷する場合: [other]フォルダー
- おもにインチサイズ(Letter、8 1/2 × 11)で印刷する場合: [english]フォルダー

メモ: お使いの Mac OS X のバージョンに合わせて、以下のドライバー用のファイルをダブルクリックしてください。

- 「bizhub_4020_3320_103104.pkg」(Mac OS X v10.3/v10.4 用)
- 「bizhub_4020_3320_105.pkg」(Mac OS X v10.5 用)
- 「bizhub_4020_3320_106.pkg」(Mac OS X v10.6/v10.7/v10.8 用)

4. 以下の操作でプリンターを追加します。

- a. Mac OS X v10.3/v10.4/v10.5/v10.6 の場合:
アップルメニュー>[システム環境設定]>[プリントとファクス]>[+]または[追加]
Mac OS X v10.7/v10.8 の場合:
アップルメニュー>[システム環境設定]>[プリントとスキャン]>[+]
- b. プリンターを選択します。
- c. [追加]をクリックします。

プリンタードライバーで利用可能なオプションを更新する

ハードウェアオプションを追加でセットアップした場合、印刷時に使用できるようにするために、プリンタードライバーの設定でオプションを手動追加する必要がある場合があります。

Windows の場合

1. コントロールパネルを開きます。

Windows 8 の場合:

[検索]チャームの[アプリ]から[コントロールパネル]を選択します。

Windows 7 以前の場合:

 または[スタート]をクリックして[コントロールパネル]を選択します。

2. [プリンター]ウィンドウを開きます。

- [デバイスとプリンターの表示]または[プリンタ]、[プリンタと FAX]をクリックします。

3. プリンターを選択します。
4. プリンターのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ]をクリックします。
5. [装置情報]タブをクリックします。
6. 以下のどちらかの操作で情報を更新します。
 - [装置情報取得]をクリックします。
 - [装置オプション]で装着したハードウェアオプションを[インストール済み]に手動で設定します。手動で設定を変更できない場合は、[取得設定]をクリックし、[自動取得]のチェックを外して下さい。
7. [適用]をクリックします。

メモ: PSドライバーのフォント代替機能を使って日本語フォントカード内のフォントを指定して印刷することはできません。

Macintosh の場合

1. アップルメニューから、以下のいずれかの順に選択します。
 - Mac OS X v10.3/v10.4/v10.5/v10.6 の場合:
[システム環境設定]>[プリントとファクス]>プリンターを選択>[オプションとサプライ]>[ドライバ]
 - Mac OS X v10.7/10.8 の場合:
[システム環境設定]>[プリントとスキャン]>プリンターを選択>[オプションとサプライ]>[ドライバ]
2. 装着したハードウェアオプションを追加選択し、[OK]をクリックします。

ネットワークでの接続

メモ:

- ワイヤレスネットワーク上にセットアップする場合は、オプションのワイヤレスネットワークアダプターが必要です。ワイヤレスネットワークアダプターの取付け方法などについて詳しくは、アダプターに付属の説明書をご覧ください。
- SSID (Service Set Identifier) は、ワイヤレスネットワーク上で各機器に割当てられる名前です。WEP (Wired Equivalent Privacy)、WPA (Wi-Fi Protected Access)、および WPA2 は、それぞれネットワーク上で使用されているセキュリティの種類です。

イーサネットのネットワークに接続する準備

イーサネットのネットワーク上でセットアップする場合は、作業前に以下の情報を確認しておいてください。

メモ: コンピューターと本機の IP アドレスが自動で割当てられている場合は、そのままインストールに進んでください。

- 本機がネットワーク上で使用できる固有 IP アドレス

- ネットワークゲートウェイ
- ネットワークマスク
- 本機のニックネーム(任意)

メモ: 本機のニックネームを使うと、ネットワーク上で本機を特定するのが簡単になります。ニックネームには、既定のものを選択することも、覚えやすい名前を指定することもできます。

ネットワークへ接続するためには、イーサネットケーブルと、物理的に接続するネットワークポートが必要です。ネットワークケーブルは、損傷による不具合が発生しないよう、新しいネットワークケーブルを使用してください。

イーサネットのネットワーク接続でインストールする

Windows の場合

1. 『Drivers and Documentation CD』をコンピューターの CD/DVD ドライブに挿入します。
2. コンピューターの画面に表示される手順に従います。
3. デバイスが検出されると、本機がデバイスリストに表示されます。インストールするデバイスを選択し、[次へ] をクリックします。
4. インストールする項目を選択し、[次へ] をクリックします。
5. インストールが完了します。

Macintosh の場合

1. ネットワークの DHCP サーバーが接続した本機に IP アドレスを割り当てるように設定します。
2. 以下のいずれかの方法で本機の IP アドレスを確認します。
 - 操作パネルで確認する。
 - [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認する
 - 「ネットワーク設定ページ」または「メニュー設定ページ」を印刷し、[TCP/IP]の項目で確認する

メモ: 本機が接続されているサブネットマスクとは異なるサブネット上にあるコンピューターからアクセスする場合は、IP アドレスが必要になります。
3. Macintosh にプリンタードライバーをインストールします。
 - a. 『Drivers and Documentation CD』を Macintosh の CD ドライブに挿入します。
 - b. デスクトップ上の CD アイコン>[Drivers]フォルダー->[Mac]フォルダーの順にダブルクリックしてフォルダーを開き、以下のファイルをダブルクリックします。
 - Mac OS X v10.3/v10.4: 「bizhub_4700PSeries_103104.pkg」をダブルクリック
 - Mac OS X v10.5: [other]フォルダー内の「bizhub_4700PSeries_105.pkg」をダブルクリック

→ Mac OS X v10.6/v10.7/v10.8[**other**]フォルダー内の「bizhub_4700PSeries_106.pkg」をダブルクリック

c. インストーラーが起動します。

メモ: Mac OS X 10.6/10.7/10.8 では使用する用紙サイズによってドライバー用の言語フォルダーが異なります。お使いの環境に合わせて選んでください。

- おもにメトリックサイズ(A4 など)で印刷する場合:[**other**]フォルダー
- おもにインチサイズ(Letter、8 1/2 × 11)で印刷する場合:[**english**]フォルダー

メモ:お使いの Mac OS X のバージョンに合わせて、以下のドライバー用のファイルをダブルクリックしてください。

- 「bizhub_4020_3320_103104.pkg」(Mac OS X v10.3/v10.4 用)
- 「bizhub_4020_3320_105.pkg」(Mac OS X v10.5 用)
- 「bizhub_4020_3320_106.pkg」(Mac OS X v10.6/v10.7/v10.8 用)

4. 以下の操作でプリンターを追加します。

- IP 接続の場合:

1. アップルメニューから、以下のいずれかの順に選択します。

- Mac OS X v10.3/v10.4/v10.5/v10.6 の場合:
[システム環境設定]>[プリントとファクス]
- Mac OS X v10.7/10.8 の場合:
[システム環境設定]>[プリントとスキャン]

2. [+]をクリックします。

3. [IP]タブまたは[IP プリンタ]をクリックします。

4. アドレス欄に本機の IP アドレスを入力し、[追加]をクリックします。

- AppleTalk 接続の場合:

メモ:

- 本機で AppleTalk が有効になっていることを確認してください。
- AppleTalk は、Mac OS X 10.3/10.4/10.5 でのみサポートされています。

1. アップルメニューから、以下の順に選択します。

[システム環境設定]>[プリントとファクス]

2. [+]をクリックした後、以下の順に選択します。

[AppleTalk]>プリンターを選択>[追加]

Linux の場合

プリンター設定(Printer Configuration)ツールを利用してプリンターを追加する

1. 本機をコンピューターまたはネットワークに接続します。
2. 『Drivers and Documentation CD』をコンピューターの CD/DVD ドライブに挿入します。
3. [システム]メニューから[管理]>[印刷]の順にクリックします。
4. [新規プリンタ]をクリックします。
5. [プリンタ名]、[説明]、[場所]を入力し、[進む]をクリックします。
6. 表示されるダイアログボックスの左側の欄で接続するポートを選択します。
7. [進む]をクリックします。
8. [PPD ファイルを提供する]を選択します。
9. フォルダーアイコンをクリックします。
10. PPD ファイルを選択します。
11. [開く]>[進む]>[適用]の順にクリックします。

CUPS Administration Web ページからプリンターを追加する

1. 本機をコンピューターまたはネットワークに接続します。
2. ブラウザーを起動します。
3. URL に「http://localhost:631」と入力します。
4. [プリンタの追加]をクリックします。
5. [名前]、[場所]、[説明]を入力して[続ける]をクリックします。
6. デバイスの一覧からデバイスポートを選択して[続ける]をクリックします。
7. USB 接続の場合は、手順 9 に進みます。
ネットワーク接続の場合は[デバイス URI]を入力します。
入力例: socket://<本機の IP アドレスまたはホスト名>:port
8. [続ける]をクリックします。
9. [メーカー]で[KONICA MINOLTA]を選択して[続ける]をクリックします。
10. [KM4020X.ppd]を選択して[プリンタの追加]をクリックします。
11. ルート権限の[ユーザー名]と[パスワード]を入力して、[OK]をクリックします。

ワイヤレスネットワークに接続する準備

メモ:

- ワイヤレスネットワーク上にセットアップする場合は、オプションのワイヤレスネットワークアダプターが必要です。ワイヤレスネットワークアダプターが取付けられ、正常に動作していることを確認してください。詳しくは、アダプターに付属の説明書をご覧ください。
- アクセスポイント(無線 LAN ルーター)の電源がオンで正常に動作していることを確認してください。

ワイヤレス接続で印刷できるようにセットアップするには、以下の情報が必要です。

- **SSID**(Service Set Identifier)…SSID がネットワーク名になります。
- **無線モード**(または**ネットワークモード**)…インフラストラクチャーモードとアドホックモードのいずれかです。
- **チャネル**(**アドホックモード**の場合)…インフラストラクチャーモードの場合は、初期設定でチャネルが自動に設定されています。

一部のアドホックネットワークでも、チャネルを[自動]に設定する必要があります。どちらを選択して良いか不明な場合は、システム管理者に問い合わせてください。

- **セキュリティの設定**…セキュリティの設定には以下の 4 種類があります。

- WEP キー

使用しているネットワークで複数の WEP キーが使用されている場合は、4 つまで登録できます。そのときにネットワークで使用している WEP キーを初期値として選択することで接続設定ができます。

- WPA/WPA2 事前共有キー/パスフレーズ

WPA は、セキュリティ用に追加されたレイヤーで暗号化されます。暗号の種類には、AES と TKIP のいずれかを選択できます。接続するときは、ルーターと本機で同じ種類の暗号化を設定してください。種類が異なる場合は、ネットワーク上で通信できません。

- 802.1X 認証

802.1X ネットワークでセットアップする場合は、以下の情報が必要です。

- 認証の種類
- 内部認証の種類
- 802.1X ユーザー名とパスワード
- 証明書

- セキュリティなし

ワイヤレスネットワークでセキュリティを設定していない場合は、セキュリティ情報も必要ありません。

メモ: ワイヤレスネットワークを「セキュリティなし」に設定して使用することは避けてください。任意のユーザーがネットワークへアクセスする可能性があり、セキュリティ上、問題があります。

メモ:

- 接続しているネットワークの SSID が不明の場合は、コンピューターのネットワークアダプター用のユーティリティを起動してネットワーク名を確認してください。SSID またはセキュリティ情報が見つからない場合は、アクセスポイントに付属の説明書を参照するか、システム管理者に問合わせてください。
- ワイヤレスネットワークの WPA/WPA2 事前共有キー/パスフレーズを確認するには、アクセスポイントに付属の説明書やアクセスポイント内蔵の Web サーバー機能ページを参照するか、システム管理者に問合わせてください。

ワイヤレスセットアップウィザードで接続する

本機を接続する前に以下の状況を確認しておいてください。

- 本機にワイヤレスネットワークアダプターが取り付けられ、正常に動作していることを確認してください。詳しくは、アダプターに付属の説明書をご覧ください。
- 本機からイーサネットケーブルを取外します。
- [アクティブ NIC]を[自動]に設定します。操作パネルで、次の順に選択します。

🏠 > [設定] > OK > [ネットワーク/ポート] > OK > [アクティブ NIC] > OK > [自動] > OK

メモ: 設定後、本機の電源を切り、電源を切った後、5 秒以上待ってから、再び電源を入れます。

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

🏠 > [設定] > OK > [ネットワーク/ポート] > OK > [ネットワーク x] > OK > [ネットワーク x 設定] > OK > [ワイヤレス] > OK > [Wireless Connection Setup] > OK

2. ワイヤレス機能を設定します。

項目	用途
Search for networks	<p>利用可能なワイヤレス接続を検索して表示します。</p> <p>メモ: この一覧には、セキュリティで保護されている、されていないに関わらずネットワーク上でブロードキャストされているすべての SSID が表示されます。</p>
Enter a network name	<p>SSID を手動で入力します。</p> <p>メモ: 正しい SSID を入力してください。</p>
WPS(Wi-Fi Protected Setup)	<p>本機を WPS 機能 (Wi-Fi Protected Setup) でワイヤレスネットワークに接続します。</p>

3. OK を押し、操作パネルのディスプレイに表示される手順に従います。

WPS 機能(Wi-Fi Protected Setup)で接続する

本機を接続する前に以下の状況を確認しておいてください。

- アクセスポイント(無線 LAN ルーター)が WPS 機能(Wi-Fi Protected Setup)に対応していることを確認してください。
- 本機にワイヤレスネットワークアダプターが取付けられ、正常に動作していることを確認してください。詳しくは、アダプターに付属の説明書をご覧ください。

プッシュボタン方式(PBC)を利用する場合

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

🏠 > [設定] > OK > [ネットワーク/ポート] > OK > [ネットワーク x] > OK > [ネットワーク x 設定] > OK > [ワイヤレス] > OK > [Wireless Connection Setup] > OK > [WPS(Wi-Fi Protected Setup)] > OK > [プッシュボタン方式を開始] > OK

2. 操作パネルのディスプレイに表示される手順に従います。

暗証番号方式(PIN 入力)を利用する場合

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

🏠 > [設定] > OK > [ネットワーク/ポート] > OK > [ネットワーク x] > OK > [ネットワーク x 設定] > OK > [ワイヤレス] > OK > [Wireless Connection Setup] > OK > [WPS(Wi-Fi Protected Setup)] > OK > [暗証番号方式を開始] > OK

2. 8桁の WPS PIN コードを記録しておきます。
3. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドにアクセスポイントの IP アドレスを入力して設定ページを開きます。

メモ:

- IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、アクセスポイントの設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

4. WPS 設定画面を開きます。
5. 記録してあった本機の 8 桁の WPS PIN コードを入力し、設定を保存します。

内蔵 Web サーバー機能(Embedded Web Server)でワイヤレスネットワークに接続する

本機を接続する前に以下の状況を確認しておいてください。

- 暫定的に本機をイーサネットのネットワークに接続しておいてください。
 - 本機にワイヤレスネットワークアダプターが取付けられ、正常に動作していることを確認してください。詳しくは、アダプターに付属の説明書をご覧ください。
1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは操作パネルで確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [設定]>[ネットワーク/ポート]>[ワイヤレス]の順にクリックします。
3. アクセスポイント(無線ルーター)の設定と一致するように設定を変更します。

メモ: 正しい SSID、セキュリティの設定、事前共有キー/パスフレーズ、ネットワークモード、チャンネルに設定したことを確認してください。

4. [送信]をクリックします。
5. 電源を切り、イーサネットケーブルを取外します。電源を切った後、5 秒以上待つてから、再び電源を入れます。
6. ネットワークに正常に接続されたかどうかを確認するために、ネットワーク設定ページを印刷します。「ネットワークカード x」項目で状態が「接続中」であるかどうかを確認します。

セットアップ状態を確認する

プリンターソフトウェアやハードウェアオプションを追加でセットアップした場合、電源を入れた後に、正しく認識しているかを確認するために次の設定ページを印刷してください。

- **メニュー設定ページ**—オプションを取付けたときなど、正しく装着できているか確認できるページです。装着オプションの一覧に目的のオプションが見当たらない場合は、正しく装着されていない可能性があります。一旦オプションを取外し、取付けなおしてください。
- **ネットワーク設定ページ**—ネットワークに接続した場合に、正しく接続できているかどうかを確認できるページです。ネットワーク設定ページには、ネットワーク接続に必要な情報が印刷されるので、設定するときに便利です。

メニュー設定ページを印刷する

オプションを取付けたときなど、正しく装着できているか確認できるページです。メニュー設定ページを印刷すると、現在のメニュー設定を調べたり、プリンターオプションが正しく取付けられているかどうかを確認することができます。

操作パネルで、次の順に選択します。

 >[設定]>  >[レポート]>  >[メニュー設定ページ]> 

メモ:メニューの設定を変更したことがない場合は、[メニュー設定ページ]には出荷時設定が印刷されます。メニューの設定を変更して保存すると、出荷時設定がユーザー設定に置換わります。ユーザー設定は、次にメニューを変更するまで有効です。

ネットワーク設定ページを印刷する

ネットワークに接続したときに、正しく接続できているかどうかを確認するために印刷するページです。ネットワーク設定ページには、ネットワーク接続に必要な情報が印刷されるので、設定するときに便利です。

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

 >[設定]>  >[レポート]>  >[ネットワーク設定ページ]> 

メモ:オプションの内蔵プリントサーバーが装着されているときは、[ネットワーク x 設定ページ]も表示されます。

2. [ネットワーク設定ページ]の最初の項目で、状態が[接続中]になっていることを確認します。

状態が[接続されていない]になっている場合は、接続が一時的に切断されているか、ネットワークケーブルに問題がある可能性があります。システム管理者に問い合わせてください。問題解決後、再度[ネットワーク設定ページ]を印刷してください。

4—用紙や専用紙をセットする

用紙および専用紙は、印刷品質に影響します。適切な用紙の種類を選択し、正しく取扱ってください。
参照⇒「[用紙の保管](#)」、「[紙づまりを起こさないためには](#)」

用紙サイズと用紙タイプを設定する

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

🏠 > [設定] > **OK** > [用紙メニュー] > **OK** > [用紙サイズ/タイプ] > **OK**

2. ▲▼ボタンを押して用紙トレイまたは多目的フィーダーを選択し、**OK** を押します。
3. ▲▼ボタンを押して用紙サイズを選択し、**OK** を押します。
4. ▲▼ボタンを押して用紙タイプを選択し、**OK** を押します。

ユニバーサル用紙を設定する

ユニバーサル用紙サイズはユーザー定義の用紙サイズです。あらかじめ本機の設定メニューに登録されている用紙サイズ以外のサイズで印刷したいときに利用します。

メモ:

- ユニバーサル用紙サイズの最小値は 76.2 × 127 mm です。多目的フィーダーからのみ給紙できます。
- ユニバーサル用紙サイズの最大値は 215.9 × 355.6 mm です。すべてのトレイまたは多目的フィーダーから給紙できます。

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

🏠 > [設定] > **OK** > [用紙メニュー] > **OK** > [ユニバーサル設定] > **OK** > [測定単位] > **OK** > 単位を選択する > **OK**

2. [縦長の幅]または[縦長の縦の長さ]を選択し、**OK** を押します。
3. ◀▶ボタンを押して設定を変更し、**OK** を押します。

トレイに用紙をセットする

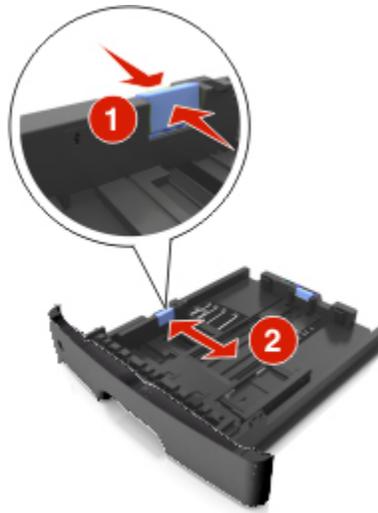
⚠️ 注意—ケガをする可能性があります。機器のバランスが不安定にならないよう、トレイは個別に給紙してください。1つのトレイに用紙をセットしているうちは、他のトレイはすべて閉じておきます。

1. トレイを手前に完全に引出します。

メモ：印刷中または、操作パネルのディスプレイに[取込み中]と表示されているときはトレイを引出さないでください。紙づまりの原因となります。

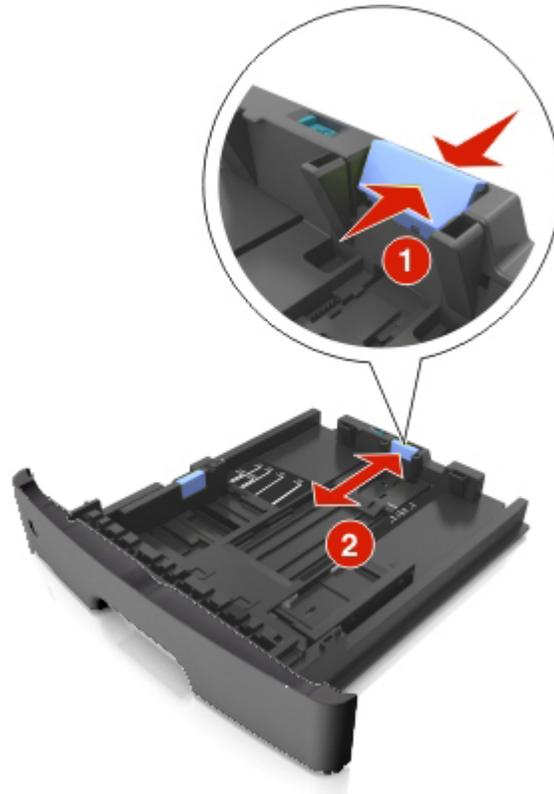


2. セットする用紙のサイズに合わせて、横のガイドタブをつまんで移動します。



ユーザズガイド

3. 縦のガイドタブのロックを外し、セットする用紙のサイズに合わせて、ガイドタブをつまんで移動します。

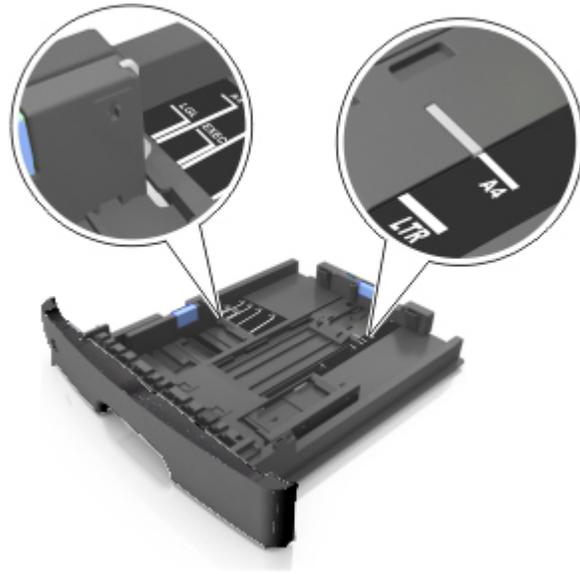


メモ:

- A4、レターサイズ、またはリーガルサイズなどの長い用紙をセットするときは、縦のガイドタブをつまんで、後方の用紙の長さ合った位置までスライドさせます。
- リーガルサイズの用紙をセットすると、縦のガイドタブがトレイのベースからはみ出るため、用紙にほこりがかかることがあります。ダストカバーを購入して装着すると用紙をほこりから保護できます。詳しくは、サービス実施店にご相談ください。
- 標準トレイに A6 サイズの用紙をセットするときは、縦のガイドタブをつまんで、トレイの中央にある A6 サイズの位置までスライドさせます。

ユーザズガイド

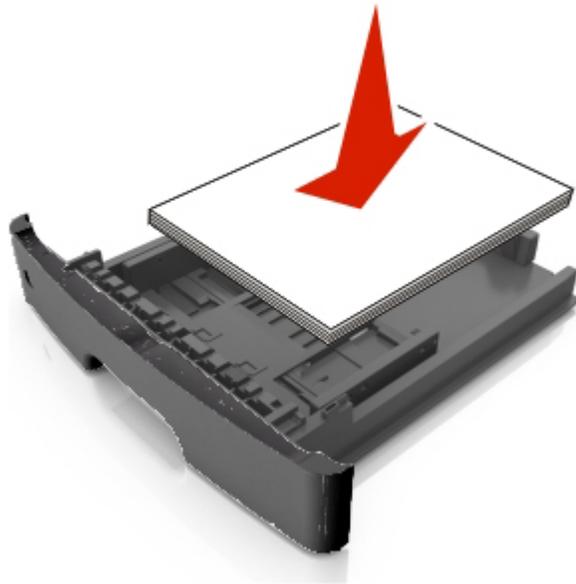
- 横のガイドおよび縦のガイドがトレイ底の用紙サイズ指示と一致していることを確認してください。



4. 用紙をほぐし、よくさばいてから平らな面で端を揃えます。用紙を折ったり畳んだりしないでください。



5. ほぐした用紙の束をトレイにセットします。

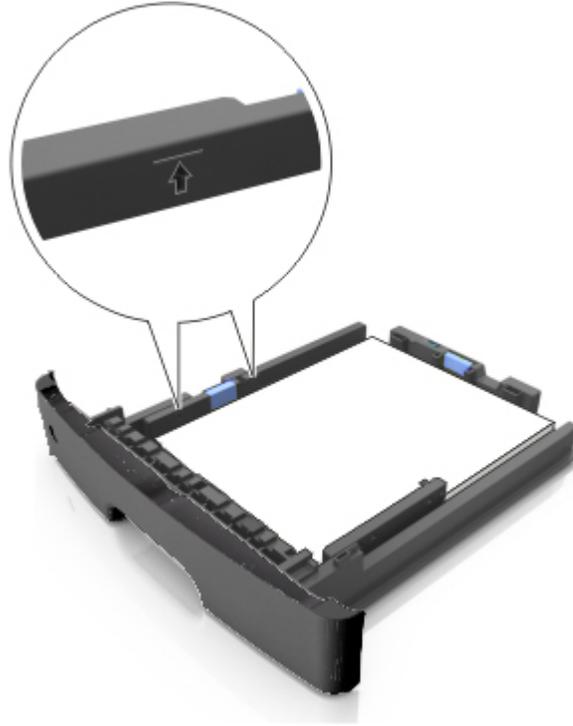


メモ:

- 再生紙またはプレプリント紙を使用する場合は、印刷する面を下にしてセットします。

ユーザズガイド

- 穴開き用紙を使用する場合は、穴の開いている用紙の上端をトレイの前面に向けてセットします。
- レターヘッド紙は、用紙の上端をトレイの前面に向け、レターヘッドのある面を下に向けてセットします。両面印刷する場合は、用紙の下端をトレイの前面に向け、レターヘッドのある面を上に向けてセットします。
- 用紙の枚数が横のガイドの上限マークを超えないようにしてください。



6. トレイを奥まで押してセットします。



7. 操作パネルで[用紙メニュー]の用紙サイズと用紙タイプを、セットした用紙と同じに設定します。

メモ: 紙づまりや印刷品質の問題を起こさないために、正しい用紙サイズと用紙タイプを設定してください。

多目的フィーダーに用紙をセットする

重い厚紙、OHP フィルム、ラベル紙、封筒など通常と異なるサイズや種類の用紙または特殊用紙を印刷するには、多目的フィーダーを使用します。多目的フィーダーは 1 ページだけレターヘッド紙に印刷するときなどにも利用できます。

1. 多目的フィーダーを開きます。



- a. 多目的フィーダーの延長ガイドを引出します。



ユーザーズガイド

- b. 延長ガイドをゆっくりといっぱいまで引出して多目的フィーダーを開きます。



2. 左端のガイドのタブをつまんで、セットする用紙の幅に合わせて移動します。



3. セットする用紙または特殊用紙を準備します。

- 用紙をほぐし、よくさばいてから平らな面で端を揃えます。用紙を折ったり畳んだりしないでください。



ユーザーズガイド

- OHP フィルムの場合は、両端を持って、くっつかないようにほぐします。最後に平らな面で端を揃えます。

メモ: OHP フィルムの印刷面には触れないようにしてください。また、OHP フィルムに傷を付けないように注意してください。



- 封筒の場合も、同様に用紙をほぐしてさばきます。最後に平らな面で端を揃えます。



4. 用紙または専用紙をセットします。

メモ:

- 用紙や特殊用紙を多目的フィーダーに無理に押し込まないでください。
- 用紙の枚数が横のガイドの上限マークを超えないようにしてください。用紙が多いと紙づまりの原因になります。



ユーザーズガイド

- 用紙、OHP フィルム、または重い厚紙は、印刷面を上向きにして上端から先にセットします。OHP フィルムについて詳しくは、OHP フィルムの包装に記載されている説明をご覧ください。



メモ: A6 サイズの用紙をセットするときは、用紙が少なくなっても正しい位置にセットされるよう、多目的フィーダーの延長ガイドに用紙の端が当たっていることを確認してください。



- レターヘッド紙は、レターヘッドのある面を上向きにして上端から先にセットします。両面印刷する場合は、レターヘッドのある面を下向きにして用紙の下端から先にセットします。



- 封筒は、封印部が左下になるようにセットしてください。



警告—破損の恐れがあります:切手、留め金、スナップのついた封筒や、表面に窓のある封筒、つや出し加工されたもの、口糊の付いた封筒は絶対に使用しないでください。このような封筒を使用すると、本機に深刻な損傷が生じる可能性があります。

5. 操作パネルで[用紙メニュー]の用紙サイズと用紙タイプを、多目的フィーダーにセットした用紙と同じに設定します。

各トレイの用紙タイプと用紙サイズのリンク設定/解除

複数のトレイに同じサイズ、同じ種類の用紙をセットし、トレイの設定を同じに設定すると、それぞれのトレイがリンク関係に設定され、1つのトレイが空になった場合にリンクされている別のトレイから給紙します。このため、レターヘッド紙や各色カラー用紙などのカスタム用紙を使うときは、このリンク機能が働かないようにそれぞれ別のカスタムタイプ名を設定することをお勧めします。

各トレイのリンク設定/解除

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [設定]>[用紙メニュー]の順にクリックします。

3. トレイ構成を設定するトレイの用紙サイズと用紙タイプを設定します。

- トレイのリンクを設定するには、それぞれのトレイの用紙サイズ、用紙タイプの設定を一致させる必要があります。
- トレイのリンクを解除するには、それぞれのトレイに別の用紙サイズ、用紙タイプを設定します。

4. [送信]をクリックします。

メモ: 用紙サイズ、用紙タイプの設定は、操作パネルでも変更できます。

参照⇒[「用紙サイズと用紙タイプを設定する」](#)

警告—破損の恐れがあります: トレイにセットされている用紙とプリンターで設定されている用紙のタイプと必ず同じにしてください。フューザーの温度は、印刷する用紙タイプによって異なります。正しく設定されていない場合、印刷に問題が発生することがあります。

ユーザー定義の用紙タイプ名を作成する

内蔵 Web サーバー機能で設定する

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [設定]>[用紙メニュー]>[カスタム名]の順にクリックします。

3. 登録/変更するカスタム名を選択し、新しい用紙タイプ名を入力します。

4. [送信]をクリックします。

5. [カスタム紙種]をクリックし、カスタム名が新しい用紙タイプ名に変更されていることを確認します。

操作パネルで設定する

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [設定] >  > [用紙メニュー] >  > [カスタム名]

2. 登録/変更するカスタム名を選択し、新しい用紙タイプ名を入力します。
3.  を押します。
4. [カスタム紙タイプ] を押し、カスタム名が新しい用紙タイプ名に変更されていることを確認します。

カスタム紙タイプ名を割当てる

内蔵 Web サーバー機能で設定する

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [設定]>[用紙メニュー]>[カスタム名]の順にクリックします。
3. 用紙タイプ名を入力し、[送信]をクリックします。
4. カスタムタイプを選択し、正しい用紙タイプがカスタム名に関連付けられていることを確認します。

メモ: すべてのユーザー定義のカスタム名は、出荷時設定の用紙タイプが[普通紙]になっています。

カスタム紙タイプを割当てる

内蔵 Web サーバー機能で設定する

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワークポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [設定]>[用紙メニュー]>[カスタム紙種]の順にクリックします。
3. 作成してあるカスタム紙タイプ名を選択し、割当てる用紙タイプを選択します。

メモ:すべてのユーザー定義のカスタム名は、出荷時設定の用紙タイプが[用紙]になっています。

4. [送信]をクリックします。

操作パネルで設定する

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [設定] >  > [用紙メニュー] >  > [カスタム紙タイプ]

2. 作成してあるカスタム紙タイプ名を選択し、割当てる用紙タイプを選択します。

メモ:すべてのユーザー定義のカスタム名は、出荷時設定の用紙タイプが[用紙]になっています。

3.  を押します。

5—用紙について

適切な用紙を選択するために

適切な用紙または専用紙を選択することで印刷不良を減らすことができます。最適な印刷品質を得るため、用紙や専用紙を大量購入する前に、少量を入手して試し印刷をしてください。

用紙特性

以下の用紙特性は、印刷の品質と信頼性に影響します。新しい用紙を試す場合は、これらの特性を考慮してください。

重さ

本機のトレイは、重さが 90 g/m^2 までの縦目の用紙を自動給紙できます。オプションのトレイも同様に、重さが 120 g/m^2 までの縦目の用紙を自動給紙できます。多目的フィーダーは、重さが 163 g/m^2 までの縦目の用紙を自動給紙できます。 60 g/m^2 より軽い用紙は、柔らかいため正常に給紙できず、紙づまりの原因となります。最適な印刷を実現するには、 75 g/m^2 の縦目の用紙を使用してください。 $182 \times 257 \text{ mm}$ より小さい用紙の場合は、 90 g/m^2 以上の重さの用紙をお勧めします。

メモ: 両面印刷は、 $60 \sim 90 \text{ g/m}^2$ の用紙のみがサポート対象です。

カール

カールとは、用紙の先端が丸まる現象のことです。カールが大きすぎると、用紙を給紙するときに問題が発生することがあります。カールは、高温になっているプリンター内部を用紙が通過した後に発生することがあります。包装されていない用紙を高温、多湿、低温、または乾燥した状態で保管すると、印刷前のトレイ内であっても用紙がカールすることがあり、給紙時の問題となる場合があります。

平滑度

用紙の平滑度は、印刷品質に直接影響します。用紙のきめが粗すぎる場合、トナーが適切に定着しません。用紙がなめらかすぎると、用紙の給紙や印刷品質で問題が起きる場合があります。必ずシェフィールド単位で $100 \sim 300$ の用紙を使用してください。ただし、最高の印刷品質は $150 \sim 250$ の平滑度で実現されます。

含水率

用紙に含まれる水分の量は、印刷品質と給紙性能の両方に影響します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れたままにしておいてください。これにより、用紙が湿度の変化にさらされて質が低下することを最小限に抑えることができます。

印刷する $24 \sim 48$ 時間前から、用紙を元の包装に入れたまま本機と同じ環境に保管してください。保管または輸送環境が本機の環境と大きく異なる場合は、上記時間経過後に印刷してください。厚い用紙の場合は、より長時間、環境に慣らす必要があります。

紙目

紙目とは、用紙に含まれる繊維の方向のことです。紙目には、用紙の縦方向に延びる縦目と用紙の横方向に延びる横目があります。

60～90 g/m² の用紙の場合は、縦目の用紙をお勧めします。

繊維含有率

最高品質のコピー用紙は、100%の化学処理済みパルプ木材から作られています。この含有率により、用紙の品質が安定するため、給紙不具合が減少し、印刷品質が向上します。コットンなどの繊維を含む用紙は、用紙の処理に悪影響を与える恐れがあります。

使用できない用紙

次の種類の用紙は、使用しないでください。

- ノーカーボン紙、感圧複写紙 (CCP)、またはカーボン不要 (NCR) 紙などの複写タイプの用紙
- 内部を汚す恐れのある化学薬品を使用したプレプリント紙
- フューザーの温度の影響を受ける可能性のあるプレプリント紙
- OCR フォームなど、±2.5 mm よりも高い精度で位置合わせする必要があるプレプリント紙
アプリケーションで位置合わせを調整すると、フォームに正常に印刷できることがあります。
- コーティングされた用紙 (イレーザブルボンド紙など)、合成紙、感熱紙
- 縁がぎざぎざな用紙、表面のきめが粗い用紙、ざらつきのある用紙、またはカールした用紙
- EN12281:2002 (欧州規格) に準拠していない再生紙
- 重さが 60 g/m² 未満の用紙
- マルチパート用紙またはドキュメント

用紙を選択する

適切な用紙を使用すると、紙づまりなどの問題が起きずに印刷を行うことができます。

紙づまりや印刷品質の低下を防ぐには

- 必ず新しく傷のない用紙を使用する。
- 用紙をセットする前に、用紙の推奨印刷可能面を確認してください。通常、用紙のパッケージなどに記載されています。
- 手で切った用紙は使用しないでください。

- 大きさ、種類、重さが異なる用紙を同じトレイに同時にセットしないでください。異なる用紙を混在させると紙づまりが発生します。
- コピー用に設計されていない限り、コーティングされた用紙を使用しないでください。

プレプリント紙とレターヘッド紙を選択する

プレプリント紙とレターヘッド紙を選択する場合は、以下のことに注意してください。

- 60~90 g/m² の重さの縦目用紙を使用してください。
- オフセットリトグラフ印刷または写真版印刷処理を使用して印刷されたプレプリント紙およびレターヘッド紙のみ使用してください。
- 表面のきめが粗い用紙やざらつきが大きい用紙は避けてください。

コピー機用に設計された耐熱インクを使用して印刷された用紙を使用してください。このインクであれば、溶解したり有毒ガスを放出したりせずに 230°C までの温度に耐えられます。また、トナーの樹脂に影響されないインクを使用した用紙を選んでください。酸化状態または石油を主成分としたインクは一般にこの条件を満たしています。ラテックス製インクはこれらの条件要件を満たしていない場合があります。判別できない場合は、用紙の製造元に間合わせてください。

レターヘッド紙などのプレプリントされた用紙を使い場合は、230°C までの温度に耐えられること、高温下で危険なガスを発生させないこと、高温下で溶けたりしないということを確認してください。

サポートされる用紙の大きさ、種類、重さ

サポートされる用紙サイズ

用紙サイズ	標準トレイ (250 枚トレイ)	オプション 250 枚トレイ/550 枚トレイ	多目的フィーダー	ADF	原稿ガラス	両面印刷
名刺	X	X	X	X	○	X
3 × 5 インチ紙	X	X	○	X	○	X
4 × 6 インチ紙	X	X	○	X	○	X
A4 210 × 297 mm	○	○	○	○	○	○
A5 148 × 210 mm	○	○	○	○	○	X

ユーザーズガイド

用紙サイズ	標準トレイ(250枚トレイ)	オプション 250枚トレイ/550枚トレイ	多目的フィーダー	ADF	原稿ガラス	両面印刷
A6 105 × 148 mm	○	X	○	○	○	X
JIS B5 182 × 257 mm	○	○	○	○	○	X
レター 215.9 × 279.4 mm	○	○	○	○	○	○
リーガル 215.9 × 355.6 mm	○	○	○	○	○	○
エグゼクティブ 184.2 × 266.7 mm	○	○	○	○	○	X
Oficio(メキシコ) 215.9 × 340.4 mm	○	○	○	○	X	○
フォリオ 216 × 330 mm	○	○	○	○	X	○
ステートメント 139.7 × 215.9 mm	○	○	○	○	○	X
ユニバーサル* 76.2 × 127 mm~215.9 × 355.6 mm	○	○	○	○	○	○
7 3/4封筒(Monarch) 98.4 × 190.5 mm	X	X	○	X	X	X
9封筒 98.4 × 225.4 mm	X	X	○	X	X	X

ユーザーズガイド

用紙サイズ	標準トレイ(250枚トレイ)	オプション 250枚トレイ/550枚トレイ	多目的フィーダー	ADF	原稿ガラス	両面印刷
10封筒 104.8 × 241.3 mm	X	X	○	X	X	X
DL封筒 110 × 220 mm	X	X	○	X	X	X
C5封筒 162 × 229 mm	X	X	○	X	X	X
B5封筒 176 × 250mm	X	X	○	X	X	X
その他の封筒 85.7 × 165 mm~215.9 × 355.6 mm	X	X	○	X	X	X
* 両面印刷が可能なサイズは、ユニバーサルサイズの幅 139.7 mm~215.9 mm、ユニバーサルサイズの長さは 210 mm~355.6 mm です。						

サポートされる用紙の種類と重さ

標準トレイは、重さが 60~90 g/m² の用紙に対応しています。オプショントレイは、重さが 60~120 g/m² の用紙に対応しています。多目的フィーダーは、重さが 60~163 g/m² の用紙に対応しています。

ユーザーズガイド

用紙サイズ	250 枚トレイ /550 枚トレイ	多目的フィーダー	両面印刷	ADF	原稿ガラス
普通紙	○	○	○	○	○
重い厚紙	X	○	X	○	○
OHP フィルム	○ ¹	○	X	○	○
再生紙	○	○	○	○	○
ラベル紙用紙 ²	○	○	X	○	○
ボンド紙	○	○	○	○	○
封筒 ³	X	○	X	X	○
粗い封筒	X	○	X	X	○
レターヘッド紙	○	○	○	○	○
プレプリント紙用紙	○	○	○	○	○
カラー用紙	○	○	○	○	○
軽量紙	○	○	○	○	○
重量紙	○	○	○	○	○
ざら紙/コットン紙	○	○	X	○	○
カスタムタイプ x	○	○	○	○	○

¹ OHP シートは 250 枚トレイでのみ使用可能です。

² レーザープリンター専用の片面のラベル用紙は、少量であれば使用できます。印刷する枚数は、月 20 ページ以下を推奨します。ビニール、薬剤、および両面ラベルはサポートされません。

³ 表面を下にして 1 枚ずつ机に置いた状態でもまっすぐになる封筒を使用してください。

特殊紙について

レターヘッド紙

- レーザープリンター専用のレターヘッド紙を使用してください。
- レターヘッド紙を使う場合は、大量購入する前に、少量を入手して試し印刷をしてください。
- レターヘッド紙をセットする前に、用紙の束をほぐし、扇形に広げてよくさばいてから揃えてセットします。
- レターヘッド紙に印刷する場合は、用紙の向きが重要です。レターヘッド紙のセット方法については、以下をご覧ください。
 - [トレイに用紙をセットする](#)
 - [多目的フィーダーに用紙をセットする](#)

OHP フィルム

- OHP フィルムを使う場合は、大量購入する前に、少量を入手して試し印刷をしてください。
- OHP フィルムは、標準トレイまたは多目的フィーダーから給紙します。
- レーザープリンター専用の OHP フィルムを使用してください。対象のラベルが 185°C までの温度に耐えられること、高温下で危険なガスを発生させないこと、高温下で溶けたり、印刷した色が変わったり、印刷部分がずれたりしないことを確認してください。

メモ: [用紙メニュー] で [OHP フィルム重さ] を [重い] に設定し、 [OHP フィルム粗さ] を [粗い] に設定すると、OHP フィルムの印刷温度が 195°C まで上がります。
- 印刷不良にならないよう、OHP フィルムに指紋が付着しないようにしてください。
- OHP フィルムをセットする前に、束をほぐし、扇形に広げてよくさばいてから揃えてセットします。

封筒

封筒を使う場合は、大量購入する前に、少量を入手して試し印刷をしてください。

- レーザープリンター専用の封筒を使用してください。用紙の製造元に問合わせて、対象の封筒が 230°C までの温度に耐えられること、高温下で危険なガスを発生させないこと、高温下でくっついたり、しわ、強いカールが発生しないことを確認してください。
- 90 g/m² または 25% コットン紙でできた封筒が最もきれいに印刷できます。重さが 70 g/m² を超える 100% コットン紙の封筒は使用しないでください。
- パッケージに傷がついていない新しい封筒のみを使用してください。
- 最良の印刷結果を得るため、また紙づまりを避けるために、以下のような封筒は使用しないでください。
 - カールやねじれが大きい封筒

- 封筒同士が張付いているものや、傷がついている封筒
 - 窓、穴、ミシン目、切り抜き、またはエンボス加工された封筒
 - 金属製の留め具、留めひも、または折り目のある封筒
 - 差込み封デザインになっている封筒
 - 切手が貼られている封筒
 - 封をしたとき、または閉じたときに折り返し部分の接着剤がはみ出る封筒
 - 角が折れ曲がった封筒
 - きめの粗い、しわのある、または粗い和紙などの封筒
- 左端のガイドを封筒の幅に合わせてセットしてください。

メモ: 高い湿度(60%以上)と高い印刷温度が合わされると、封筒にしわがよったり封がくっついたりすることがあります。

ラベル用紙

ラベルを使う場合は、大量購入する前に、少量を入手して試し印刷をしてください。

メモ: 台紙が紙のラベルのみを使用してください。ビニール製、化学合成紙、および両面ラベルは使用できません。

ラベルに印刷する場合は、以下のことに注意してください。

- レーザープリンター専用のラベルを使用してください。用紙の製造元に問合わせて、以下の点を確認してください。
 - 対象のラベルが 240°Cまでの温度に耐えられること、高温下で危険なガスを発生させないこと、高温下でくっついたり、しわ、強いカールが発生しないということを確認してください。
 - ラベルの接着剤、前面シート(印刷する部分)、表面コーティングが、172kPa(25psi)の圧力下でも、はがれたり、端が溶けたり、または危険なガスを発生させないことを確認してください。
- 裏面がつやのあるすべりやすい素材でできているラベルは使用しないでください。
- 使いかけのラベル用紙は使用しないでください。一部使用されたラベル用紙(ラベルのない部分があるもの)を使用すると、印刷中にラベルがはがれ、紙づまりの原因となります。また、その場合に接着剤で本機内部やカートリッジが汚れ、本機やトナーカートリッジが保証対象外となることもあります。
- 接着剤がはみ出ているラベルは使用しないでください。
- ラベルの端やミシン目の端から 1 mm の範囲、およびラベルとラベルの間(台紙部分)には印刷しないでください。
- 粘着性の背面が用紙の端からはみ出ないようにしてください。接着剤のコーティング部分が、端から 1 mm 以上離れているラベルを使用してください。接着剤で本機内部やカートリッジが汚れ、本機やトナーカートリッジが保証対象外となることもあります。

- 接着剤のコーティング部分が端まである場合は、先頭と送り方向の端から 2 mm の細片を取除いてください。このとき、接着剤がにじみ出てこないことを確認してください。
- 特にバーコードを印刷する場合は、ポートレートの方向で印刷することをお勧めします。

重い厚紙

重い厚紙とは、重さのある 1 層の特殊用紙です。含水率、厚さ、紙目などのさまざまな特性が印刷品質に大きく影響します。重い厚紙を使う場合は、大量購入する前に、少量を入手して試し印刷をしてください。

重い厚紙に印刷する場合は、以下のことに注意してください。

- [用紙タイプ]を[重量紙]に設定します。
- [用紙表面粗さ]で適切な設定を選択します。
- プレプリント(印刷済み)、ミシン目、折り目は、印刷品質に大きな影響があります。また、紙づまりなどの問題を引起す可能性があるため、注意します。
- 用紙の製造元に問合わせて、対象の用紙が 240℃までの温度に耐えられること、高温下で危険なガスを発生させないことを確認してください。
- 本機内部に汚れが付くような高温で溶ける薬品などを使用して製造されたプレプリント(印刷済み)用紙は使用しないでください。プレプリントの部分から、半液体または揮発性の成分が発生し本機内部に付着する恐れがあります。
- できるだけ横目の重い厚紙を使用してください。

用紙の保管

紙づまりを防いで印刷品質を安定させるため、用紙の保管に関する以下のことに注意してください。

- 最良の印刷結果を得るため、温度 21℃、相対湿度 40%の場所に用紙を保管してください。ラベルの場合は、多くが温度 18～24℃、相対湿度 40～60%で印刷することを推奨しています。
- 用紙をダンボール箱に入れ、台の上か棚など、床より高い場所で保管してください。
- 梱包された用紙は平らに置いて保管してください。
- 梱包された用紙の上には何も置かないでください。
- 印刷する準備ができたときに、用紙をダンボール箱または包装から取出します。ダンボール箱と包装に入れておくことで、用紙を清潔で乾燥した曲らない状態で保管できます。

6—印刷

文書を印刷する

文書を印刷する

1. 操作パネルで[用紙メニュー]の用紙サイズと用紙タイプを、セットした用紙と同じに設定します。
2. 印刷ジョブを送信します。

Windows の場合

- a. アプリケーションで文書を開き、[ファイル]>[印刷]の順にクリックします。
- b. [プロパティ]、[設定]、[オプション]、または[セットアップ]をクリックします。
- c. 必要に応じてプリンタードライバーの設定を変更します。
- d. [OK]>[印刷]の順にクリックします。

メモ: 印刷設定について詳しくは、プリンタードライバーのヘルプをご覧ください。

Macintosh の場合

- a. 必要に応じて[ページ設定]画面で用紙サイズを設定します。
 1. アプリケーションで文書を開き、[ファイル]>[ページ設定]の順に選択します。
Mac OS X 10.5/10.6/10.7/10.8 をお使いの場合は、[ファイル]>[プリント]を選択して表示する[プリント]画面でも同じ設定ができます。
 2. 用紙サイズを選択します。セットした用紙が不定形の場合は、用紙に合わせて[カスタム用紙サイズ]を作成します。
 3. [OK]をクリックします。
- b. 必要に応じて[プリント]画面で用紙サイズを設定します。
 1. [ファイル]>[プリント] (または[印刷]) の順に選択します。
設定項目が表示されていない場合は、▲▼ボタンをクリックして隠れている項目を表示します。
 2. 必要に応じて[プリント]画面の項目やポップアップメニューでプリンタードライバーの設定を変更します。

メモ: 特殊な用紙に印刷する場合は、セットした用紙に合わせて用紙種類を変更するか、セットしてあるトレイまたは多目的フィーダーを選択してください。
 3. [プリント]をクリックします。

トナー濃度の調整

内蔵 Web サーバー機能で設定する

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [設定]>[印刷設定]>[印刷品質メニュー]>[トナーの濃さ]の順にクリックします。
3. トナーの濃さを設定し、[送信]をクリックします。

操作パネルで設定する

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [設定] >  > [印刷設定] >  > [印刷品質メニュー] >  > [トナーの濃さ]

2. トナーの濃さを設定し、 を押します。

コンフィデンシャルジョブと保持されたジョブの印刷

保存されるジョブの設定について

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [設定] >  > [セキュリティ] >  > [コンフィデンシャル印刷] > 印刷ジョブの種類を選択

印刷ジョブの種類	概要
無効暗証番号許容回数	<p>コンフィデンシャルジョブ(部外秘ジョブ)を印刷するときに、PIN コード(暗証番号)の入力間違いを何回まで許可するかを設定します。</p> <p>メモ: 設定した制限回数まで間違えると、そのユーザー名と PIN コードで保存したすべての印刷ジョブが削除されます。</p>
コンフィデンシャルジョブ期限切れ	<p>操作パネルから PIN コード(暗証番号)を入力するまで、コンピューターに印刷ジョブを保持するコンフィデンシャルジョブの有効期限を設定します。</p> <p>メモ: PIN コードは 4 桁の数字(0~9)で、コンピューターで設定します。</p>

印刷ジョブの種類	概要
繰り返しジョブの期限切れ	プリンターメモリーにジョブを保存し、必要に応じて何度も印刷する繰り返しジョブの有効期限を設定します。
確認ジョブの期限切れ	複数部数を指定した印刷で、1部のみ先に印刷して残りの部数を印刷せずに保持する確認ジョブの有効期限を設定します。 確認ジョブは、印刷された1部目の内容を確認後、残りの部数を印刷できません。 保持されたジョブは、設定した全部数を印刷すると削除されます。
予約ジョブの期限切れ	後で印刷するために本機に保存しておく予約ジョブの有効期限を設定します。 保持されたジョブメニューで削除されるまで印刷ジョブは保存されます。
メモ: <ul style="list-style-type: none"> 保存されているコンフィデンシャルジョブ(部外秘ジョブ)、確認ジョブ、予約ジョブおよび繰り返しジョブは、後から指定されたジョブを処理するためにメモリーが足りない場合は削除されることがあります。 操作パネルから印刷指示をするまでプリンターメモリーに印刷ジョブを保持するように設定することができます。 操作パネルから印刷指示をするこのようなジョブをまとめて「保持されたジョブ」と呼びます。 	

2.  を押します。

コンフィデンシャルジョブなどの保持されたジョブの印刷

メモ: コンフィデンシャルジョブや確認ジョブは、印刷後にメモリーから自動的に削除されます。繰り返しジョブおよび予約ジョブは、削除を選択するまでメモリーに保持されます。

Windows の場合

- アプリケーションで文書を開き、[ファイル]>[印刷]の順にクリックします。
- [プロパティ]、[設定]、[オプション]、または[セットアップ]をクリックし、[基本設定]タブを表示させます。
- [ジョブの印刷/保存]をクリックします。
- 印刷ジョブの種類([機密印刷]、[印刷繰り返し]、[印刷の予約]および[仕上がり確認])を選択し、ユーザー名を入力します。[機密印刷]の場合は、4桁のPINコード(暗証番号)も入力します。

メモ: プリンタードライバーでは、コンフィデンシャルジョブ(部外秘ジョブ)を[機密印刷]、確認ジョブを[仕上がり確認]、予約ジョブを[印刷の予約]、繰り返しジョブを[印刷繰り返し]として選択します。

- [OK]>[印刷]の順にクリックします。

6. 操作パネルから印刷ジョブを呼出します。

- コンフィデンシャルジョブの場合は、次の順に操作します。

[保持されたジョブ]>ユーザー名の選択>[部外秘]>4桁のPINコード(暗証番号)の入力>ジョブを選択>部数を指定>[印刷]

- 他のジョブの場合は、次の順に操作します。

[保持されたジョブ]>ユーザー名の選択>ジョブを選択>部数を指定>[印刷]

Macintosh の場合

1. アプリケーションで文書を開き、[ファイル]>[プリント](または[印刷])の順に選択します。

設定項目が表示されていない場合は、三角形ボタンをクリックして隠れている項目を表示します。

2. 印刷オプションまたはポップアップメニューから[ジョブの印刷/保存]メニューを選択します。

3. 印刷ジョブの種類([機密印刷]、[印刷繰り返し]、[印刷の予約]および[仕上がり確認])を選択し、ユーザー名を入力します。機密印刷の場合は、PINコード(暗証番号)も入力します。

メモ: プリンタードライバでは、コンフィデンシャルジョブ(部外秘ジョブ)を[機密印刷]、確認ジョブを[仕上がり確認]、予約ジョブを[印刷の予約]、繰り返しジョブを[印刷繰り返し]として選択します。

4. [OK]または[プリント]をクリックします。

5. 操作パネルから印刷ジョブを呼出します。

- コンフィデンシャルジョブの場合は、次の順に操作します。

[保持されたジョブ]>ユーザー名の選択>[部外秘]>PINコード(暗証番号)の入力>ジョブを選択>部数を指定>[印刷]

- 他のジョブの場合は、次の順に操作します。

[保持されたジョブ]>ユーザー名の選択>ジョブを選択>部数を指定>[印刷]

コンフィデンシャル印刷の設定を変更する

メモ: この機能は、ネットワークプリンターまたはプリントサーバーに接続されている場合のみ使用できます。

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた4組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [設定]>[その他の設定]タブ>[セキュリティ]>[コンフィデンシャル印刷設定]の順にクリックします。

3. 設定を変更します。
 - コンフィデンシャルジョブを印刷するときに、PIN コード(暗証番号)の入力間違いを何回まで許可するかを設定します。設定した制限回数まで間違えると、そのユーザー名と PIN コードで保存したすべての印刷ジョブが削除されます。
 - コンフィデンシャルジョブの有効期限を設定します。指定の時間内にジョブを印刷しなかった場合は、そのユーザーが保存したすべてのジョブが削除されます。
4. 設定を保存します。

情報ページの印刷

フォントのサンプルリストを印刷する

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [設定] >  > [レポート] >  > [フォント一覧印刷]

2. ▲▼ボタンを押してフォント設定を選択します。

3.  を押します。

メモ: PPDS フォントは、PPDS モードを有効にしている場合のみ表示されます。

印刷ジョブをキャンセルする

操作パネルで印刷ジョブをキャンセルする

操作パネルで、 を押します。プリントジョブ一覧が表示されるので、キャンセルしたいジョブを選択し、 を押します。

コンピューターで印刷ジョブをキャンセルする

Windows の場合

1. コントロールパネルを開きます。

Windows 8 の場合:

[検索]チャームの[アプリ]から[コントロールパネル]を選択します。

Windows 7 以前の場合:

 または [スタート] をクリックして [コントロールパネル] を選択します。

2. [プリンター]ウィンドウを開きます。
 - [デバイスとプリンターの表示]または[プリンタ]、[プリンタとFAX]をクリックします。
3. プリンターのアイコンをダブルクリックします。
4. キャンセルする印刷ジョブを選択します。
5. キーボードの[Delete]を押します。

Macintosh の場合

1. アップルメニューから、以下のいずれかの順に選択します。
 - Mac OS X v10.3/v10.4/v10.5/v10.6 の場合：
[システム環境設定]>[プリントとファクス]>プリンターを選択>[プリントキューを開く]
 - Mac OS X v10.7/10.8 の場合：
[システム環境設定]>[プリントとスキャン]>プリンターを選択>[プリントキューを開く]
2. キャンセルする印刷ジョブを選択し、[削除]をクリックします。

7—コピー

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿ガラス
 <p>複数ページの原稿をスキャンするときに使用します。</p>	 <p>1ページの原稿や本のページ、小サイズの原稿(ハガキや写真など)、OHPフィルム、写真専用紙、薄い原稿(雑誌の切抜きなど)の原稿をスキャンするときに使用します。</p>

コピーする

基本的なコピー

1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿(雑誌の切抜きなど)を読込まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
- 原稿が正しくセットされると、ADF インジケータが点灯します。

2. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせてください。

メモ: コピーが欠けることのないよう、原稿とコピーに使用する用紙のサイズが同じであることを確認してください。

3. 操作パネルで  を押します。

ADF でコピーする

1. 原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズ of 原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿 (雑誌の切抜きなど) を読込まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
- 原稿が正しくセットされると、ADF インジケータが点灯します。

2. 用紙ガイドを原稿に合わせます。
3. 操作パネルのテンキーでコピー枚数を設定してから  を押します。

原稿ガラスでコピーする

1. 原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。
2. 操作パネルのテンキーでコピー枚数を設定してから  を押します。

メモ: 続けてスキャンするときは、原稿ガラスに次の原稿を置き、◀▶ ボタンで [次のページをスキャン] を選択して  を押します。

3. 最後に ▶▶ ボタンで [ジョブを終了する] を選択し、 を押してスキャンを完了します。

写真をコピーする

1. 原稿ガラスにセットします。写真を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。
2. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [コピー] >  > [原稿タイプ] > [写真]

3. [内容のソース] メニューでコピー原稿の写真がプリントされた方法に一番合った設定を選択し、 を押します。

メモ: 続けてスキャンするときは、原稿ガラスに次の写真原稿を置き、◀▶ ボタンで [次のページをスキャン] を選択して  を押します。

4. 最後に ▶▶ ボタンで [ジョブを終了する] を選択し、 を押してスキャンを完了します。

特殊な用紙にコピーする

OHP フィルムにコピーする

1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿（雑誌の切抜きなど）を読込まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
- 原稿が正しくセットされると、ADF インジケータが点灯します。

2. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせます。

3. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [コピー] >  > [コピー元] > 原稿の用紙サイズを選択

4. 続いて、次の順に選択します。

[コピー先] >  > OHP フィルムがセットされているトレイを選択 >  > コピー枚数を選択またはテンキーで入力 > 

5. OHP フィルムがセットされているトレイがない場合は、次の操作をします。

- a. 次の順に選択します。

[コピー先] >  > [MP フィーダー] >  > OHP フィルムのサイズを選択 >  > [OHP フィルム] > 

- b. 多目的フィーダーに OHP フィルムをセットし、 を押します。

メモ: 原稿を原稿ガラスにセットしている場合に続けてスキャンするときは、原稿ガラスに次の原稿を置き、

 ボタンで [次のページをスキャン] を選択して  を押します。

6. 最後に  ボタンで [ジョブを終了する] を選択し、 を押してスキャンを完了します。

レターヘッド紙にコピーする

1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿（雑誌の切抜きなど）を読込まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
- 原稿が正しくセットされると、ADF インジケーターが点灯します。

2. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせます。
3. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [コピー] >  > [コピー元] > 原稿の用紙サイズを選択

4. 続いて、次の順に選択します。

[コピー先] >  > レターヘッド紙がセットされているトレイを選択 >  > コピー枚数を選択またはテンキーで入力 > 

5. レターヘッド紙がセットされているトレイがない場合は、次の操作をします。

- a. 次の順に選択します。

[コピー先] >  > [MP フィーダー] >  > レターヘッド紙のサイズを選択 > [レターヘッド紙]

- b. レターヘッドのある面を上向きにして上端から先にレターヘッド紙を多目的フィーダーにセットし、 を押します。

メモ: 原稿を原稿ガラスにセットしている場合に続けてスキャンするときは、原稿ガラスに次の原稿を置き、

 ボタンで [次のページをスキャン] を選択して  を押します。

6. 最後に  ボタンで [ジョブを終了する] を選択し、 を押してスキャンを完了します。

設定を変更してコピーする

異なるサイズの内紙にコピーする

1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿（雑誌の切抜きなど）を読込まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
- 原稿が正しくセットされると、ADF インジケーターが点灯します。

2. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせてます。
3. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [コピー] >  > [コピー元] > 原稿の内紙サイズを選択

4. 続いて、次の順に選択します。

[コピー先] >  > コピーしたい用紙サイズを選択（原稿のサイズとは異なるサイズ） > コピー枚数を選択またはテンキーで入力 > 

メモ: 原稿を原稿ガラスにセットしている場合に続けてスキャンするときは、原稿ガラスに次の原稿を置き、

 ボタンで [次のページをスキャン] を選択して  を押します。

5. 最後に  ボタンで [ジョブを終了する] を選択し、 を押してスキャンを完了します。

コピーする用紙をトレイで選択してコピーする

1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿（雑誌の切抜きなど）を読込まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
- 原稿が正しくセットされると、ADF インジケーターが点灯します。

2. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせてます。
3. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [コピー] >  > [コピー元] > 原稿の内紙サイズを選択

4. 続いて、次の順に選択します。

[コピー先] > **OK** > コピーしたいサイズとタイプ用の紙がセットされたトレイを選択 > **OK** > コピー枚数を選択またはテンキーで入力 > 

5. 目的のサイズとタイプの用紙がセットされているトレイがない場合は、次の操作をします。

- a. 次の順に選択します。

[コピー先] > **OK** > [MP フィーダー] > **OK** > セットする用紙のサイズを選択 > **OK** > セットする用紙のタイプを選択 > **OK**

- b. コピーしたいサイズとタイプの用紙を多目的フィーダーにセットし、 を押します。

メモ: 原稿を原稿ガラスにセットしている場合に続けてスキャンするときは、原稿ガラスに次の原稿を置き、

◀▶ ボタンで [次のページをスキャン] を選択して **OK** を押します。

6. 最後に **◀▶** ボタンで [ジョブを終了する] を選択し、**OK** を押してスキャンを完了します。

用紙の両面にコピーする(両面印刷)

1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿(雑誌の切抜きなど)を読込まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
- 原稿が正しくセットされると、ADF インジケータが点灯します。

2. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせてください。

3. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [コピー] > **OK** > [印刷面(両面印刷)] > 両面の条件を設定 > コピー枚数を選択またはテンキーで入力 > 

メモ:

- 両面の条件の表記は、最初の文字が原稿の状態を、後ろの文字がコピーする状態を示しています。例えば、片面印刷してある原稿を両面にコピーする場合は、[片面を両面に] を選択します。
- 原稿を原稿ガラスにセットしている場合に続けてスキャンするときは、原稿ガラスに次の原稿を置き、**◀▶** ボタンで [次のページをスキャン] を選択して **OK** を押します。

4. 最後に **◀▶** ボタンで [ジョブを終了する] を選択し、**OK** を押してスキャンを完了します。

縮小または拡大してコピーする

原稿に対して 25 %～400 %の範囲で拡大縮小を指定できます。

1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズ of 原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿 (雑誌の切抜きなど) を読まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
- 原稿が正しくセットされると、ADF インジケーターが点灯します。

2. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせます。
3. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [コピー] >  > [拡大縮小] > 拡大、縮小率を選択 > コピー枚数を選択またはテンキーで入力 > 

メモ: 原稿を原稿ガラスにセットしている場合に続けてスキャンするときは、原稿ガラスに次の原稿を置き、

◀▶ ボタンで [次のページをスキャン] を選択して  を押します。

4. 最後に ▶▶ ボタンで [ジョブを終了する] を選択し、 を押してスキャンを完了します。

コピーの濃度を調整する

1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズ of 原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿 (雑誌の切抜きなど) を読まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
- 原稿が正しくセットされると、ADF インジケーターが点灯します。

2. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせます。
3. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [コピー] >  > [濃さ] > 濃度を選択 > コピー枚数を選択またはテンキーで入力 > 

メモ: 原稿を原稿ガラスにセットしている場合に続けてスキャンするときは、原稿ガラスに次の原稿を置き、

◀▶ ボタンで [次のページをスキャン] を選択して  を押します。

4. 最後に ▶▶ ボタンで [ジョブを終了する] を選択し、 を押してスキャンを完了します。

コピー品質を調整する

1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿（雑誌の切抜きなど）を読込まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
- 原稿が正しくセットされると、ADF インジケータが点灯します。

2. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせます。

3. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [コピー] >  > [原稿タイプ] > 原稿タイプを選択

4. ◀▶ ボタンで次の中から原稿の内容に合った設定を選択します。

- **文字**—テキストや線画の多い原稿
- **文字/写真**—テキストと図表や写真が混在した原稿
- **写真**—写真やイラストの多い原稿
- **グラフィックス**—円グラフ、棒グラフ、簡単なイラストなどビジネス用の図表が多い原稿

5. ▲▼ ボタンで [内容のソース] を表示させ、◀▶ ボタンで次の中から原稿が作成された方法に一番合った設定を選択します。

- **カラーレーザー**—カラーレーザープリンターの印刷物が原稿の場合
- **インクジェット**—インクジェットプリンターの印刷物が原稿の場合
- **雑誌**—雑誌上の誌面が原稿の場合
- **出版物**—オフセット印刷（一般の印刷物）の誌面が原稿の場合
- **モノクロレーザー**—モノクロレーザープリンターの印刷物が原稿の場合
- **写真/フィルム**—写真やフィルムが原稿の場合
- **新聞**—新聞の誌面が原稿の場合
- **その他**—印刷された方法が不明または判断できない原稿の場合

6. コピー枚数を選択またはテンキーで入力して  を押します。

メモ: 原稿を原稿ガラスにセットしている場合に続けてスキャンするときは、原稿ガラスに次の原稿を置き、

◀▶ ボタンで [次のページをスキャン] を選択して  を押します。

7. 最後に ▶▶ ボタンで [ジョブを終了する] を選択し、 を押してスキャンを完了します。

部単位でコピーを作成する(丁合)

複数部をコピーする場合に、全ページを1部印刷してから2部目を印刷するか(丁合する)、ページごと枚数分を印刷するか(丁合しない)を設定します。

丁合する (1,2,3)(1,2,3)	丁合しない (1,1,1)(2,2,2)
	

[丁合]を選択するには:

1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿(雑誌の切抜きなど)を読込まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
- 原稿が正しくセットされると、ADF インジケータが点灯します。

2. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせます。

3. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [コピー] >  > [丁合印刷] > 丁合の状態を選択 > コピー枚数を選択またはテンキーで入力 > 

メモ: 原稿を原稿ガラスにセットしている場合に続けてスキャンするときは、原稿ガラスに次の原稿を置き、

◀▶ ボタンで [次のページをスキャン] を選択して  を押します。

4. 最後に ▶▶ ボタンで [ジョブを終了する] を選択し、 を押してスキャンを完了します。

コピーの区切り部分にセパレーター紙を挿入する

1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿(雑誌の切抜きなど)を読込まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
- 原稿が正しくセットされると、ADF インジケータが点灯します。

2. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせます。

3. 操作パネルで、次の順に選択します。

 >[コピー]>  >[セパレータ紙]

4. セパレータ紙を挿入する位置を、[各部の間]、[各ジョブの間]、[各ページの間]または[オフ]の中から選択します。
5. コピー枚数を選択またはテンキーで入力して  を押します。

メモ: 原稿を原稿ガラスにセットしている場合に続けてスキャンするときは、原稿ガラスに次の原稿を置き、

◀▶ボタンで[次のページをスキャン]を選択して  を押します。

6. 最後に◀▶ボタンで[ジョブを終了する]を選択し、 を押してスキャンを完了します。

複数ページを1枚の用紙にコピーする

複数ページの原稿をコピーするときに、1枚の用紙に2ページまたは4ページを割付けてコピーすることで、用紙を節約できます。

メモ:

- 用紙サイズがレター、リーガル、A4、または JIS B5 のいずれかに設定されていることを確認してください。
 - コピーの[拡大縮小]は 100%に設定してください。
1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿(雑誌の切抜きなど)を読込まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
- 原稿が正しくセットされると、ADF インジケータが点灯します。

2. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせます。
3. 操作パネルで、次の順に選択します。

 >[コピー]>  >[用紙の節約]> 割付け条件を選択

4. 割付け条件を、[オフ]、[2 アップ縦長]、[2 アップ横長]、[4 アップ縦長]または[4 アップ横長]の中から選択します。
5. コピー枚数を選択またはテンキーで入力して  を押します。

メモ: 原稿を原稿ガラスにセットしている場合に続けてスキャンするときは、原稿ガラスに次の原稿を置き、

◀▶ボタンで[次のページをスキャン]を選択して  を押します。

6. 最後に◀▶ボタンで[ジョブを終了する]を選択し、 を押してスキャンを完了します。

情報を付加してコピーする

各ページにオーバーレイテキストを印刷する

1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿（雑誌の切抜きなど）を読込まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
- 原稿が正しくセットされると、ADF インジケータが点灯します。

2. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせます。
3. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [コピー] >  > [オーバーレイ] > オーバーレイテキストを選択

4. オーバーレイテキストを、[オフ]、[部外秘]、[コピー]、[高速]、[至急]または[カスタム]の中から選択します。
5. コピー枚数を選択またはテンキーで入力して  を押します。

メモ: 原稿を原稿ガラスにセットしている場合に続けてスキャンするときは、原稿ガラスに次の原稿を置き、

◀▶ ボタンで [次のページをスキャン] を選択して  を押します。

6. 最後に ▶▶ ボタンで [ジョブを終了する] を選択し、 を押してスキャンを完了します。

コピージョブをキャンセルする

操作パネルでキャンセルする

操作パネルで  を押します。

コピーで設定できる機能について

[部数]

印刷するコピーの部数を設定します。

[コピー元]

原稿の用紙サイズを設定する画面を表示します。

- ◀▶ボタンで原稿の用紙サイズを選択して **OK** を押します。
- 幅が同じであれば、異なるサイズの原稿を混在できます。サイズを混在する場合は、◀▶ボタンで[サイズ混在]を選択して **OK** を押します。
- 原稿のサイズを自動的に検出するには、◀▶ボタンで[自動サイズ検知]を選択して **OK** を押します。

[コピー先]

コピーに使用したい用紙のサイズとタイプを選択します。

- ◀▶ボタンでコピーに使用したい用紙のサイズとタイプを選択して **OK** を押します。トレイまたは多目的フィーダーにセットされている用紙の中にあるサイズとタイプを選択してください。
- [コピー元]と[コピー先]のサイズの設定が異なる場合、自動的に用紙の比率に合わせて拡大/縮小率が調整されます。
- 目的のサイズやタイプの用紙がトレイにセットされていない場合は、◀▶ボタンで[多目的フィーダー]を選択して **OK** を押します。続いて、多目的フィーダーに目的の用紙をセットします。
- 原稿と同じサイズでコピーしたいときは、[コピー先]を[自動サイズ調整]に設定してください。同じサイズの用紙がいずれのトレイにもセットされていない場合は、[用紙サイズが見つかりません]が表示され、トレイまたは多目的フィーダーに用紙をセットするように要求されます。

[拡大縮小]

原稿に対して 25 %～400 %の範囲で拡大縮小を指定します。自動で拡大/縮小する方法もあります。

- リーガルサイズの原稿をレターサイズの用紙にコピーしたいなど、原稿と異なるサイズの用紙にコピーしたい場合は、[コピー元]と[コピー先]のそれぞれのサイズを設定します。このサイズの設定が異なる場合、自動的に用紙の比率に合わせて拡大/縮小率が調整されます。
- ◀▶ボタンで拡大/縮小率を 1 %ごとに設定します。ボタンを 2 秒以上押し続けると連続して数値が変更されます。

[濃さ]

原稿に対する濃さをどの程度薄くするか、濃くするかを調整します。

[印刷]

片面の原稿をスキャンし、片面または両面にコピーします。

[丁合印刷]

複数部をコピーする場合に、全ページを1部印刷してから2部目を印刷する(丁合する)を設定します。

[原稿タイプ]

原稿の内容に応じて原稿タイプを選択します。

次の中から内容で選択します。

- **グラフィックス**—円グラフ、棒グラフ、簡単なイラストなどビジネス用の図表が多い原稿
- **写真**—写真やイラストの多い原稿
- **文字**—テキストや線画の多い原稿
- **文字/写真**—テキストと図表や写真が混在した原稿

[内容のソース]

原稿の状態を生成された方法で指定します。

次の中から印刷方法で選択します。

- **カラーレーザー**—カラーレーザープリンターの印刷物が原稿の場合
- **モノクロレーザー**—モノクロレーザープリンターの印刷物が原稿の場合
- **インクジェット**—インクジェットプリンターの印刷物が原稿の場合
- **写真/フィルム**—写真やフィルムが原稿の場合
- **雑誌**—雑誌上の誌面が原稿の場合
- **新聞**—新聞の誌面が原稿の場合
- **出版物**—オフセット印刷(一般の印刷物)の誌面が原稿の場合
- **その他**—印刷された方法が不明または判断できない原稿の場合

[両面印刷詳細設定]

両面印刷の向きとして、原稿が片面であるか両面であるか、綴じ方向はどちらかを指定できます。

[オーバーレイ]

各ページにオーバーレイテキストを透かし文字で入れてコピーできます。選択できるオーバーレイテキストは、部外秘、コピー、高速、至急、カスタムから選択します。カスタムを選択したときは、**[カスタムテキストオーバーレイ]**を入力し、**[OK]**を押します]フィールドにテキストを入力します。テキストは全ページに大きな文字で薄く印刷されます。

[セパレータ紙]

コピーや印刷の部数ごと、ページごと、印刷ジョブやコピージョブごとの間に、白紙を挿入します。セパレーター紙は、コピーに使用されている用紙とは別のトレイから給紙するため、異なる種類や色の用紙を選択できます。

[用紙の節約]

1枚の用紙に2ページまたはそれ以上のページを割付けてコピーや印刷をします。**[用紙の節約]**は「N アップ」とも表現され、「N」が割付けるページ数を示します。例えば、**[2 アップ]**は1枚の用紙に2ページを割付けることで、**[4 アップ]**は1枚の用紙に4ページを割付けることです。

8—E メール

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿ガラス
 <p>複数ページの原稿をスキャンするときに使用します。</p>	 <p>1ページの原稿や本のページ、小サイズの原稿(ハガキや写真など)、OHPフィルム、写真専用紙、薄い原稿(雑誌の切抜きなど)の原稿をスキャンするときに使用します。</p>

本機はスキャナーでスキャンしたデータを1つ以上の送信先にEメールで送信できます。Eメールでの送信方法には2種類あります。ショートカット一覧から選択して送る、アドレス帳から選択して送るの2種類です。

本機のEメール機能を設定する

Eメール機能を設定する

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機のIPアドレスを入力して内蔵Webサーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機のIPアドレスは、[ネットワークポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IPアドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた4組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [設定]>[Eメール/FTP設定]>[Eメール設定]の順にクリックします。
3. 各項目に必要な情報を入力し、[送信]をクリックします。

E メール設定を変更する

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [設定]>[E メール/FTP 設定]>[E メール設定]の順にクリックします。
3. 各項目に必要な情報を入力し、[送信]をクリックします。

E メールショートカットを作成する

内蔵 Web サーバー機能で E メールショートカットを作成する

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [設定]>[ショートカット管理]>[E メールショートカット設定]の順にクリックします。
3. ショートカット名を入力してから E メールアドレスを入力します。

メモ: 複数アドレスを 1 つのショートカットに登録したい場合は、各アドレスを半角コンマ(,)で区切って入力してください。

4. 必要に応じてその他のスキャン機能を設定します。
5. ショートカットの番号を入力し、[追加]をクリックします。

入力したショートカットの番号がすでに使用されているときは、別の番号を入力するように要求されます。ショートカットの番号が短縮宛先として使用できるようになります。

原稿を E メールで送る

E メールショートカットで宛先を指定して送る

1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿（雑誌の切抜きなど）を読込まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
- 原稿が正しくセットされると、ADF インジケータが点灯します。

2. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせます。
3. [#]を押してからテンキーでショートカットの番号を入力し、**OK** を押します。
4.  を押します。

アドレス帳で宛先を指定して送る

1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿（雑誌の切抜きなど）を読込まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
- 原稿が正しくセットされると、ADF インジケータが点灯します。

2. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせます。
3. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [E メール] > **OK** > 宛先を選択 > 

Eメールの送信をキャンセルする

操作パネルで  を押します。

9—ファクス

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿ガラス
 <p>複数ページの原稿をスキャンするときに使用します。</p>	 <p>1ページの原稿や本のページ、小サイズの原稿(ハガキや写真など)、OHPフィルム、写真専用紙、薄い原稿(雑誌の切抜きなど)の原稿をスキャンするときに使用します。</p>

本機のファクス機能を設定する

 **注意—感電の恐れがあります:** 雷雨の際は FAX 機能を使用しないでください。また、雷雨の際は、本機のセットアップや、FAX 機器、電源コード、電話線などのケーブル接続作業を行わないでください。

メモ:

- 本機の初期セットアップ時は、ファクス機能のチェックボックスをオフにして、あとでセットアップを選択し、**[続行]**を押してください。
- ファクス機能が有効になった状態でセットアップを完了していない場合、インジケータが赤色に点滅することがあります。

警告—破損の恐れがあります:ファクスの送受信中はケーブルや本機の以下の部品には触らないでください。



ファクス機能の初期セットアップ

お使いの国または地域によっては、送信するファクスのヘッダーやフッター、または表紙にファクス名称(所属する会社や団体、個人など送信先が特定できる内容)とファクス番号(送信した装置や会社、団体、個人などの電話番号)の情報が必要になる場合があります。

これらファクス情報を登録するには、本機の操作パネルまたは内蔵 Web サーバー機能を使って[設定]メニューで設定してください。

メモ: 本機がネットワークに接続されていない場合は、本機の操作パネルで情報を登録してください。

操作パネルでファクス機能を設定する

本機の電源を初めて入れたときは、初期セットアップ画面が表示されます。ファクス機能が使用できる場合は、このときにファクス名やステーション名とファクス番号やステーション番号を設定する画面も表示されます。

1. [FAX 名]または[ステーション名]の画面が表示されたら、送信ファクスに記載するファクス名称を入力し、 を押します。
2. [FAX 番号]または[ステーション番号]の画面が表示されたら、ファクス番号を入力し、 を押します。

内蔵 Web サーバー機能でファクス機能を設定する

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

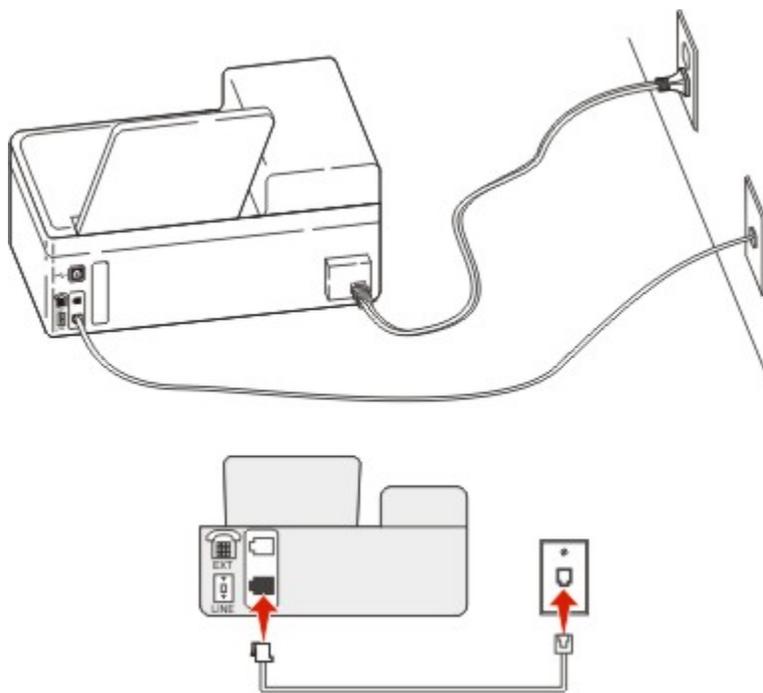
2. [設定]>[FAX 設定]>[アナログ FAX 設定]の順にクリックします。

3. [FAX 設定]メニューの[発信者名]フィールドに送信ファクスに記載するファクス名称を入力します。
4. [FAX 番号]フィールドにファクス番号を入力します。
5. [送信]をクリックします。

ファクス回線の接続方法を選択する

実例 1: 標準の電話回線

セットアップ 1: 本機をファクス専用回線に接続する



接続する:

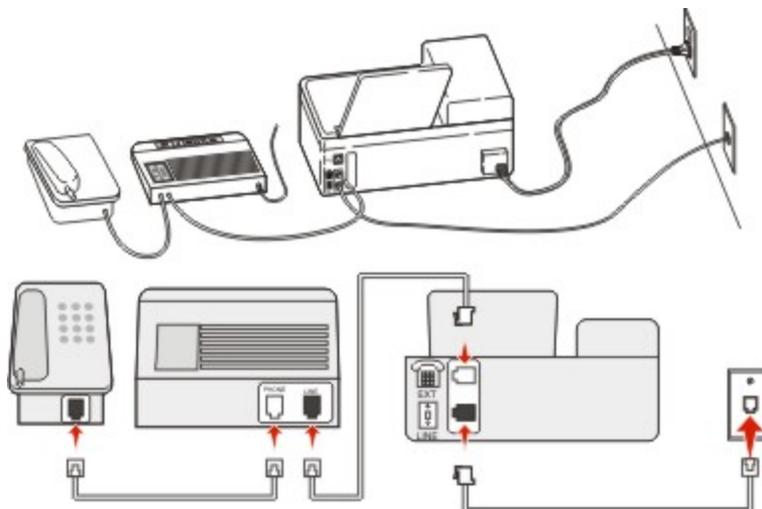
1. 電話線の一方のコネクターを本機の回線ポート(☎ LINE)に接続します。
2. もう一方のコネクターを壁面などにある一般的なアナログ電話ジャックに接続します。

セットアップのヒント:

- ファクスを自動([手動 FAX を有効化]オフ)または手動([手動 FAX を有効化]オン)で受信するように設定できます。
- ファクスを自動的に受信する([手動 FAX を有効化]オフ)場合は、応答するまでの呼出し回数を任意に設定できます。

セットアップ 2: 留守番電話機と回線を共有する場合

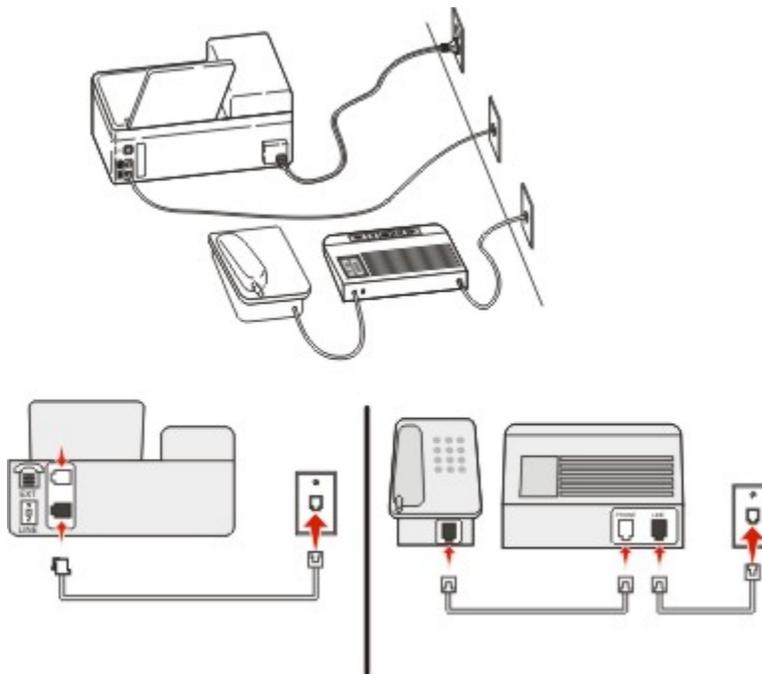
同じアナログ電話ジャックに接続する場合



接続する:

1. 電話線の一方のコネクターを本機の回線ポート(☎ LINE)に接続します。
2. もう一方のコネクターを壁面などにある一般的なアナログ電話ジャックに接続します。
3. 別の電話線で本機の回線ポート(☎ EXT)と留守番電話機を接続します。

別々のアナログ電話ジャックに接続する場合



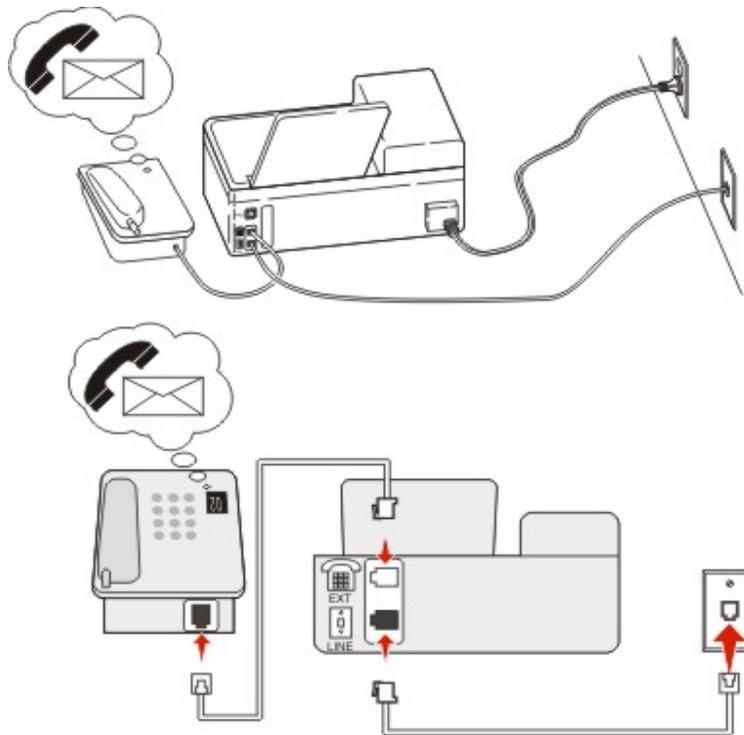
接続する:

1. 電話線の一方のコネクターを本機の回線ポート(☎ LINE)に接続します。
2. もう一方のコネクターを壁面などにある一般的なアナログ電話ジャックに接続します。

セットアップのヒント:

- お使いの電話回線が1つの電話番号しかない場合は、ファクスを自動的に受信する([手動 FAX を有効化] オフ)ように設定する必要があります。
- 留守番電話が応答してから着信音が2回鳴った後で本機が応答するように設定します。たとえば、留守番電話を着信音4回で応答するように設定している場合は、本機が6回で応答するように設定します。このように設定することで、留守番電話が先に応答し、音声の着信を受信します。ファクスの着信の場合は、本機が回線上でファクス信号を検出してから、受信します。
- 電話会社提供の専用着信音サービスなどを利用している場合は、正しい着信音を設定していることを確認してください。間違った着信音を設定すると、ファクスを自動受信するように設定していたとしても本機がファクスを受信しません。

セットアップ 3: ボイスメールサービスに加入している電話と電話回線を共有する場合



接続する:

1. 電話線の一方のコネクターを本機の回線ポート(☎ LINE)に接続します。
2. もう一方のコネクターを壁面などにある一般的なアナログ電話ジャックに接続します。
3. 別の電話線で本機の回線ポート(☎ EXT)と電話機を接続します。

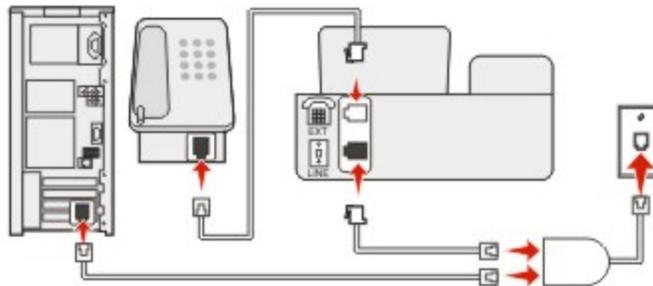
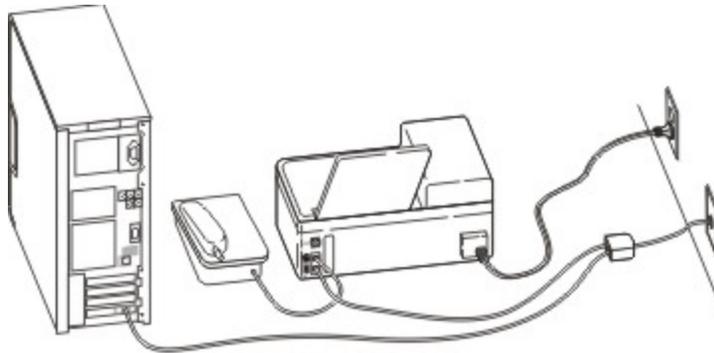
セットアップのヒント:

- 電話会社提供の専用着信音サービスに加入している場合は、このセットアップ方法が最適です。専用着信音サービスなどを利用している場合は、正しい着信音を設定していることを確認してください。間違った着信音を設定すると、ファクスを自動受信するように設定していたとしても本機がファクスを受信しません。
- お使いの電話回線が1つの電話番号しかない場合は、ファクスを自動的に受信する([手動 FAX を有効化] オフ)ように設定する必要があります。

受話器を取上げたときにファクストーンが聞こえたら、電話機で「*9*」または手動受信コードを押します。

- ファクスを自動([手動 FAX を有効化] オフ)で受信するように設定できますが、ファクスが送信されてくることが分かっているときは、あらかじめボイスメールサービスをオフにする必要があります。ファクスよりもボイスメールを頻繁に使用する場合は、このように手動で使分けをしてください。

実例 2: DSL (デジタル加入者線)



デジタル加入者線は、通常の電話回線を2つのチャンネル、音声チャンネルとインターネットチャンネルに分けた回線です。電話とファクスの信号は音声チャンネルで送受信され、インターネットの信号は別のチャンネルで送受信されます。このようにして、同じ回線をアナログ音声通話(ファクスを含む)とデジタルインターネットアクセスに使用できます。

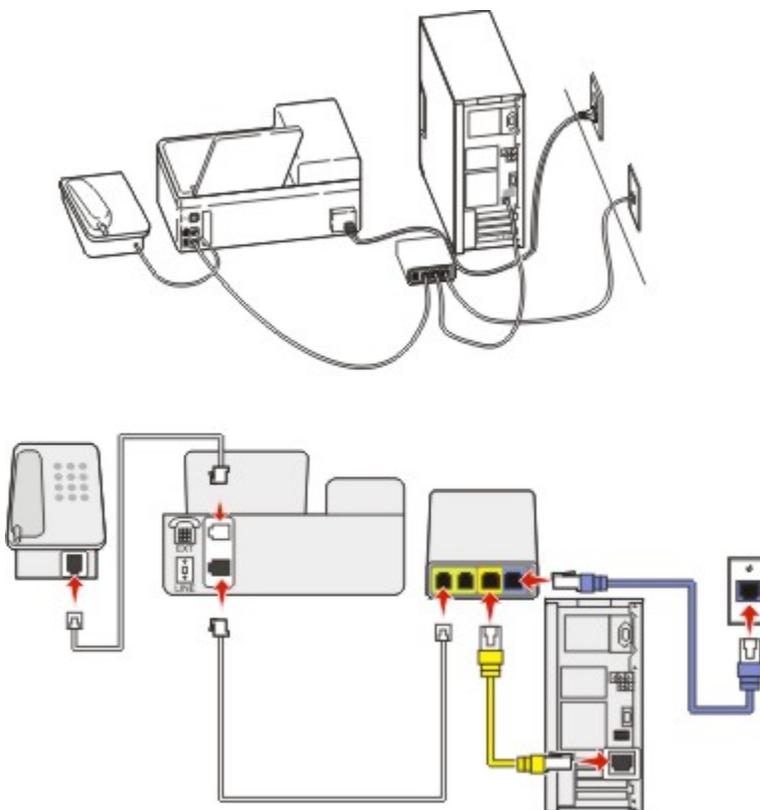
2つのチャンネルの干渉を最小限にして接続品質を確保するために、ネットワーク内のアナログデバイス(ファクス機器、電話機、留守番電話機)用にDSLフィルターを取付ける必要があります。干渉が発生すると、電話の雑音、本機でのファクスの失敗や品質低下、コンピューターでのインターネット接続速度の低下が起きます。

接続する:

本機にフィルターを取付けるには、以下の手順に従います。

1. 壁面などにある電話ジャックに DSL フィルターの LINE ポートを接続します。
2. 電話線の一方のコネクターを本機の回線ポート(☎ LINE)に接続し、もう一方のコネクターを DSL フィルターの電話ポートに接続します。
3. インターネットにアクセスするコンピューターと DSL フィルターの DSL HPN ポートに接続します。
4. 本機に電話機を接続する場合は、別の電話線で本機の回線ポート(☎ EXT)と電話機を接続します。

実例 3: VoIP 電話サービス



接続する:

1. 電話線の一方のコネクターを本機の回線ポート(☎ LINE)に接続します。
2. もう一方のコネクターを、VoIP アダプターの「電話回線 1」または「電話ポート」という指示のあるポートに接続します。

メモ:「電話回線 2」または「FAX ポート」という指示のあるポートは 2 番目のポートのため使用できない場合があります。2 番目の電話ポートを有効にするには、プロバイダーとの契約が別途必要になる場合があります。

3. 別の電話線で本機の回線ポート(☎ EXT)と電話機を接続します。

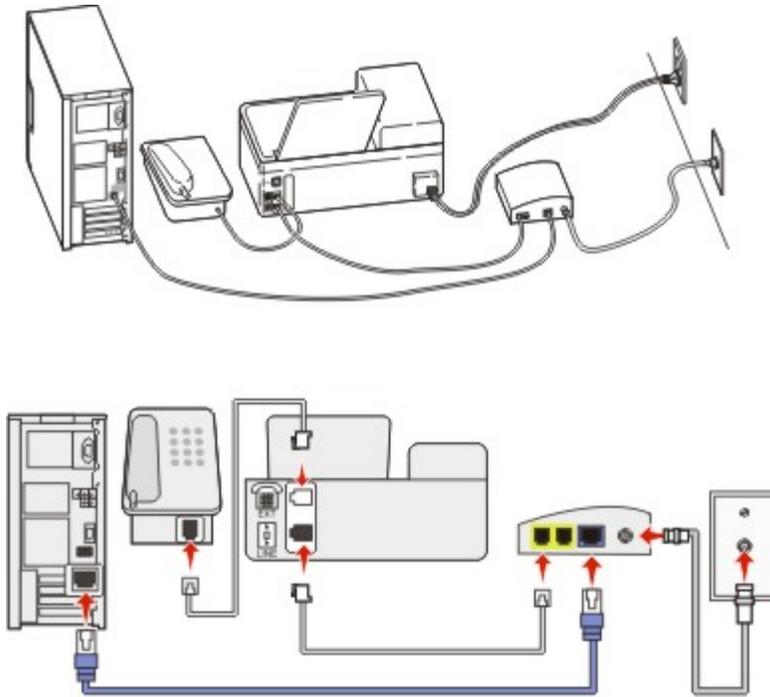
セットアップのヒント:

- VoIP アダプターの電話ポートが機能していることを確認するには、電話ポートにアナログ電話機を接続してダイヤルトーンを聞いてください。ダイヤルトーンが聞こえる場合は、そのポートは機能しています。
- お使いの環境で2つの電話ポートが必要な場合でも、本機を2番目の電話ポートには差し込まないでください。追加料金が発生する場合があります。このような場合は、電話分配器が使用できます。電話分配器を「電話回線 1」または「電話ポート」に接続し、本機および電話機を分配器に接続します。

メモ: 回線スプリッターではなく、電話分配器を使用してください。正しい分配器を使用していることを確認するには、アナログ電話機を分配器に接続してダイヤルトーンを聞いてください。

実例 4: ケーブルプロバイダーのデジタル電話サービス

セットアップ 1: 本機をケーブルモデムに直接接続する場合



接続する:

1. 電話線の一方のコネクターを本機の回線ポート(☎ LINE)に接続します。
2. もう一方のコネクターを、ケーブルモデムの「電話回線 1」または「電話ポート」という指示のあるポートに接続します。

メモ: 「電話回線 2」または「FAX ポート」という指示のあるポートは2番目のポートのため使用できない場合があります。2番目の電話ポートを有効にするには、プロバイダーとの契約が別途必要になる場合があります。

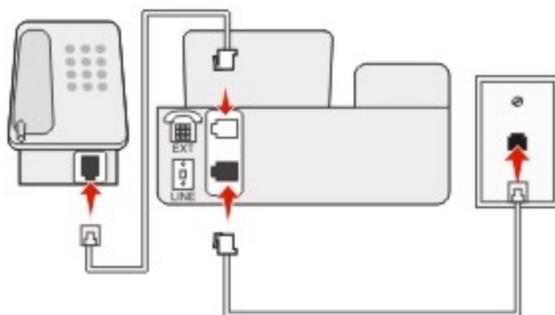
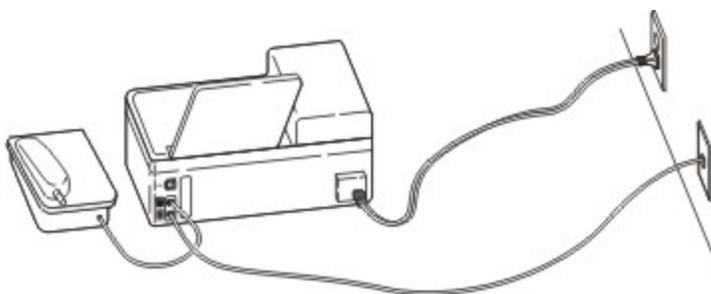
3. 別の電話線で本機の回線ポート(☎ EXT)と電話機を接続します。

セットアップのヒント:

- ケーブルモデムの電話ポートが機能していることを確認するには、電話ポートにアナログ電話機を接続してダイヤルトーンを聞いてください。ダイヤルトーンが聞こえる場合は、そのポートは機能しています。
- お使いの環境で2つの電話ポートが必要な場合でも、本機を2番目の電話ポートには差し込まないでください。追加料金が発生する場合があります。このような場合は、電話分配器が使用できます。電話分配器を「電話回線 1」または「電話ポート」に接続し、本機および電話機を分配器に接続します。

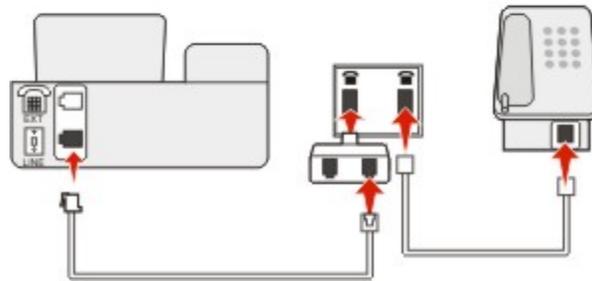
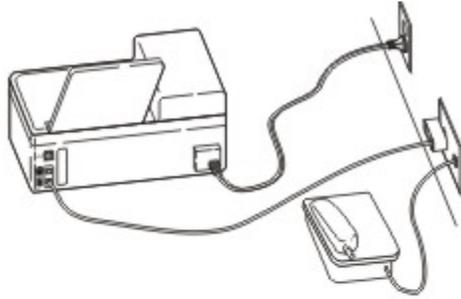
メモ: 回線スプリッターではなく、電話分配器を使用してください。正しい分配器を使用していることを確認するには、アナログ電話機を分配器に接続してダイヤルトーンを聞いてください。

セットアップ 2: ケーブルモデムが屋内の別の場所に取り付けられていて、壁の電話ジャックに機器が接続できるように配線されている場合



1. 電話線の一方向のコネクターを本機の回線ポート(☎ LINE)に接続します。
2. もう一方のコネクターを壁面などにある一般的なアナログ電話ジャックに接続します。
3. 別の電話線で本機の回線ポート(☎ EXT)と電話機を接続します。

RJ-11 以外のモジュージャックに接続する



1. 電話線の一方のコネクターを本機の回線ポート(☎ LINE)に接続します。
2. もう一方のコネクターを RJ-11 アダプターに接続し、そのアダプターを壁面などにある別のタイプの電話ジャックに接続します。
3. 壁の電話ジャックにその他の機器(電話や留守番電話など)を接続するとき、その機器のコネクターが RJ-11 以外である場合は、壁の電話ジャックに直接接続してください。

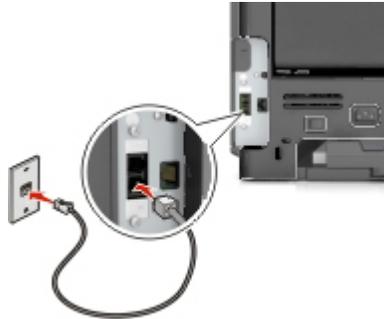
メモ:

- 本機の回線ポート(☎ EXT)に接続されているアダプタープラグを取外さないでください。
- RJ-11 用のアダプターやアダプタープラグは、別途購入が必要になることがあります。

専用着信音サービスを利用している場合

電話会社によっては専用着信音サービスを提供しています。このサービスは着信音の鳴分け(呼出しパターン)によって1つの回線で複数の電話番号を使い分けることができるサービスです。ファクスと音声通話を区別するときなどに利用されます。専用着信音サービスを利用している場合は、次の設定が必要です。

1. 電話線の一方のコネクターを本機の回線ポート(LINE)に接続します。
2. もう一方のコネクターを壁面などにある一般的なアナログ電話ジャックに接続します。



3. 本機の[受信の設定]を対応している呼出しパターンに変更します。

操作パネルで、次の順に選択します。

🏠 > [設定] > OK > [FAX 設定] > OK > [受信の設定] > 特殊呼び出し音 > ⏪

発信者名とファクス番号を設定する

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた4組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [設定]>[FAX 設定]>[アナログ FAX 設定]の順にクリックします。
3. [FAX 設定]メニューの[発信者名]フィールドに送信ファクスに表示する発信者名を入力します。
4. [FAX 番号]フィールドにファクス番号を入力します。
5. [送信]をクリックします。

日付と時刻を設定する

送信ファクスに表示する日時を設定します。停電があった場合は、日付と時刻を設定しなおしてください。

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [設定]>[セキュリティ]>[日付/時刻を設定]の順にクリックします。
3. [日付/時刻を設定]フィールドに現在の日付と時刻を入力します。
4. [送信]をクリックします。

メモ: 日付/時刻の設定には、ネットワークによる時刻補正機能(NTP)を利用すると便利です。

夏時間(DST)を設定する

夏時間(DST)の開始時期と終了時期を自動的に切替えるように設定します。

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [設定]>[セキュリティ]>[日付/時刻を設定]の順にクリックします。
3. [DST を自動的に順守]のチェックボックスを有効にします。DST 機能が開始され、[カスタムタイムゾーン設定]の設定に合わせて夏時間が自動的に切替わるようにねります。
4. [送信]をクリックします。

ファクス送信

操作パネルでファクスを送信する

1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿（雑誌の切抜きなど）を読込まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
- 原稿が正しくセットされると、ADF インジケータが点灯します。

2. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせます。

3. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [FAX] >  > テンキーでファクス番号または FAX ショートカット番号を入力 >  > [原稿サイズ] > 

メモ: 原稿を原稿ガラスにセットしている場合に続けてファクス原稿をスキャンするときは、原稿ガラスに次の原稿を置き、◀▶ ボタンで [次のページをスキャン] を選択して  を押します。

4. 最後に ▶▶ ボタンで [ジョブを終了する] を選択し、 を押してファクス原稿のスキャンを完了します。

コンピューターを使用してファクスを送信する

FAX ドライバーから本機に印刷ジョブを送信することでファクスジョブを送信できます。操作パネルからの操作ではなく、プリンタードライバーの操作で本機のファクス機能をコントロールする機能です。

1. アプリケーションで文書を開き、[ファイル] > [印刷] の順にクリックします。
2. プリンターを選択し、[プロパティ] をクリックします。
3. 次の順に選択します。

[FAX] タブ > [FAX を有効にする]

4. [FAX 番号] フィールドに送信先のファクス番号 (1 つまたは複数) を入力します。

メモ: ファクス番号は、手動で入力するか、[電話帳] 機能を使用して入力することができます。

5. 必要に応じて、[外線発信番号] ダイアログに局番を入力します。
6. 適切な用紙サイズと用紙の向きを選択します。
7. 送付状ページを含める場合は、[送信者の情報を含める] を選択し、該当する情報を入力します。

8. [OK]をクリックします。

メモ:

- プリンタードライバーのインストールについて詳しくは、『Drivers and Documentation CD』をご覧ください。
- [FAX 送信前に必ず設定を表示する]チェックボックスがオンになっている場合は、送信前に宛先の情報を確認する画面が表示されます。チェックボックスがオフになっている場合は、[OK]をクリックするとそのままファクスキューとして送信されます。

FAX ショートカットで宛先を指定してファクスを送る

FAX ショートカットは、一般の電話やファクス機の短縮ダイヤル番号と同じです。ショートカットの番号(1~999)には、単一宛先も複数宛先も登録できます。

1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿(雑誌の切抜きなど)を読まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
 - 原稿が正しくセットされると、ADF インジケーターが点灯します。
2. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせます。
 3. [#]を押してからテンキーでショートカットの番号を入力します。
 4.  を押します。

アドレス帳で宛先を指定してファクスを送る

アドレス帳機能を使用すると、登録してある宛先やネットワーク上の送信先フォルダーを検索できます。

1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿(雑誌の切抜きなど)を読まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
 - 原稿が正しくセットされると、ADF インジケーターが点灯します。
2. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせます。
 3. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [FAX]>  >  > 宛先を選択 > 

内蔵 Web サーバー機能で FAX ショートカットを作成する

FAX ショートカットには、個別のファクス番号のほか複数のファクス番号をグループとして登録することもできます。

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワークポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [設定]>[ショートカット管理]>[FAX ショートカット設定]の順にクリックします。

メモ: パスワードを訪ねる画面が表示されたときに、ID とパスワードが不明な場合はシステム管理者に問い合わせてください。

3. ショートカット名を入力してからファクス番号を入力します。

メモ:

- 複数のファクス番号を 1 つのショートカットに登録したい場合は、グループとして登録します。
- グループへは、各ファクス番号を半角セミコロン(;)で区切って入力してください。

4. ショートカットの番号を入力します。

メモ: 入力したショートカットの番号がすでに使用されているときは、別の番号を入力するように要求されます。

5. [追加]をクリックします。

設定を変更してファクスを送信する

解像度を変更してファクスを送信する

1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿(雑誌の切抜きなど)を読込まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
- 原稿が正しくセットされると、ADF インジケーターが点灯します。

2. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせます。

3. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [FAX] >  > ファクス番号を入力 > [解像度] > 解像度を選択

メモ: 解像度は[標準](最短で送信)から[ウルトラファイン 600 dpi](時間はかかりますが最高品質)まで選択できます。

4.  を押します。

濃度を調整してファクスを送信する

1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿(雑誌の切抜きなど)を読込まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
- 原稿が正しくセットされると、ADF インジケータが点灯します。

2. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせます。

3. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [FAX] >  > ファクス番号を入力 >  > [濃淡] > 濃度を調整 > 

ファクス履歴を確認する

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワークポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [設定] > [レポート] の順にクリックします。

3. [FAX ジョブログ] または [FAX 通話ログ] をクリックします。

ファクスを拒否する

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [設定]>[FAX 設定]>[アナログ FAX 設定]>[無記名の FAX をブロック]の順にクリックします。

メモ:

- この機能を有効にすると、発信者番号通知のあるファクス受信やファクス名のないファクス受信をすべてブロックします。
- [禁止された FAX 一覧]にファクス番号やファクス名を入力すると、指定した送信者からのファクスをブロックします。

ファクスの送信をキャンセルする

原稿のスキャン中にキャンセルする場合

- 原稿を ADF でスキャンしている場合は、[ページスキャン中]が表示されている間に  を押します。
- 原稿を原稿ガラスでスキャンしている場合は、[次のページをスキャン]または[ジョブを終了する]が表示されている間に  を押します。

原稿のスキャン後にキャンセルする場合

1. 操作パネルで  を押します。
2. ◀▶ボタンでキャンセルしたいジョブを表示させます。
3. 次の順に選択します。

 >[選択したジョブを削除]

受信ファクスの保留と転送

受信したファクスを保留する

受信したファクスを解除するまで印刷しません。保持されたファクスは、手動で解除または設定した時間になると解除されます。

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [設定]>[FAX 設定]>[アナログ FAX 設定]>[FAX 保留]の順にクリックします。
3. [FAX 保留設定]メニューで[オフ]、[常にオン]、[手動]または[予約]から選択します。
4. [予約]を選択したときは、次の順に操作します。
 - a. [FAX 送信予定]をクリックします。
 - b. [アクション]メニューで[FAX を保持]を選択します。
 - c. 時間の項目で保持されたファクスを解除する時間を選択します。
 - d. 日にちの項目で保持されたファクスを解除する日にちを選択します。
5. [追加]をクリックします。

受信したファクスを転送する

受信したファクスを他のファクス番号や E メールアドレス、FTP サイトなどへ転送できます。

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [設定]>[FAX 設定]の順にクリックします。
3. [FAX 転送]メニューで[印刷]、[印刷して転送]または[転送]から選択します。

4. [転送先]メニューで転送先を選択します([FAX]、[Eメール]、[FTP]など)。
5. [ショートカットに転送]フィールドに転送先のショートカットを入力します。

メモ: [転送先]メニューで選択した転送先に対応したショートカット宛先を選択してください。

6. [送信]をクリックします。

ファクスで設定できる機能について

[原稿サイズ]

ファクス送信する原稿の用紙サイズを選択します。

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

 >[ファクス]>  >[原稿サイズ]

2. ◀▶ボタンで原稿の用紙サイズを選択して  を押します。

[解像度]

送信するファクスの品質を調整します。解像度を大きくすると、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンに時間がかかるようになります。解像度を小さくすると、ファイルサイズが小さくなります。

次の中から選択します。

- **標準**—一般的なファクス原稿(適度な大きさの文字原稿)に適しています。
- **精細 200 dpi**—文字が小さめのファクス原稿に適しています。
- **スーパーファイン 300 dpi**—内容がより細かいファクス原稿に適しています。
- **ウルトラファイン 600 dpi**—絵や写真などのファクス原稿に適しています。

[濃さ]

原稿に対する濃さをどの程度薄くするか、濃くするかを調整します。

[原稿タイプ]

原稿の内容に応じて原稿タイプを選択します。

次の中から内容で選択します。

- **グラフィックス**—円グラフ、棒グラフ、簡単なイラストなどビジネス用の図表が多い原稿
- **写真**—写真やイラストの多い原稿

- 文字—テキストや線画の多い原稿
- 文字/写真—テキストと図表や写真が混在した原稿

[内容のソース]

原稿の状態を生成された方法で指定します。

次の中から印刷方法で選択します。

- カラーレーザー—カラーレーザープリンターの印刷物が原稿の場合
- モノクロレーザー—モノクロレーザープリンターの印刷物が原稿の場合
- インクジェット—インクジェットプリンターの印刷物が原稿の場合
- 写真/フィルム—写真やフィルムが原稿の場合
- 雑誌—雑誌上の誌面が原稿の場合
- 新聞—新聞の誌面が原稿の場合
- 出版物—オフセット印刷(一般の印刷物)の誌面が原稿の場合
- その他—印刷された方法が不明または判断できない原稿の場合

[印刷面(両面印刷)]

原稿が片面印刷であるか両面印刷であるかを設定します。両面原稿をファクス送信するときは、両面読みが必要になるため、設定してください。

メモ: 両面スキャンは本機では使用できません。

[用紙の向き]

原稿の向きを指定します。両面の原稿を読み込むときは、正しい向きになるように[印刷面(両面印刷)]と[綴じ]も合わせて設定してください。

[綴じ]

両面の原稿の綴じ方向を[長辺]または[短辺]で設定します。

10—スキャン

FTP アドレスにスキャン

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿ガラス
 <p>複数ページの原稿をスキャンするときに使用します。</p>	 <p>1ページの原稿や本のページ、小サイズの原稿(ハガキや写真など)、OHPフィルム、写真専用紙、薄い原稿(雑誌の切抜きなど)の原稿をスキャンするときに使用します。</p>

本機はスキャナーでスキャンしたデータを FTP サーバーに直接保存することができます。一度に 1 つの FTP アドレスに対して送信できます。

FTP 送信先がサービス技術者によって管理されている場合、送信先がショートカットとして登録されているか、[保持されたジョブ]アイコンでプロファイルが確認できます。FTP 送信先が別の PostScript プリンターになる可能性もあります。

FTP ショートカットを作成する

内蔵 Web サーバー機能で FTP ショートカットを作成する

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. 次の順に選択します。

[設定]>[ショートカット管理]>[FTP ショートカット設定]

3. 各項目に必要な情報を入力します。

メモ: パスワードを訪ねる画面が表示されたときに、ID とパスワードが不明な場合はシステム管理者に問い合わせてください。

4. ショートカットの番号をします。

入力したショートカットの番号がすでに使用されているときは、別の番号を入力するように要求されます。

5. [追加]をクリックします。

FTP アドレスにスキャンする

FTP ショートカットで宛先を指定してスキャンする

1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿（雑誌の切抜きなど）を読込まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
- 原稿が正しくセットされると、ADF インジケータが点灯します。

2. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせます。

3. [#]を押してからテンキーでショートカットの番号を入力します。

4.  を押します。

アドレス帳で宛先を指定してスキャンする

1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿（雑誌の切抜きなど）を読込まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
- 原稿が正しくセットされると、ADF インジケータが点灯します。

2. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせます。

3. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [FTP] >  > 宛先を選択 > 

コンピューターにスキャン

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿ガラス
 <p>複数ページの原稿をスキャンするときに使 用します。</p>	 <p>1 ページの原稿や本のページ、小サイズの原稿(ハガキや写真など)、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿(雑誌の切抜きなど)の原稿をスキャンする ときに使用します。</p>

本機はスキャナーでスキャンしたデータをコンピューターに直接保存することができます。コンピューターからスキャンするために、本機とコンピューターを直接接続する必要はありません。コンピューター上でスキャンプロファイルを作成し、それを本機にダウンロードすることにより、ネットワーク経由で原稿をスキャンすることができます。

コンピューターにスキャンする

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワークポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [スキャンプロファイル]>[スキャンプロファイルを作成]の順にクリックします。
3. 表示されるスキャン設定を選択し、[次へ]をクリックします。
4. スキャンしたデータを保存するコンピューターの場所(フォルダーなど)を選択します。
5. スキャン名を入力します。

スキャン名はスキャンプロファイル一覧に表示される名前になります。

6. [送信]をクリックします。

7. スキャンプロファイルの画面の指示を確認します。

[送信]をクリックすると、コンピューターへスキャンするためのショートカット番号が自動的に作成されます。このショートカット番号を指定して本機からスキャンしたデータをコンピューターに送ります。

- a. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。

メモ:

- ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿(雑誌の切抜きなど)を読込まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。
- 原稿が正しくセットされると、ADF インジケーターが点灯します。

- b. ADF トレイにセットした場合は、用紙ガイドを原稿に合わせます。

- c. 操作パネルから、次のどちらかの方法でショートカット番号を選択します。

- [#]を押してからテンキーでショートカットの番号を入力します。
- ▲▼ボタンで[保持されたジョブ]を選択し、▲▼ボタンで[プロフィール]を選択します。

ショートカット番号を入力した場合は、スキャンが開始され、スキャンしたデータがコンピューターに送信されます。

操作パネルで、[プロフィール]を選択した場合は、目的のショートカット番号を選択するとスキャンできます。

8. コンピューターでファイルを確認します。

スキャンしたデータのファイルは、スキャンプロファイルを作成したときに指定した場所(フォルダーなど)に保存されています。

11—設定メニューについて

メニュー一覧

用紙メニュー	レポート	ネットワーク/ポート	セキュリティ	設定
標準給紙トレイ	メニュー設定ページ	アクティブ NIC	コンフィデンシャル印刷	一般設定
用紙サイズ/タイプ	デバイス統計	標準ネットワーク ²	セキュリティ監査ログ	コピー設定
多目的フィーダー設定	ネットワーク設定ページ ¹	SMTP 設定	日付/時刻を設定	FAX 設定
代替サイズ	ショートカット一覧			E メール設定
用紙表面粗さ	FAX ジョブログ			FTP 設定
用紙の重さ	FAX 通話ログ			印刷設定
用紙セット方法	コピーショートカット			
カスタム紙タイプ	E メールショートカット			
カスタムスキャンサイズ	FTP ショートカット			
ユニバーサル設定	プロファイル一覧			
	フォント一覧印刷			
	資産レポート			
	Event Log Summary			

ショートカット管理

FAX ショートカット

E メールショートカット

FTP ショートカット

プロファイルショートカット管理

¹ 本機の状態によって、このメニュー項目は[ネットワーク設定ページ]または[ネットワーク x 設定ページ]と表示されます。

² 本機の状態によって、このメニュー項目は[標準ネットワーク]または[ネットワーク x]と表示されます。

[用紙メニュー]

[標準給紙トレイ]メニュー

項目	用途
<p>標準給紙トレイ</p> <p>トレイ x</p> <p>MP フィーダー</p> <p>手差し用紙</p> <p>手差し封筒</p>	<p>すべての印刷ジョブで使用する給紙装置の初期設定を指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[トレイ1](標準トレイ)です。 • メニューに[MPフィーダー](多目的フィーダー)を表示するには、[用紙メニュー]で[多目的フィーダー設定]を[トレイ]に設定します。 • 2つのトレイに同じサイズ、同じ種類の用紙をセットし、トレイの設定を同じに設定すると、この2つのトレイは自動的にリンクされます(トレイリンク)。この設定にしておく、一方のトレイが空になっても、リンクされているもう一方のトレイを使用して印刷ジョブが続行されます。

[用紙サイズ/タイプ]メニュー

項目	用途
<p>トレイ x 用紙サイズ</p> <p>A4 A5 A6 JIS B5 レター リーガル エグゼクティブ Oficio(メキシコ) フォリオ ステートメント ユニバーサル</p>	<p>各トレイにセットした用紙のサイズを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[A4]です。 • 2つのトレイに同じサイズ、同じ種類の用紙をセットし、トレイの用紙サイズとタイプを同じに設定すると、この2つのトレイは自動的にリンクされま す(トレイリンク)。多目的フィーダーもリンクできます。この設定にしておく と、一方のトレイが空になっても、リンクされているもう一方のトレイを使用 して印刷ジョブが続行されます。 • A6サイズの用紙はトレイ1および多目的フィーダーでのみサポートされま す。
<p>トレイ x 用紙タイプ</p> <p>普通紙 OHPフィルム 再生紙 ラベル紙用紙 ボンド紙 レターヘッド紙 プレプリント紙用紙 カラー用紙 軽量紙 重量紙 ざら紙/コットン紙 カスタム用紙タイプ x</p>	<p>各トレイにセットした用紙の種類を指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • トレイ1の出荷時設定の用紙タイプは[普通紙]です。その他のすべての トレイの出荷時設定の用紙タイプは[カスタム用紙タイプ x]です。 • ユーザーが定義した名前がある場合は、[カスタム用紙タイプ x]の代わ りにその名前が表示されます。 • このメニューを使用して、トレイの関連付け(トレイリンク)を設定します。

項目	用途
<p>多目的フィーダーサイズ</p> <p>A4 A5 A6 JIS B5 レター リーガル エグゼクティブ Oficio(メキシコ) フォリオ ステートメント ユニバーサル 7 3/4封筒 9封筒 10封筒 DL封筒 C5封筒 B5封筒 その他の封筒</p>	<p>多目的フィーダーにセットした用紙のサイズを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[A4]です。 メニューに[多目的フィーダーサイズ]を表示するには、[用紙メニュー]で[多目的フィーダー設定]を[トレイ]に設定します。 多目的フィーダーは、用紙のサイズが自動で検知されません。用紙サイズの値を必ず設定してください。
<p>多目的フィーダータイプ</p> <p>普通紙 重い厚紙 OHPフィルム 再生紙 ラベル紙用紙 ボンド紙 封筒 粗い封筒 レターヘッド紙 プレプリント紙用紙 カラー用紙 軽量紙 重量紙 ざら紙/コットン紙 カスタム用紙タイプ x</p>	<p>多目的フィーダーにセットした用紙の種類を指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定の用紙タイプは[普通紙]です。 メニューに[多目的フィーダータイプ]を表示するには、[用紙メニュー]で[多目的フィーダー設定]を[トレイ]に設定します。

項目	用途
<p>手差し用紙サイズ</p> <p>A4 A5 A6 JIS B5 レター リーガル エグゼクティブ Oficio(メキシコ) フォリオ ステートメント ユニバーサル</p>	<p>手差しでセットする用紙のサイズを指定します。</p> <p>メモ:出荷時設定は[A4]です。</p>
<p>手差し用紙タイプ</p> <p>普通紙 重い厚紙 OHPフィルム 再生紙 ラベル紙用紙 ボンド紙 レターヘッド紙 プレプリント紙用紙 カラー用紙 軽量紙 重量紙 ざら紙/コットン紙 カスタム用紙タイプ x</p>	<p>手差しでセットする用紙の種類を指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定の用紙タイプは[普通紙]です。 • メニューに[手差し用紙タイプ]を表示するには、[用紙メニュー]で[多目的フィーダー設定]を[手動]に設定します。
<p>手差し封筒サイズ</p> <p>7 3/4封筒 9封筒 10封筒 DL封筒 C5封筒 B5封筒 その他の封筒</p>	<p>手差しでセットする封筒のサイズを指定します。</p> <p>メモ:出荷時設定は[DL封筒]です。</p>

ユーザズガイド

項目	用途
手差し封筒タイプ 封筒 粗い封筒 カスタム用紙タイプ x	手差しでセットする封筒の種類を指定します。 メモ: 出荷時設定は[封筒]です。
メモ: このメニューには、装着しているトレイとフィーダーのみ表示されます。	

[多目的フィーダー設定]メニュー

項目	用途
多目的フィーダー設定 トレイ 手動 第一候補	多目的フィーダーが給紙元として選択される条件を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[トレイ]です。[トレイ]にすると、多目的フィーダーが自動給紙装置として設定されます。 • [手動]にすると、多目的フィーダーが手差し給紙用の装置として設定されます。 • [第一候補]にすると、多目的フィーダーが標準の給紙元として設定されます。

[代替サイズ]メニュー

項目	用途
代替サイズ オフ ステートメント/A5 レター/A4 一覧の全て	印刷ジョブで指定されているサイズの用紙を使用できない場合に代替で使用する用紙のサイズを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[一覧の全て]です。使用可能な代替設定([ステートメント/A5]と[レター/A4])がすべて有効になります。 • [オフ]に設定した場合は、代替サイズでは印刷されません。 • サイズの代替を設定すると、[用紙を変更]を表示せずに印刷ジョブが継続します。

[用紙表面粗さ]メニュー

項目	用途
標準紙の粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[標準紙]の粗さを指定します。 メモ: 出荷時設定は[標準]です。
重い厚紙の粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[重い厚紙]の粗さを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[標準]です。 • この項目は、[重い厚紙]がサポートされている場合のみ表示されます。
OHPフィルムの粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[OHPフィルム]の粗さを指定します。 メモ: 出荷時設定は[標準]です。
再生紙の粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[再生紙]の粗さを指定します。 メモ: 出荷時設定は[標準]です。
ラベル紙の粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[ラベル紙用紙]の粗さを指定します。 メモ: 出荷時設定は[標準]です。
ボンド紙の粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[ボンド紙]の粗さを指定します。 メモ: 出荷時設定は[粗い]です。
封筒の粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[封筒]の粗さを指定します。 メモ: 出荷時設定は[標準]です。

ユーザーズガイド

項目	用途
表面の粗い封筒の粗さ 粗い	セットした[粗い封筒]の粗さを指定します。
レターヘッド紙粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[レターヘッド紙]の粗さを指定します。 メモ: 出荷時設定は[標準]です。
プレプリント紙粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[プレプリント紙用紙]の粗さを指定します。 メモ: 出荷時設定は[標準]です。
カラーペーパーの粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[カラー用紙]の粗さを指定します。 メモ: 出荷時設定は[標準]です。
軽量紙の粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[軽量紙]の粗さを指定します。 メモ: 出荷時設定は[標準]です。
重量紙の粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[重量紙]の粗さを指定します。 メモ: 出荷時設定は[標準]です。
ラフ紙/コットン紙の粗さ 粗い	セットした[ざら紙/コットン紙]の粗さを指定します。
カスタム x 粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[カスタム用紙タイプ x]の粗さを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[標準]です。 • この項目は、[カスタム用紙タイプ]がサポートされている場合のみ表示されます。

[用紙の重さ]メニュー

項目	用途
<p>標準紙の重さ</p> <p>軽い 標準 重い</p>	<p>セットした[標準紙]の重さを指定します。</p> <p>メモ:出荷時設定は[標準]です。</p>
<p>重い厚紙の重さ</p> <p>軽い 標準 重い</p>	<p>セットした[重い厚紙]の重さを指定します。</p> <p>メモ:出荷時設定は[標準]です。</p>
<p>OHPフィルム重さ</p> <p>軽い 標準 重い</p>	<p>セットした[OHPフィルム]の重さを指定します。</p> <p>メモ:出荷時設定は[標準]です。</p>
<p>再生紙の重さ</p> <p>軽い 標準 重い</p>	<p>セットした[再生紙]の重さを指定します。</p> <p>メモ:出荷時設定は[標準]です。</p>
<p>ラベル紙の重さ</p> <p>軽い 標準 重い</p>	<p>セットした[ラベル紙用紙]の重さを指定します。</p> <p>メモ:出荷時設定は[標準]です。</p>
<p>ボンド紙の重さ</p> <p>軽い 標準 重い</p>	<p>セットした[ボンド紙]の重さを指定します。</p> <p>メモ:出荷時設定は[標準]です。</p>
<p>封筒の重さ</p> <p>軽い 標準 重い</p>	<p>セットした[封筒]の重さを指定します。</p> <p>メモ:出荷時設定は[標準]です。</p>

ユーザズガイド

項目	用途
表面の粗い封筒の重さ 軽い 標準 重い	セットした[粗い封筒]の重さを指定します。 メモ: 出荷時設定は[重い]です。
レターヘッド紙重さ 軽い 標準 重い	セットした[レターヘッド紙]の重さを指定します。 メモ: 出荷時設定は[標準]です。
プレプリント紙重さ 軽い 標準 重い	セットした[プレプリント紙用紙]の重さを指定します。 メモ: 出荷時設定は[標準]です。
カラーペーパーの重さ 軽い 標準 重い	セットした[カラー用紙]の重さを指定します。 メモ: 出荷時設定は[標準]です。
軽量紙の重さ 軽い	セットした[軽量紙]の重さを指定します。
重量紙の重さ 重い	セットした[重量紙]の重さを指定します。
ラフ紙/コットン紙の重さ 軽い 標準 重い	セットした[ざら紙/コットン紙]の重さを指定します。 メモ: 出荷時設定は[重い]です。
カスタム x 重さ 軽い 標準 重い	セットした[カスタム用紙タイプ x]の重さを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[標準]です。 この項目は、[カスタム用紙タイプ]がサポートされている場合のみ表示されます。

[用紙セット方法]メニュー

項目	用途
<p>再生紙セット中</p> <p>両面印刷 オフ</p>	<p>用紙タイプに[再生紙]が指定されているすべての印刷ジョブを両面印刷で印刷します。</p>
<p>ボンド紙セット中</p> <p>両面印刷 オフ</p>	<p>用紙タイプに[ボンド紙]が指定されているすべての印刷ジョブを両面印刷で印刷します。</p>
<p>レターヘッド紙セット中</p> <p>両面印刷 オフ</p>	<p>用紙タイプに[レターヘッド紙]が指定されているすべての印刷ジョブを両面印刷で印刷します。</p>
<p>プレプリント紙セット中</p> <p>両面印刷 オフ</p>	<p>用紙タイプに[プレプリント紙用紙]が指定されているすべての印刷ジョブを両面印刷で印刷します。</p>
<p>色付き紙セット中</p> <p>両面印刷 オフ</p>	<p>用紙タイプに[カラー用紙]が指定されているすべての印刷ジョブを両面印刷で印刷します。</p>
<p>軽量紙セット中</p> <p>両面印刷 オフ</p>	<p>用紙タイプに[軽量紙]が指定されているすべての印刷ジョブを両面印刷で印刷します。</p>
<p>重量紙セット中</p> <p>両面印刷 オフ</p>	<p>用紙タイプに[重量紙]が指定されているすべての印刷ジョブを両面印刷で印刷します。</p>

項目	用途
カスタム xトレイ 両面印刷 オフ	用紙タイプに [カスタム用紙タイプ x] が指定されているすべての印刷ジョブを両面印刷で印刷します。 メモ: この項目は、 [カスタム用紙タイプ] がサポートされている場合のみ表示されます。
メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [両面印刷]に設定すると、プリンタードライバーの[印刷設定]または[プリント]ダイアログで片面印刷を選択したジョブ以外は、すべて両面印刷が初期設定になります。 • [両面印刷]に設定すると、すべての印刷ジョブ(片面印刷も含む)が両面印刷ユニットに送られます。 • すべてのメニューで、出荷時設定は[オフ]です。 	

[カスタム紙タイプ]メニュー

項目	用途
カスタム用紙タイプ x 用紙 重い厚紙 OHPフィルム ざら紙/コットン紙 ラベル紙用紙 封筒	用紙または専用紙の種類を、出荷時の名前 [カスタム用紙タイプ x] または内蔵 Web サーバー機能で作成された [カスタム名] (ユーザー定義名)と関連付けます。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [カスタム用紙タイプ x]の出荷時設定は[用紙]です。 • 選択したトレイやフィーダーから印刷する場合、カスタムタイプの用紙がその給紙装置でサポートされている必要があります。
再生紙 用紙 重い厚紙 OHPフィルム ざら紙/コットン紙 ラベル紙用紙 封筒	[再生紙] に対する用紙の種類を指定します。他のメニューで [再生紙] が指定されると設定した用紙タイプに設定されます。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[用紙]です。 • 選択したトレイやフィーダーから印刷する場合は、再生紙の種類がその給紙装置でサポートされている必要があります。

[カスタムスキャンサイズ]メニュー

項目	用途
<p>カスタムスキャンサイズ x</p> <p>スキャンサイズ名</p> <p>幅</p> <p>高さ</p> <p>用紙の向き</p> <p>縦長</p> <p>横長</p> <p>2 スキャン/面</p> <p>オフ</p> <p>オン</p>	<p>カスタムスキャンサイズ名とページの向きを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • [カスタムスキャンサイズ名]は設定メニュー内の[カスタムスキャンサイズ x]を置き換えます。 • [カスタムスキャンサイズ 3]から[カスタムスキャンサイズ 6]の出荷時設定は[ADF の用紙タイプ]です。 • [幅]の出荷時設定は 210 mm です。 • [高さ]の出荷時設定は 297 mm です。 • [用紙の向き]の出荷時設定は[縦長]です。 • [2 スキャン/面]の出荷時設定は[オフ]です。

[ユニバーサル設定]メニュー

項目	用途
<p>測定単位</p> <p>インチ mm</p>	<p>測定単位を指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[mm]です。
<p>縦長の幅</p> <p>3~8.5 インチ 76~216 mm</p>	<p>縦長置き(ポートレート)の横の長さを設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> この長さが上限を超える場合は、本機で使用可能な最大長が使用されます。 出荷時設定は[216 mm]です。1 mm 単位で増減できます。 [測定単位]をインチにしているときは、0.01 インチ単位で増減できません。
<p>縦長の縦の長さ</p> <p>3~14.17 インチ 76~360 mm</p>	<p>縦長置き(ポートレート)の縦の長さを設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> この長さが上限を超える場合は、本機で使用可能な最大長が使用されます。 出荷時設定は[356 mm]です。1 mm 単位で増減できます。 [測定単位]をインチにしているときは、0.01 インチ単位で増減できません。
<p>用紙取込み方向</p> <p>短辺 長辺</p>	<p>用紙の向きを用紙の送り方向で設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[短辺]です。 [長辺]は、縦の長さがトレイで使用できる用紙サイズの最大幅より短い場合にのみ表示されます。

[レポート]メニュー

[レポート]メニュー

項目	用途
メニュー設定ページ	トレイにセットされている用紙、搭載メモリー、総ページカウント、アラートの状態、時間切れの状態、操作パネルの言語、TCP/IP アドレス、消耗品の状況、ネットワーク接続の状況などの各種情報のレポートを印刷します。
デバイス統計	本機の統計情報(消耗品情報や印刷したページの詳細など)に関するレポートを印刷します。
ネットワーク設定ページ	本機のネットワーク設定(TCP/IP アドレス情報など)に関するレポートを印刷します。 メモ: この機能は、ネットワークプリンターまたはプリントサーバーに接続されている場合のみ使用できます。
ショートカット一覧	設定されているショートカットに関するレポートを印刷します。
FAX ジョブログ	完了したファクスに関するレポートを、最後に完了したものから 200 件分まで印刷します。 メモ: このメニュー項目は、[FAX 設定]メニューで[ジョブログを有効化]が[オン]に設定されている場合にのみ使用可能です。
FAX 通話ログ	通信に関するレポートを、最後に完了したものから 100 件分まで印刷します。受信できなかった通話、受信した通話、発信できなかった通話を含みます。 メモ: このメニュー項目は、[FAX 設定]メニューで[ジョブログを有効化]が[オン]に設定されている場合にのみ使用可能です。
コピーショートカット	コピーショートカットに関するレポートを印刷します。
E メールショートカット	E メールショートカットに関するレポートを印刷します。
FTP ショートカット	FTP ショートカットに関するレポートを印刷します。
プロファイル一覧	本機に保存されているプロファイルのリストを印刷します。
フォント一覧印刷	プリンター言語で利用できるフォントに関するレポートを印刷します。
資産レポート	シリアル番号や機種名などの情報を含むレポートを印刷します。レポートには、テキストと資産データベースを読取れる UPC バーコードが含まれています。
Event Log Summary	完了した動作に関するレポートを印刷します。

[ネットワーク/ポート]メニュー

[アクティブ NIC]メニュー

項目	用途
[アクティブNIC] 自動 (使用可能なネットワークカードのリスト)	メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[自動]です。 このメニュー項目は、オプションのネットワークカードが取付けられている場合のみ表示されます。

[標準ネットワーク]メニュー/[ネットワーク x]メニュー

メモ:このメニューにはアクティブなポートのみが表示され、アクティブでないポートはすべて省略されます。

項目	用途
PCL SmartSwitch オン オフ	印刷ジョブが PCL エミュレーションのときに、自動的に PCL エミュレーションに切り替わるように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[オン]です。 [PCL SmartSwitch]を無効にすると、受信データを検査せず、[印刷設定]メニューで指定されているプリンター言語を使用します。
PS SmartSwitch オン オフ	印刷ジョブが PS エミュレーションのときに、自動的に PS エミュレーションに切り替わるように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[オン]です。 [PS SmartSwitch]を無効にすると、受信データを検査せず、[印刷設定]メニューで指定されているプリンター言語を使用します。
NPAモード オフ 自動	NPA プロトコルで定義されている規則に従って、双方向通信を実行するように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[自動]です。 この設定を変更してメニューを終了すると、本機は再起動されます。再起動後に設定が有効になります。

項目	用途
ネットワークバッファ 自動 3KB～(可能な最大サイズまで)	ネットワークの入力バッファのサイズを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[自動]です。 1KB 単位で変更できます。 設定可能な最大サイズはメモリー容量、他のリンクバッファのサイズ、[リソース保存]の設定によって異なります。 [ネットワークバッファ]の最大サイズを増加させるには、[USBバッファ]を無効にするかサイズを小さくします。 この設定を変更してメニューを終了すると、本機は再起動されます。再起動後に設定が有効になります。
Mac Binary PS オン オフ 自動	Macintosh バイナリ形式の PostScript 印刷ジョブを処理するかどうかを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[自動]です。 [オフ]に設定すると、標準プロトコルを使用します。 [オン]に設定すると、RAW バイナリ(Macintosh バイナリ形式)の PostScript 印刷ジョブを処理できます。
標準ネットワーク設定またはネットワーク x 設定 レポート ネットワーク カード TCP/IP IPv6 AppleTalk ワイヤレス	ネットワーク設定を表示、設定します。 メモ: [ワイヤレス]メニューはワイヤレスネットワークに接続されている場合のみ表示します。

[レポート]メニュー

次のどちらかの順に選択します。

- [ネットワーク/ポート]メニュー>[標準ネットワーク]>[標準ネットワーク設定]>[レポート]
- [ネットワーク/ポート]メニュー>[ネットワーク x]>[ネットワーク x 設定]>[レポート]

項目	用途
設定ページを印刷	ネットワーク設定(TCP/IP アドレスなど)に関するレポートを印刷します。

[ネットワークカード]メニュー

次のどちらかの順に選択します。

- [ネットワーク/ポート]メニュー>[標準ネットワーク]>[標準ネットワーク設定]>[ネットワークカード]
- [ネットワーク/ポート]メニュー>[ネットワーク x]>[ネットワーク x 設定]>[ネットワークカード]

項目	用途
カード状況を表示 接続済み 未接続	ネットワークカードの接続状況を表示します。
カード速度を表示	ネットワークカードの速度を表示します。
ネットワークアドレス UAA LAA	ネットワークアドレスが表示されます。
ジョブタイムアウト 0~255 秒	ネットワークの印刷ジョブが時間切れになるまでの時間(秒)を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[90]秒です。 • 設定が[0]の場合、タイムアウトしません。 • [1]~[9]の値を選択した場合は、[10]が設定として保存されます。

[TCP/IP]メニュー

次のどちらかの順に選択します。

- [ネットワーク/ポート]メニュー>[標準ネットワーク]>[標準ネットワーク設定]>[TCP/IP]
- [ネットワーク/ポート]メニュー>[ネットワーク x]>[ネットワーク x 設定]>[TCP/IP]

メモ:この機能は、ネットワークプリンターまたはプリントサーバーに接続されている場合のみ使用できます。

ユーザズガイド

項目	用途
ホスト名を設定	ホスト名を設定します。 メモ: この設定は、内蔵 Web サーバー機能でのみ変更できます。
IP アドレス	TCP/IP アドレスを表示、変更します。 メモ: IP アドレスを手動で変更すると、[DHCP を有効化]および[AutoIP を有効化]設定が無効に変更されます。また、BOOTP および RARP をサポートする環境では BOOTP および RARP の機能も無効になります。
ネットマスク	TCP/IP ネットマスクを表示、変更します。
ゲートウェイ	TCP/IP ゲートウェイを表示、変更します。
DHCP を有効化 オン オフ	DHCP 機能の有効/無効を切換えます。 メモ: 出荷時設定は[オン]です。
RARP を有効化 オン オフ	RARP によるアドレス割当て機能の有効/無効を切換えます。 メモ: 出荷時設定は[オン]です。
BOOTP を有効化 オン オフ	BOOTP によるアドレス割当て機能の有効/無効を切換えます。 メモ: 出荷時設定は[オン]です。
AutoIP を有効化 はい いいえ	自動 IP 機能の有効/無効を切換えます。DHCP が使用できないなどのゼロ構成ネットワークで利用できます。 メモ: 出荷時設定は[[はい]です。
FTP/TFTP を有効化 はい いいえ	FTP/TFTP 機能の有効/無効を切換えます。ファイル転送プロトコルを使用してファイルを本機に送信できるようにします。 メモ: 出荷時設定は[[はい]です。
HTTP サーバー有効化 はい いいえ	内蔵 Web サーバー機能の有効/無効を切換えます。有効にすると、Web ブラウザを使用して接続しているコンピューターからリモートで本機を監視および管理できます。 メモ: 出荷時設定は[[はい]です。
WINS サーバー アドレス	WINS サーバーアドレスを表示、変更します。

ユーザズガイド

項目	用途
DDNS を有効化 はい いいえ	DDNS 設定を表示、変更します。 メモ: 出荷時設定は[はい]です。
mDNS を有効化 はい いいえ	mDNS 設定を表示、変更します。 メモ: 出荷時設定は[はい]です。
DNS サーバー アドレス	DNS サーバーアドレスを表示、変更します。
バックアップ DNS サーバー アドレス	バックアップ DNS サーバーアドレスを表示、変更します。
バックアップ DNS サーバー アドレス 2	
バックアップ DNS サーバー アドレス 3	
HTTPS 有効 はい いいえ	HTTPS 設定を表示、変更します。 メモ: 出荷時設定は[はい]です。

[IPv6]メニュー

次のどちらかの順に選択します。

- [ネットワーク/ポート]メニュー>[標準ネットワーク]>[標準ネットワーク設定]>[IPv6]
- [ネットワーク/ポート]メニュー>[ネットワーク x]>[ネットワーク x 設定]>[IPv6]

メモ: この機能は、ネットワークプリンターまたはプリントサーバーに接続されている場合のみ使用できます。

項目	用途
IPv6 を有効化 オン オフ	IPv6 の有効/無効を切替えます。 メモ: 出荷時設定は[オン]です。
自動構成設定 オン オフ	ルーターから送信される自動 IPv6 アドレス構成の問合わせを許可するかどうかを指定します。 メモ: 出荷時設定は[オン]です。

項目	用途
ホスト名を設定	ホスト名を設定します。
アドレスを表示	メモ:これらの設定は、内蔵 Web サーバー機能でのみ変更できます。
ルーターアドレスを表示	
DHCPv6 を有効にする オン オフ	DHCPv6 機能の有効/無効を切換えます。 メモ:出荷時設定は[オン]です。

[ワイヤレス]メニュー

メモ:この機能は、本機にワイヤレスネットワークアダプターが装着され、イーサネットネットワークに接続されている場合のみ使用できます。

次のどちらかの順に選択します。

- [ネットワーク/ポート]メニュー>[標準ネットワーク]>[標準ネットワーク設定]>[ワイヤレス]
- [ネットワーク/ポート]メニュー>[ネットワーク x]>[ネットワーク x 設定]>[ワイヤレス]

項目	用途
WPS(Wi-Fi Protected Setup) プッシュボタン方式を開始 暗号番号方式を開始	ネットワークのセキュリティを有効にした状態でワイヤレスネットワークとの接続を確立します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [プッシュボタン方式]は、本機とアクセスポイント(無線ルーター)の両方のボタンを一定時間内に押すことで、ワイヤレスネットワークに接続する方法です。 • [暗証番号方式]は、本機の PIN コード(暗証番号)をアクセスポイントのワイヤレス設定へ入力することで、ワイヤレスネットワークに接続する方法です。
WPS 自動検出の有効/無効を切り替える オン オフ	アクセスポイントが対応している WPS 機能の接続方法([プッシュボタン方式]/[暗証番号方式])を自動的に検出するかどうかを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[オフ]です。

ユーザーズガイド

項目	用途
<p>ネットワークモード</p> <p>BSS の種類</p> <p> インフラストラクチャ</p> <p> アドホック</p>	<p>ワイヤレスのネットワークモードを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[インフラストラクチャ]です。このモードでは、アクセスポイント経由でワイヤレスネットワークに接続します。 • [アドホック]は、本機とコンピューター間で直接、ワイヤレスネットワークが設定されます。
<p>互換性</p> <p> 802.11b/g</p> <p> 802.11b/g/n</p>	<p>ワイヤレスネットワークの規格を指定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[802.11b/g/n]です。</p>
<p>ネットワークを選択</p>	<p>使用可能なネットワークを選択します。</p>
<p>信号品質を表示</p>	<p>ワイヤレスネットワークの強さを表示します。</p>
<p>セキュリティモードを表示</p>	<p>ワイヤレスネットワークの暗号化方式を表示します。</p>

[AppleTalk]メニュー

メモ:このメニュー項目は、イーサネットネットワークに接続されている、またはオプションのネットワークカードが取付けられている場合のみ表示されます。

次のどちらかの順に選択します。

- [ネットワーク/ポート]メニュー>[標準ネットワーク]>[標準ネットワーク設定]>[AppleTalk]
- [ネットワーク/ポート]メニュー>[ネットワーク x]>[ネットワーク x 設定]>[AppleTalk]

項目	用途
有効化 はい いいえ	AppleTalk 機能の有効/無効を切換えます。 メモ: 出荷時設定は[はい]です。
名前を表示	AppleTalk 名を表示します。 メモ: 名前は内蔵 Web サーバー機能でのみ変更できます。
アドレスを表示	AppleTalk アドレスを表示します。 メモ: アドレスは内蔵 Web サーバー機能でのみ変更できます。
ゾーンを設定 (使用可能なゾーンの一覧)	ネットワーク上の使用可能な AppleTalk ゾーンを一覧から指定します。 メモ: 一覧にアスタリスク(*)がついたゾーンが初期値です。出荷時設定は、ネットワーク側のデフォルトゾーンが設定されます。

[SMTP 設定]メニュー

項目	用途
一次 SMTP ゲートウェイ	SMTP サーバゲートウェイとポートの情報を指定します。 メモ: SMTP ゲートウェイポートの初期値は「25」です。
一次 SMTP ゲートウェイ ポート	
二次 SMTP ゲートウェイ	
二次 SMTP ゲートウェイ ポート	
SMTPタイムアウト 5~30	SMTP サーバが E メール送信を停止するまでの時間(秒)を指定します。 メモ: 出荷時設定は[30]秒です。
返信アドレス	送信される E メール返信アドレスを、最大 128 文字で指定します。
SSL使用 無効 ネゴシエーション 必須	セキュリティを高めるために SMTP サーバとの接続に SSL を使用するかどうかを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[無効]です。 [ネゴシエーション]に設定すると、SSL を使用するかどうかは SMTP サーバ側で決定します。
SMTPサーバ認証 認証 不要 ログイン/普通紙 CRAM-MD5 Digest-MD5 NTLM Kerberos 5	E メールヘッダをスキャンするときのユーザ認証の種類を指定します。 メモ: 出荷時設定は[認証 不要]です。
デバイスから送信されるEメール なし デバイスにSMTP認証を使用	SMTPサーバへの接続時に使用する資格証明書を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定はありません。 [デバイスユーザ ID]と[デバイスパスワード]は、[デバイスにSMTP認証を使用]が設定されている場合にSMTPサーバへログインするときに使用します。
デバイスユーザ ID	
デバイスパスワード	

[セキュリティ]メニュー

[セキュリティ監査ログ]メニュー

項目	用途
エクスポートログ	<p>許可されたユーザーが監査ログをエクスポートします。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 操作パネルから監査ログをエクスポートするには、フラッシュメモリーを接続する必要があります。 内蔵 Web サーバー機能で監査ログをダウンロードして、コンピューターに保存することもできます。
ログの削除 今すぐ削除 削除しない	<p>監査ログを削除するかどうかを指定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[今すぐ削除]です。</p>
ログの構成 監査の有効化 はい いいえ リモートSyslogの有効化 はい いいえ リモートSyslogの機能 0~23 ログ記録するイベントの重要度 0~7	<p>監査ログを作成するかどうかと作成する場合の方法を設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> [監査の有効化]では、イベントをセキュリティ監査ログおよびリモート Syslog に記録するかどうかを指定します。出荷時標準設定は[いいえ]です。 [リモートSyslogの有効化]では、ログをリモートサーバーに送信するかどうかを指定します。出荷時標準設定は[いいえ]です。 [リモートSyslogの機能]では、リモートSyslogサーバーにログを送信するために使用する値を指定します。出荷時設定は[4]です。 セキュリティ監査ログを有効にすると、各イベントの重要度の値が記録されます。出荷時設定は[4]です。

[日付/時刻を設定]メニュー

項目	用途
現在の日付/時刻	現在の日時設定を表示します。
日付/時刻の手動設定 (日時を入力)	日時を入力します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 日時を手動で設定すると、[NTPの有効化]は[オフ]に設定されます。 日時はウィザードを使用して MM-DD-YYYY の形式で設定できます。
タイムゾーン (タイムゾーンリスト)	タイムゾーンを選択します。 メモ: 出荷時設定は[GMT]です。
DST 自動遵守 オン オフ	該当する夏時間(DST)の開始時期と終了時期を[タイムゾーン]の設定に合わせて自動的に切換えるように設定します。 メモ: 出荷時設定は[オン]です。
NTPを有効化 オン オフ	NTP サーバー(ネットワーク上で時間合わせを行うサーバー)と時計を同期する、ネットワークタイムプロトコルの有効/無効を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[オン]です。 日時を手動で設定すると、[NTPの有効化]は[オフ]に設定されます。

[設定]メニュー

[一般設定]メニュー

項目	用途
<p>表示言語</p> <ul style="list-style-type: none"> English(英語) Francais(フランス語) Deutsch(ドイツ語) Italiano(イタリア語) Espanol(スペイン語) Dansk(デンマーク語) Norsk(ノルウェー語) Nederlands(オランダ語) Svenska(スウェーデン語) Portuguese(ポルトガル語) Suomi(フィンランド語) Russian(ロシア語) Polski(ポーランド語) Greek(ギリシャ語) Magyar(マジャール語) Turkce(トルコ語) Cesky(チェコ語) Simplified Chinese(簡体字中国語) Traditional Chinese(繁体字中国語) Korean(韓国語) Japanese(日本語) 	<p>操作パネルのディスプレイに表示されるテキストの言語を設定します。</p> <p>メモ:機種によっては選択できない言語があります。また追加オプションが必要になる場合があります。</p>
<p>消耗品の寿命切れ表示</p> <ul style="list-style-type: none"> 寿命切れの表示 寿命切れの非表示 	<p>操作パネル、内蔵 Web サーバー機能、メニュー設定、デバイス統計レポートに消耗品の寿命を表示します。</p> <p>メモ:出荷時設定は[寿命切れの表示]です。</p>

ユーザーズガイド

項目	用途
<p>エコモード</p> <p>オフ</p> <p>電力</p> <p>電力/用紙</p> <p>用紙</p>	<p>電力、用紙、または専用紙の使用を最小限に抑えます。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[オフ]です。[オフ]にすると、本機は出荷時設定にリセットされます。 [電力]は、本機による電力の使用量が最小限に抑えられます。パフォーマンスが低下することがありますが、印刷品質には影響しません。 [電力/用紙]は、電力および用紙や専用紙の使用量が最小限に抑えられます。 [用紙]は、印刷ジョブに必要な用紙や専用紙の使用量が最小限に抑えられます。パフォーマンスが低下することがありますが、印刷品質には影響しません。
<p>ADF セット ビープ</p> <p>有効</p> <p>無効</p>	<p>ADF に原稿が読込まれたときにビープ音を鳴らすかどうかを指定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[有効]です。</p>
<p>初期設定の実行</p> <p>はい</p> <p>いいえ</p>	<p>初回のセットアップ時に設定ウィザードを実行します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[はい]です。 設定ウィザードを完了した後は[いいえ]になります。
<p>用紙サイズ</p> <p>米国</p> <p>メトリック</p>	<p>用紙サイズの基準単位を指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[メトリック]です。 初期設定は、初期設定ウィザードで選択した国または地域によって決まります。
<p>ポートのスキャン範囲</p> <p>(ポート範囲)</p>	<p>ファイアウォールでポートブロックされている場合に、有効なポート範囲を指定します。有効なポートは、セミコロンで区切られた2つの数字で指定されます。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[9751:12000]です。</p>

ユーザーズガイド

項目	用途
<p>ホーム画面のカスタマイズ</p> <p>言語設定</p> <p>コピー</p> <p>Fax</p> <p>FAX ショートカット</p> <p>E メールショートカット</p> <p>FTP ショートカット</p> <p>保持ジョブの検索</p> <p>保持されたジョブ</p> <p>ブックマーク</p> <p>ユーザー別ジョブ</p>	<p>ホーム画面に表示するアイコンやボタンを変更します。</p> <p>各アイコンやボタンについて、以下の設定を選んで決定します。</p> <p>表示</p> <p>非表示</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • [コピー]、[Fax]、[保持ジョブの検索]、[保持されたジョブ]の出荷時設定は[表示]です。 • [言語設定]、[FAX ショートカット]、[E メールショートカット]、[FTP ショートカット]、[ブックマーク]、[ユーザー別ジョブ]の出荷時設定は[非表示]です。
<p>1 ページコピー</p> <p>オフ</p> <p>オン</p>	<p>一度に 1 枚しかコピーできないように設定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[オフ]です。</p>
<p>背景削除を許可</p> <p>オン</p> <p>オフ</p>	<p>コピーとファクスジョブで画像の背景除去を許可するかどうかを設定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[オン]です。原稿イメージの背景が除去されます。</p>
<p>カスタムジョブスキャンを許可</p> <p>オン</p> <p>オフ</p>	<p>複数のスキャンジョブを 1 ファイルにまとめます。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[オン]です。[オン]にすると、指定したジョブに対して[カスタムジョブスキャンを許可]が有効になります。</p>
<p>紙詰まり回復</p> <p>ジョブレベル</p> <p>ページレベル</p>	<p>ADF で紙詰まりが発生したときに、原稿を再読み込みする方法を指定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[ジョブレベル]です。</p>

項目	用途
<p>アラート</p> <p>アラーム音設定</p> <p>カートリッジアラーム</p>	<p>本機がユーザーの操作を必要とする場合に鳴らすアラームの条件を設定します。[アラーム音設定]ではアラームの回数を設定できます。[カートリッジアラーム]は、カートリッジの量が少なくなった時に印刷を停止することができます。</p> <p>各アラームで使用できる設定は以下のとおりです。</p> <p>オフ</p> <p>一回</p> <p>連続</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> - [アラーム音設定]の出荷時設定は[一回]です。[一回]では、短いビープ音が3回鳴ります。 - [カートリッジアラーム]の出荷時設定は[オフ]です。[オフ]では警報が鳴りません。 - [連続]では、3回のビープ音を10秒ごとに繰り返します。
<p>タイムアウト</p> <p>スリープモード</p> <p>無効</p> <p>1～120分</p>	<p>ジョブの印刷後にスリープモードになるまでの待機時間を設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[30]分です。 • 本機の節電設定によっては[無効]が表示されない場合があります。 • 設定を短くすると消費電力を節約できますが、ウォームアップ時間が長くなる場合があります。 • 使用する頻度が高い場合は、長く設定します。スリープモードになっていない状態であれば短いウォームアップ時間で印刷できるようになります。

ユーザズガイド

項目	用途
<p>タイムアウト</p> <p>タイムアウト</p> <p>無効</p> <p>1 時間</p> <p>2 時間</p> <p>3 時間</p> <p>6 時間</p> <p>1 日</p> <p>2 日</p> <p>3 日</p> <p>1 週間</p> <p>2 週間</p> <p>1 か月</p>	<p>ハイバネートモード(より省電力の状態)になるまでの待機時間を設定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[無効]です。</p>
<p>タイムアウト</p> <p>接続時のハイバネートタイムアウト</p> <p>ハイバネート</p> <p>ハイバネートにしない</p>	<p>イーサネット接続がアクティブになっている状態でもハイバネートモードに切換えるかどうかを設定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[ハイバネートにしない]です。</p>
<p>タイムアウト</p> <p>画面タイムアウト</p> <p>15~300 秒</p>	<p>「レディ(準備完了)」状態に戻るまでの待機時間(秒)を設定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[30]秒です。</p>
<p>タイムアウト</p> <p>印刷タイムアウト</p> <p>無効</p> <p>1~255 秒</p>	<p>ジョブ終了コマンドの受信を待つ時間を設定します。設定した時間が過ぎてもジョブ終了のコマンドが送られてこない場合は、印刷ジョブをキャンセルします。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[90]秒です。 • 時間切れになった場合、処理済みのページがあれば残りを印刷し、新しい印刷ジョブが残っていないかどうかを確認します。 • この設定は、PCL エミュレーションを使用している場合のみ設定できます。PostScript エミュレーションの印刷ジョブには影響しません。

ユーザズガイド

項目	用途
タイムアウト 待機タイムアウト 無効 15～65535 秒	ジョブの追加データを待つ時間を設定します。設定した時間が過ぎても追加データが送られてこない場合は、印刷ジョブをキャンセルします。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[40]秒です。 • この設定は、PostScript エミュレーションを使用している場合のみ設定できます。PCL エミュレーションの印刷ジョブには影響しません。
エラー回復 自動再起動 アイドル中再起動 常に再起動 再起動しない	本機を自動的に再起動してエラー回復する動作を設定します。 メモ: 出荷時設定は[アイドル中再起動]です。
エラー回復 最大自動再起動 1～20	エラー回復時に自動再起動をする場合の上限回数を設定します。 メモ: 出荷時設定は[5]です。
印刷回復 自動続行 無効 5～255 秒	回復可能なエラーの場合に印刷を自動継続するまでの待ち時間を設定します。設定した時間内にユーザーがエラー解除などの操作をしない場合に、印刷を自動継続します。 メモ: 出荷時設定は[無効]です。
印刷回復 紙づまり後の処理 オン オフ 自動	紙づまりが発生したページを再印刷するかどうかを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[自動]です。[自動]の設定では、紙づまりしたページは、通常、再印刷されます。メモリーが他の印刷タスクに使用され、メモリーが足りない場合は印刷されません。 • [オン]に設定すると、紙づまりしたページは常に再印刷されます。 • [オフ]に設定すると、紙づまりしたページは再印刷されません。

ユーザーズガイド

項目	用途
<p>印刷回復</p> <p>紙づまりアシスト</p> <p>オフ</p> <p>オン</p>	<p>自動で紙づまりの場所を確認するかどうかを設定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[オン]です。</p>
<p>印刷回復</p> <p>ページ保護</p> <p>オフ</p> <p>オン</p>	<p>何らかの理由で印刷されなかった可能性があるページを印刷します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[オフ]です。[オフ]の設定では、メモリーが十分でないときにはページの一部を印刷します。 • [オン]に設定すると、ページ全体を印刷するよう処理します。
<p>[スリープ]ボタンの動作</p> <p>何もしない</p> <p>スリープ</p> <p>ハイバネート</p>	<p>アイドル状態で[スリープ]ボタンを短く押したときの動作を設定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[スリープ]です。</p>
<p>[スリープ]ボタンを押し続ける</p> <p>何もしない</p> <p>スリープ</p> <p>ハイバネート</p>	<p>アイドル状態で[スリープ]ボタンを長く押したときの動作を設定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[何もしない]です。</p>
<p>出荷時標準設定</p> <p>復元しない</p> <p>復元</p>	<p>出荷時標準設定に戻します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[復元しない]です。[復元しない]では、ユーザーが設定した状態で使用できます。 • [復元]を選択すると、[ネットワーク/ポート]メニュー以外の設定はすべて出荷時設定に戻ります。RAMに保存されているダウンロードデータはすべて削除されます。

ユーザーズガイド

項目	用途
カスタムホームメッセージ オフ IPアドレス ホスト名 担当者名 デバイスロケーション ゼロ構成名 カスタムテキスト 1	本機のホーム画面に通常状態で表示するメッセージや、警告中、エラー中などのメッセージを登録します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • カスタムメッセージの最大文字数は 40 文字 (80 バイト) です。メッセージが 2 行になるときはスクロールで表示されるようになります。 • ホーム画面に通常状態で表示するメッセージと警告中やエラー中のメッセージの両方が設定されているときは、通常のメッセージを最初に表示します。

[コピー設定]メニュー

項目	用途
原稿タイプ 文字 グラフィックス 文字/写真 写真	原稿の内容を指定します。 メモ: 出荷時設定は[文字/写真]です。
内容のソース モノクロレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿が生成された方法を指定します。 メモ: 出荷時設定は[モノクロレーザー]です。
印刷面(両面印刷) 片面を片面に 片面を両面に 両面を片面に 両面を両面に	原稿が両面であるか片面であるかどうかを指定し、コピーを両面または片面にするかどうかを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 片面を片面に—片面の原稿を片面にコピーします。 • 片面を両面に—片面の原稿を両面にコピーします。 • 両面を片面に—両面の原稿を片面にコピーします。 • 両面を両面に—両面の原稿を両面にコピーします。 • 両面スキャンは本機では使用できません。
用紙の節約 オフ 2 アップ縦長 2 アップ横長 4 アップ縦長 4 アップ横長	1 枚の用紙に 2 ページまたは 4 ページの原稿を合成してコピーします。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。

ユーザーズガイド

項目	用途
<p>ページ枠を印刷</p> <p>オン オフ</p>	<p>ページ枠を印刷するかどうかを指定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[オフ]です。</p>
<p>丁合</p> <p>(1,1,1) (2,2,2) (1,2,3) (1,2,3)</p>	<p>複数部数のコピーでのページの排出順序を指定します。複数部をコピーする場合に、スキャンしてからページごと枚数分を印刷するか、全ページを1部印刷してから2部目を印刷するかを設定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[(1,2,3) (1,2,3)]です。</p>
<p>原稿サイズ</p> <p>レター リーガル エグゼクティブ フォリオ ステートメント Oficio(メキシコ) ユニバーサル 自動サイズ検知 A4 A5 A6 JIS B5 カスタムスキャンサイズ x ブックオリジナル 名刺 3×5 インチ 4×6 インチ ID カード</p>	<p>原稿の用紙サイズを指定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[A4]です。</p>
<p>給紙源にコピー</p> <p>トレイ x 自動サイズ調整 多目的フィーダー</p>	<p>コピージョブに使用する給紙装置を指定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[トレイ 1]です。</p>

ユーザズガイド

項目	用途
OHP フィルムセパレータ紙 オン オフ	OHP フィルムの区切り部分にセパレータ紙を挿入するかどうかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[オン]です。
セパレータ紙 オフ 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	セパレータ紙の挿入位置をページ、コピー、またはジョブ間で設定します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
セパレータ給紙源 トレイ x	セパレータ紙をどの給紙装置から給紙するかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[トレイ 1]です。
濃さ 1 ~ 9	コピーの濃淡を調整します。 メモ: 出荷時設定は[5]です。
印刷部数 1 ~ 999	コピージョブの印刷部数を指定します。 メモ: 出荷時設定は[1]です。
オーバーレイ 部外秘 コピー 高速 至急 カスタム オフ	コピージョブの各ページに印刷するオーバーレイテキストを指定します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
コピー機能を優先する オン オフ	印刷ジョブを中断し、優先して 1 枚または文書のコピーをすることを許可するかどうかを指定します。 メモ: 出荷時設定は[オン]です。
ショートカットとして保存可能 オン オフ	変更したコピー設定をショートカットとして保存するかどうかを指定します。 メモ: 出荷時設定は[オン]です。

ユーザズガイド

項目	用途
背景削除 -4 ~ 4	コピーの背景の量を調整します。 メモ: 出荷時設定は[0]です。
自動中央揃え オフ オン	自動的に内容をページの中央に揃えます。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
コントラスト 0 ~ 5 内容に合わせて最適化	コピージョブのコントラストを調整します。 メモ: 出荷時設定は[内容に合わせて最適化]です。
左右反転 オフ オン	原稿を左右反転してコピーします。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
ネガ オフ オン	原稿のネガイメージでコピーします。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
シャドウ細部 -4 ~ 4	コピーに現れるシャドウ細部の量を調整します。 メモ: 出荷時設定は[0]です。
ADF スキュー修正 オフ オン	ADF でスキャンしたときのコピーイメージの傾きを補正します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
端までスキャン オフ オン	原稿の端から端までをスキャンするかどうかを指定します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
シャープネス 1 ~ 5	コピーのシャープネス量を調整します。 メモ: 出荷時設定は[3]です。
サンプルコピー オフ オン	原稿のサンプルコピーを作成します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。

[FAX 設定]メニュー

[アナログ FAX 設定](一般 FAX 設定)メニュー

アナログ FAX 設定モードでは、電話回線を介してファクスジョブを送信します。

項目	用途
工場出荷時に復元 標準設定に復元 キャンセル	FAX 設定が工場出荷時の設定に戻ります。
FAX 互換性の最適化 設定を変更 キャンセル	お使いのファクス機と他のファクス機との互換性が最適化されます。
FAX 名	送信ファクスに記載するファクス名称を指定します。
FAX 番号	本機のファクス番号を指定します。
FAX ID FAX 名 FAX 番号	ファクスを認識するための FAX ID に[FAX 名]と[FAX 番号]のどちらを使うかを選択します。
手動 FAX を有効化 オン オフ	手動でファクス受信をするように設定します。電話機を接続しているときなど、電話回線を共有しているなど、必要に応じて設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[オフ]です。 • ファクスが着信したときは、接続している電話機で応答します。 • テンキーから「# 0」を押すと、手動ファクスに切り換えられます。

ユーザズガイド

項目	用途
<p>メモリ使用</p> <p>受信のみに使用 受信重視 均等に使用 送信重視 送信のみに使用</p>	<p>ファクスジョブの送信と受信について、メモリーの割当てを設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[均等に使用]です。この設定では、送信、受信とも同じサイズのメモリーが割当てられます。 [送信重視]は、送信用にメモリーを多く割当てます。 [送信のみに使用]は、メモリーを送信用のみに割当てます。 [受信のみに使用]は、メモリーを受信用のみに割当てます。 [受信重視]は、受信用にメモリーを多く割当てます。
<p>FAX をキャンセル</p> <p>許可 許可しない</p>	<p>ファクスジョブをキャンセルできるかどうかを設定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[許可]です。</p>
<p>FAX 番号のマスクング</p> <p>オフ 左から 右から</p>	<p>送信ファクスに記載するファクス番号を隠す場合に、隠し始める方向を指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[オフ]です。 隠す文字数は[マスクングする桁数]で設定します。
<p>マスクングする桁数</p> <p>0 ~ 58</p>	<p>送信ファクスに記載するファクス番号を隠す場合に、隠す文字数を指定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[0]です。</p>
<p>接続回線の検出を有効化</p> <p>オン オフ</p>	<p>有効なファクス回線を検出します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[オフ]です。 電話回線が正しく接続されていない場合、エラー表示します。
<p>間違ったジャックの回線の検出を有効化</p> <p>オン オフ</p>	<p>不適切なアナログ電話ジャックに接続しているかどうかを検出します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[オフ]です。</p>
<p>使用中サポートの拡張を有効化</p> <p>オン オフ</p>	<p>外付け電話機接続用ポート(EXT)に外付けの電話機や留守番電話機を接続可能にします。通話用の電話回線と共用するときなど、必要に応じて設定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[オフ]です。</p>

FAX 送付状ページ

項目	用途
FAX 送付状ページ 標準でオフ 標準でオン 使用しない 常に使用	表紙として付ける FAX 送付状ページを設定します。 メモ: 出荷時設定は[標準でオフ]です。
[~まで含む]フィールド オン オフ	FAX 送付状ページに[[~まで含む]フィールド]を記載するかどうかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
[~から含む]フィールド オン オフ	FAX 送付状ページに発信者名を記載するかどうかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
[メッセージを含む]フィールド オン オフ	FAX 送付状ページにメッセージを記載するかどうかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
ロゴを含む オン オフ	FAX 送付状ページにロゴを記載するかどうかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
フッター1を含む オン オフ	FAX 送付状ページにフッター1を記載するかどうかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
フッター2を含む オン オフ	FAX 送付状ページにフッター2を記載するかどうかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。

FAX 送信設定

項目	用途
<p>解像度</p> <p>標準</p> <p>精細 200 dpi</p> <p>スーパーファイン 300 dpi</p>	<p>送信するファクスの品質を 1 インチあたりのドット数 (dpi) で選択します。解像度を大きくすると、品質は良くなりますが、送信に時間がかかるようになります。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[標準]です。</p>
<p>原稿サイズ</p> <p>レター</p> <p>リーガル</p> <p>エグゼクティブ</p> <p>フォリオ</p> <p>ステートメント</p> <p>Oficio(メキシコ)</p> <p>ユニバーサル</p> <p>自動サイズ検知</p> <p>サイズ混在</p> <p>A4</p> <p>A5</p> <p>A6</p> <p>JIS B5</p> <p>カスタムスキャンサイズ x</p> <p>ブックオリジナル</p> <p>名刺</p> <p>3×5 インチ</p> <p>4×6 インチ</p>	<p>ファクス送信する原稿の用紙サイズを選択します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[A4]です。</p>
<p>原稿タイプ</p> <p>文字</p> <p>グラフィックス</p> <p>文字/写真</p> <p>写真</p>	<p>原稿の内容を指定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[文字]です。</p>

ユーザーズガイド

項目	用途
内容のソース モノクロレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿が生成された方法を指定します。 メモ: 出荷時設定は[モノクロレーザー]です。
濃淡 1 ~ 9	スキャンするイメージの濃淡を調整します。 メモ: 出荷時設定は[5]です。
外線発信番号	99 や 0 などの外線発信番号を入力します。数字入力が可能です。
自動リダイヤル 0 ~ 9	ファクスを再送信するためのリダイヤル回数を指定します。 メモ: 出荷時設定は[5]です。
リダイヤル頻度 1 ~ 200	リダイヤルの間隔を分単位で指定します。 メモ: 出荷時設定は[3]分です。
PABX の後 はい いいえ	PABX を経由する場合などの、ダイヤルトーン以外の発信の有効/無効を指定します。 メモ: 出荷時設定は[いいえ]です。
ECM を有効化 はい いいえ	ファクスジョブのエラー訂正モードの有効/無効を指定します。 メモ: 出荷時設定は[はい]です。
FAX のスキャンを有効化 オン オフ	本機でスキャンしたファイルをファクス送信できるかどうかを指定します。 メモ: 出荷時設定は[オン]です。
FAX 用ドライバー はい いいえ	プリンタードライバーからファクス送信できるかどうかを指定します。 メモ: 出荷時設定は[はい]です。

ユーザズガイド

項目	用途
ショートカットとして保存可能 オン オフ	ファクス番号をショートカットとして保存するかどうかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[オン]です。
ダイヤルモード トーン パルス	使用している回線が、トーンかパルスかを指定します。 メモ: 出荷時設定は[トーン]です。
速度優先 2400 4800 9600 14400 33600	ファクス送信の通信速度(ボーレート)を指定します。 メモ: 出荷時設定は[33600]です。
背景削除 -4 ~ 4	スキャンイメージの背景の量を調整します。 メモ: 出荷時設定は[0]です。
カラードロップアウト なし 赤 緑 青	色を薄くしたいときに、色を指定して濃さを調整します。 メモ: 出荷時設定は[なし]です。
コントラスト 0 ~ 5 内容に合わせて最適化	スキャンイメージのコントラストを調整します。 メモ: 出荷時設定は[内容に合わせて最適化]です。
左右反転 オフ オン	原稿を左右反転してファクス送信します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
ネガ オフ オン	原稿のネガイメージでファクス送信します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。

ユーザーズガイド

項目	用途
シャドウ細部 -4 ~ 4	スキャンイメージに現れるシャドウ細部の量を調整します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
端までスキャン オン オフ	原稿の端から端までをスキャンするかどうかを指定します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
シャープネス 1 ~ 5	スキャンイメージのシャープネス量を調整します。 メモ: 出荷時設定は[3]です。
カラーFAX スキャン有効化 標準設定でオフ 標準設定でオン 使用しない 常に使用	ファクス原稿をスキャンするときにカラーでスキャンするかどうかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[標準設定でオフ]です。
カラーFAX からモノクロ FAX 自動変換 オン オフ	ファクス原稿がカラーのときにモノクロデータに変換するかどうかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[オン]です。

FAX 受信設定

項目	用途
FAX 受信を有効化 オン オフ	ファクス受信をするかどうかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[オン]です。
発信番号を有効化 オフ オン	発信番号を有効にするかどうかを設定します。
呼び出し回数 1 ~ 25	受信するまでの呼び出し回数を指定します。 メモ: 出荷時設定は[3]です。
自動受信 オン オフ	ファクスが着信したときに自動で受信するかどうかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
手動呼び出しコード オフ 1 ~ 9	手動でファクスを呼出すコードを設定します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
自動縮小 オン オフ	受信したファクスデータのサイズがセットされた用紙サイズに合わないときにサイズを調整するかどうかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[オン]です。
給紙源 自動 トレイ x 多目的フィーダー	ファクスジョブに使用する給紙装置を指定します。 メモ: 出荷時設定は[自動]です。
両面 片面 両面	受信したファクスデータを両面印刷にするかどうかを指定します。 メモ: 出荷時設定は[片面]です。

ユーザズガイド

項目	用途
セパレータ用紙 オフ 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	セパレーター紙の挿入位置をページ、ファクス、またはジョブ間で設定します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
セパレータ給紙源 トレイ x	セパレーター紙をどの給紙装置から給紙するかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[トレイ 1]です。
フッター オン オフ	受信したファクスの送信情報を各ページの下部に印刷します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
速度優先 2400 4800 9600 14400 33600	ファクス受信の通信速度(ボーレート)を指定します。 メモ: 出荷時設定は[33600]です。
FAX 転送 印刷 印刷して転送 転送	受信したファクスを別の受信者に転送するかしないかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[印刷]です。
転送先 FAX Eメール FTP LDSS	ファクスを転送するときの転送先の受信者の種類を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[FAX]です。 この設定は、内蔵 Web サーバー機能でのみ設定できます。
ショートカットに転送	ファクスを転送するときの転送先のショートカットを指定します。指定されている受信者の種類(FAX、Eメール、FTP など)に対応する番号のみ可能です。
無記名 FAX をブロック オフ オン	ファクス ID が含まれていないファクスジョブを拒否するかどうかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。

項目	用途
カラーFAX 受信を有効化 オン オフ	カラーのファクス受信データを有効にするかどうかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[オン]です。

FAX ログ設定

項目	用途
送信ログ ログを印刷 ログを印刷しない エラー時のみ印刷	各ファクスジョブの送信ログを印刷するかどうかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[ログを印刷]です。
エラーログを受信印刷設定 印刷しない エラー時に印刷	受信エラー発生時に受信エラーログを印刷するかどうかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[印刷しない]です。
自動印刷ログ オン オフ	ファクスログを自動的に印刷するかどうかを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[オン]です。 • ファクスログは 200 回の通信ごとに印刷されます。
給紙源を記録 トレイ x 多目的フィーダー	ログの印刷に使用する給紙装置を指定します。 メモ: 出荷時設定は[トレイ 1]です。
ログ表示 リモートステーション名 ダイヤル済み番号	ログに印刷する内容をダイヤル番号にするか応答されたファクス名にするかを指定します。 メモ: 出荷時設定は[リモートステーション名]です。
ジョブログを有効化 オン オフ	ファクスジョブログへのアクセスを有効にします。 メモ: 出荷時設定は[オン]です。

項目	用途
コールログを有効化 オン オフ	ファクスコールログへのアクセスを有効にします。 メモ: 出荷時設定は[オン]です。

スピーカー設定

項目	用途
スピーカーモード 常にオフ 接続されるまでオン 常にオン	スピーカーの状態を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[接続されるまでオン]です。ファクスを着信し、接続されるまでスピーカーから音が鳴ります。 [常にオン]はスピーカーがオンになっています。 [常にオフ]はスピーカーがオフになっています。
スピーカー音量 高 低	スピーカーから出る音量を調整します。 メモ: 出荷時設定は[高]です。
着信音 オフ オン	着信音をオン/オフします。 メモ: 出荷時設定は[オン]です。

受信の設定

項目	用途
すべて 1回のみ受信 2回のみ受信 3回のみ受信 1回または2回のみ受信 1回または3回のみ受信 2回または3回のみ受信	専用着信音サービスを利用している場合の着信音の鳴分け(呼出しパターン)を指定します。 メモ: 出荷時設定は[すべて]です。

[E メール設定]メニュー

項目	用途
<p>E メールサーバーセットアップ</p> <p>自分にコピーを送信 表示しない 標準設定でオン 標準設定でオフ 常にオン</p>	<p>送信者に E メールのコピーを送信するかどうかを設定できるようにします。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[表示しない]です。</p>
<p>E メールサーバーセットアップ</p> <p>Eメールの最大送信サイズ 0 ~ 65535 KB</p>	<p>Eメールで送信する最大サイズを指定します。</p> <p>メモ: 設定したサイズ以上の E メールは送信できません。</p>
<p>フォーマット</p> <p>PDF (.pdf) セキュア PDF TIFF (.tif) JPEG (.jpg) XPS (.xps)</p>	<p>Eメールで送るスキャンデータファイルのフォーマットを指定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[PDF (.pdf)]です。</p>
<p>PDF バージョン</p> <p>1.2 ~ 1.6 A-1a</p>	<p>Eメールで送るスキャンデータが PDF のときの PDF のバージョンを指定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[1.5]です。</p>
<p>原稿タイプ</p> <p>グラフィックス 文字 文字/写真 写真</p>	<p>原稿の内容を指定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[文字/写真]です。</p>

ユーザーズガイド

項目	用途
<p>内容のソース</p> <p>モノクロレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他</p>	<p>原稿が生成された方法を指定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[モノクロレーザー]です。</p>
<p>解像度</p> <p>75 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi</p>	<p>スキャンの品質を 1 インチあたりのドット数 (dpi) で選択します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[150]です。</p>
<p>濃淡</p> <p>1 ~ 9</p>	<p>スキャンするイメージの濃淡を調整します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[5]です。</p>
<p>用紙の向き</p> <p>縦長 横長</p>	<p>スキャンイメージの向きを指定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[縦長]です。</p>

ユーザーズガイド

項目	用途
<p>原稿サイズ</p> <p>レター</p> <p>リーガル</p> <p>エグゼクティブ</p> <p>フォリオ</p> <p>ステートメント</p> <p>Oficio(メキシコ)</p> <p>ユニバーサル</p> <p>自動サイズ検知</p> <p>サイズ混在</p> <p>A4</p> <p>A5</p> <p>A6</p> <p>JIS B5</p> <p>カスタムスキャンサイズ x</p> <p>ブックオリジナル</p> <p>名刺</p> <p>3×5 インチ</p> <p>4×6 インチ</p>	<p>スキャンする原稿の用紙サイズを選択します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[A4]です。</p>
<p>印刷面(両面印刷)</p> <p>オフ</p> <p>長辺</p> <p>短辺</p>	<p>原稿が両面印刷の場合のページの向きを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[オフ]です。 • [長辺]は、長い辺を綴じる(縦置きで左側綴じのレイアウト、横置きで上側綴じのレイアウトになる)状態を示しています。 • [短辺]は、短い辺を綴じる(縦置きで上側綴じのレイアウト、横置きで左綴じのレイアウトになる)状態を示しています。 • 両面スキャンは本機では使用できません。

ユーザズガイド

項目	用途
JPEG 品質 内容に合わせて最適化 5 ~ 90	JPEG 写真画像について、画質とファイルサイズの相関関係を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[内容に合わせて最適化]です。 [5]にすると、ファイルサイズは小さくなりますが、画質も悪くなります。 [90]にすると、画質は一番きれいですがファイルサイズは大きくなります。 この設定はスキャン操作をするすべての機能で有効です。
テキスト標準設定 5 ~ 90	テキスト原稿の取込みイメージについて、画質とファイルサイズの相関関係を設定します。 メモ: 出荷時設定は[75]です。
文字/写真標準設定 5 ~ 90	テキスト/写真原稿の取込みイメージについて、画質とファイルサイズの相関関係を設定します。 メモ: 出荷時設定は[75]です。
写真標準設定 5 ~ 90	写真原稿の取込みイメージについて、画質とファイルサイズの相関関係を設定します。 メモ: 出荷時設定は[50]です。
送信される E メール画像 添付 Web リンク	スキャンしたイメージの送信方法を指定します。 メモ: 出荷時設定は[添付]です。
複数ページ TIFF の使用 オン オフ	単一ページの TIFF ファイルと複数ページの TIFF ファイル(マルチページ TIFF)を選択できるようにします。複数ページをスキャンするときに、E メールで送信するデータをページごとの TIFF ファイルにするか、複数ページを 1 つの TIFF ファイルにまとめるかを選択します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[オン]です。 この設定はスキャン操作をするすべての機能で有効です。
送信ログ ログを印刷 ログを印刷しない エラー時のみ印刷	Eメールの送信ログを印刷するかどうかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[ログを印刷]です。

ユーザーズガイド

項目	用途
給紙源を記録 トレイ x 多目的フィーダー	E メールログの印刷に使用する給紙装置を指定します。 メモ: 出荷時設定は[トレイ 1]です。
カスタムジョブスキャン オン オフ	混在したサイズの原稿を 1 ファイルにまとめてスキャンします。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
ショートカットとして保存可能 オン オフ	E メールアドレスをショートカットとして保存するかどうかを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[オン]です。 • [オフ]にセットすると、E メールを送信する画面でショートカットは表示されません。
背景削除 -4 ~ 4	スキャンイメージの背景の量を調整します。 メモ: 出荷時設定は[0]です。
コントラスト 0 ~ 5 内容に合わせて最適化	スキャンイメージのコントラストを調整します。 メモ: 出荷時設定は[内容に合わせて最適化]です。
左右反転 オフ オン	原稿を左右反転してスキャンします。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
ネガ オフ オン	原稿のネガイメージでスキャンします。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
シャドウ細部 -4 ~ 4	スキャンイメージに現れるシャドウ細部の量を調整します。 メモ: 出荷時設定は[0]です。
ADF スキュー修正 自動 オフ オン	ADF でスキャンしたときのイメージの傾きを補正します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。

ユーザーズガイド

項目	用途
端までスキャン オフ オン	原稿の端から端までをスキャンするかどうかを指定します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
シャープネス 1 ~ 5	スキャンイメージのシャープネス量を調整します。 メモ: 出荷時設定は[3]です。
cc:/bcc を使用: オフ オン	cc、bcc を利用できるようにするかどうかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。

[FTP 設定]メニュー

項目	用途
フォーマット PDF (.pdf) セキュア PDF TIFF (.tif) JPEG (.jpg) XPS (.xps)	FTP で送るスキャンデータファイルのフォーマットを指定します。 メモ: 出荷時設定は[PDF (.pdf)]です。
PDF バージョン 1.2 ~ 1.6 A-1a	FTP で送るスキャンデータが PDF のときの PDF のバージョンを指定します。 メモ: 出荷時設定は[1.5]です。
原稿タイプ 文字 グラフィックス 文字/写真 写真	原稿の内容を指定します。 メモ: 出荷時設定は[文字/写真]です。
内容のソース モノクロレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿が生成された方法を指定します。 メモ: 出荷時設定は[モノクロレーザー]です。
解像度 75 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	スキャンの品質を 1 インチあたりのドット数 (dpi) で選択します。 メモ: 出荷時設定は[150]です。

ユーザズガイド

項目	用途
<p>濃淡</p> <p>1 ~ 9</p>	<p>スキャンするイメージの濃淡を調整します。</p> <p>メモ:出荷時設定は[5]です。</p>
<p>用紙の向き</p> <p>縦長</p> <p>横長</p>	<p>スキャンイメージの向きを指定します。</p> <p>メモ:出荷時設定は[縦長]です。</p>
<p>原稿サイズ</p> <p>レター</p> <p>リーガル</p> <p>エグゼクティブ</p> <p>フォリオ</p> <p>ステートメント</p> <p>Oficio(メキシコ)</p> <p>ユニバーサル</p> <p>自動サイズ検知</p> <p>サイズ混在</p> <p>A4</p> <p>A5</p> <p>A6</p> <p>JIS B5</p> <p>カスタムスキャンサイズ x</p> <p>ブックオリジナル</p> <p>名刺</p> <p>3×5 インチ</p> <p>4×6 インチ</p>	<p>スキャンする原稿の用紙サイズを選択します。</p> <p>メモ:出荷時設定は[A4]です。</p>
<p>印刷面(両面印刷)</p> <p>オフ</p> <p>長辺</p> <p>短辺</p>	<p>原稿が両面印刷の場合のページの向きを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[オフ]です。 • [長辺]は、長い辺を綴じる(縦置きで左側綴じのレイアウト、横置きで上側綴じのレイアウトになる)状態を示しています。 • [短辺]は、短い辺を綴じる(縦置きで上側綴じのレイアウト、横置きで左綴じのレイアウトになる)状態を示しています。 • 両面スキャンは本機では使用できません。

ユーザズガイド

項目	用途
<p>JPEG 品質</p> <p>内容に合わせて最適化</p> <p>5 ~ 90</p>	<p>JPEG 写真画像について、画質とファイルサイズの相関関係を設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[内容に合わせて最適化]です。 • [5]にすると、ファイルサイズは小さくなりますが、画質も悪くなります。 • [90]にすると、画質は一番きれいですがファイルサイズは大きくなります。 • この設定はスキャン操作をするすべての機能で有効です。
<p>テキスト標準設定</p> <p>5 ~ 90</p>	<p>テキスト原稿の取込みイメージについて、画質とファイルサイズの相関関係を設定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[75]です。</p>
<p>文字/写真標準設定</p> <p>5 ~ 90</p>	<p>テキスト/写真原稿の取込みイメージについて、画質とファイルサイズの相関関係を設定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[75]です。</p>
<p>写真標準設定</p> <p>5 ~ 90</p>	<p>写真原稿の取込みイメージについて、画質とファイルサイズの相関関係を設定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[50]です。</p>
<p>複数ページ TIFF の使用</p> <p>オン</p> <p>オフ</p>	<p>単一ページの TIFF ファイルと複数ページの TIFF ファイル(マルチページ TIFF)を選択できるようにします。複数ページをスキャンするときに、E メールで送信するデータをページごとの TIFF ファイルにするか、複数ページを 1 つの TIFF ファイルにまとめるかを選択します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[オン]です。 • この設定はスキャン操作をするすべての機能で有効です。
<p>送信ログ</p> <p>ログを印刷</p> <p>ログを印刷しない</p> <p>エラー時のみ印刷</p>	<p>FTP の送信ログを印刷するかどうかを設定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[ログを印刷]です。</p>
<p>給紙源を記録</p> <p>トレイ x</p> <p>多目的フィーダー</p>	<p>FTP ログの印刷に使用する給紙装置を指定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[トレイ 1]です。</p>

ユーザーズガイド

項目	用途
カスタムジョブスキャン オン オフ	混在したサイズの原稿を 1 ファイルにまとめてスキャンします。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
ショートカットとして保存可能 オン オフ	FTP アドレスをショートカットとして保存するかどうかを設定します。 メモ: 出荷時設定は[オン]です。
背景削除 -4 ~ 4	スキャンイメージの背景の量を調整します。 メモ: 出荷時設定は[0]です。
コントラスト 0 ~ 5 内容に合わせて最適化	スキャンイメージのコントラストを調整します。 メモ: 出荷時設定は[内容に合わせて最適化]です。
左右反転 オフ オン	原稿を左右反転してスキャンします。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
ネガ オフ オン	原稿のネガイメージでスキャンします。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
シャドウ細部 -4 ~ 4	スキャンイメージに現れるシャドウ細部の量を調整します。 メモ: 出荷時設定は[0]です。
ADF スキュー修正 自動 オフ オン	ADF でスキャンしたときのイメージの傾きを補正します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
端までスキャン オフ オン	原稿の端から端までをスキャンするかどうかを指定します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
シャープネス 1 ~ 5	スキャンイメージのシャープネス量を調整します。 メモ: 出荷時設定は[3]です。

[印刷設定]

[セットアップ]メニュー

項目	用途
<p>プリンタ言語</p> <p>PCL</p> <p>PS</p>	<p>プリンタ言語の初期設定を指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[PS]です。 この設定は初期設定であり、ソフトウェアプログラムから別のプリンタ言語を使用する印刷ジョブを送信できます。
<p>印刷領域</p> <p>標準</p> <p>用紙全体</p>	<p>印刷可能領域を設定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[標準]です。印刷領域外のデータは印刷されません。[用紙全体]に設定する[標準]の印刷領域より広い領域に印刷できます。</p>
<p>リソース保存</p> <p>オン</p> <p>オフ</p>	<p>使用可能なメモリー容量を超える処理が必要な印刷ジョブを受信した場合に、RAM に保存されているフォントやマクロなどの一時的なダウンロードデータを削除するかどうかを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[オフ]です。[オフ]の設定にすると、メモリーが十分でないときにはダウンロードデータを削除してメモリーを開放します。 [オン]の設定にすると、ダウンロードデータを削除しません。メモリーが十分でないときには「メモリーフル [38]」が表示されます。この場合もダウンロードデータは保持されます。

[仕上げ]メニュー

項目	用途
<p>両面</p> <p>片面</p> <p>両面</p>	<p>すべての印刷ジョブの初期設定として両面印刷を使用するかどうかを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[片面]です。 ソフトウェアプログラムから両面印刷を設定するには、次の手順に従います。 <p>Windows の場合:</p> <p>[ファイル]>[印刷]の順にクリックし、[プロパティ]、[設定]、[オプション]、または[セットアップ]をクリックして設定を変更します。</p> <p>Macintosh の場合:</p> <p>[ファイル]>[プリント]の順に選択し、[プリント]画面の項目やポップアップメニューでプリンタードライバーの設定を変更します。</p>
<p>両面印刷の綴じ方</p> <p>長辺</p> <p>短辺</p>	<p>両面印刷ページの綴じ方と印刷方法を設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[長辺]です。[長辺]に設定した場合は、長い辺を綴じる(縦置きで左側綴じのレイアウト、横置きで上側綴じのレイアウトになる)ように両面印刷を行います。 [短辺]に設定した場合は、短い辺を綴じる(縦置きで上側綴じのレイアウト、横置きで左綴じのレイアウトになる)ように両面印刷を行います。
<p>枚数</p> <p>1~999</p>	<p>すべての印刷ジョブで初期設定となる部数を指定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[1]部です。</p>
<p>空白ページ</p> <p>印刷しない</p> <p>印刷</p>	<p>印刷ジョブ内に空白ページがあった場合に印刷するかどうかを設定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[印刷しない]です。</p>
<p>丁合</p> <p>(1,1,1)(2,2,2)</p> <p>(1,2,3)(1,2,3)</p>	<p>複数部数の印刷でのページの排出順序の初期設定を指定します。複数部を印刷する場合に、ページごと枚数分を印刷するか、全ページを1部印刷してから2部目を印刷するかを設定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[(1,2,3) (1,2,3)]です。</p>

項目	用途
<p>セパレータ紙</p> <p>オフ</p> <p>各部の間</p> <p>各ジョブの間</p> <p>各ページの間</p>	<p>区切り部分にセパレータ紙を挿入するかどうかを設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[オフ]です。セパレータ紙は挿入されません。 [各部の間]に設定すると、[丁合]が[(1,2,3) (1,2,3)]のときは全ページを1部印刷するごとに白紙を挿入します。[丁合]が[(1,1,1) (2,2,2)]の場合は、各ページを指定部数印刷後、次のページを印刷する前に白紙を挿入します。 [各ジョブの間]に設定すると、ジョブごとに白紙を挿入します。 [各ページの間]に設定すると、ページごとに白紙を挿入します。この設定はOHPフィルムを印刷するときやページ間にメモ用のページを入れたいときに便利です。
<p>セパレータ給紙源</p> <p>トレイ x</p> <p>MP フィーダー</p>	<p>[セパレータ紙]を設定したときに、挿入する用紙をどの給紙装置から給紙するかを設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[トレイ 1](標準トレイ)です。 [用紙メニュー]の[多目的フィーダー設定]を[トレイ]に設定していると[MP フィーダー]が表示されません。
<p>用紙の節約</p> <p>オフ</p> <p>2 アップ</p> <p>3 アップ</p> <p>4 アップ</p> <p>6 アップ</p> <p>9 アップ</p> <p>12 アップ</p> <p>16 アップ</p>	<p>1枚の用紙の片面に複数ページを割付けて印刷する設定をします。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[オフ]です。 1面に割付けるページ数で指定します。選択されたページ数が自動的に縮小されて割付けられます。
<p>N アップの配列</p> <p>横方向(左から)</p> <p>横方向(右から)</p> <p>縦方向(右から)</p> <p>縦方向(左から)</p>	<p>[用紙の節約]で複数ページの割付けをするときの配列を設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[横方向(左から)]です。 1面に割付けるページ数と向きによってレイアウト結果が異なります。

ユーザズガイド

項目	用途
<p>N アップの向き</p> <p>自動 横長 縦長</p>	<p>[用紙の節約]で複数ページの割付けをするときの配列を設定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[自動]です。他の機能で指定されている設定(または初期設定)に従います。</p>
<p>N アップの枠</p> <p>なし ソリッド</p>	<p>[用紙の節約]で複数ページの割付けをするときに、ページ区切りに線を入れるかどうかを設定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[なし]です。</p>

[印刷品質] メニュー

項目	用途
<p>印刷解像度</p> <p>300 dpi 600 dpi 1200 dpi 1200 イメージ品質 2400 イメージ品質</p>	<p>印刷結果の解像度を 1 インチ当りのドット数 (dpi) で指定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[600 dpi]です。</p>
<p>ピクセルブースト</p> <p>オフ フォント 横方向 縦方向 双方向 分離された</p>	<p>指定した条件部分のピクセル数を増やして鮮明度を高めます。画像を縦または横方向に拡大したり、フォントを見やすくしたりできます。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[オフ]です。</p>
<p>トナーの濃さ</p> <p>1～10</p>	<p>印刷の濃淡を調整します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[8]です。 • 小さい数に設定すると、トナーを節約できます。
<p>細かい線を強調</p> <p>オン オフ</p>	<p>細かな絵、地図、電気回路図、フローチャートなどのデータに適した印刷モードを有効にします。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[オフ]です。 • プリンタードライバでも設定できます。Windows の場合は、[ファイル]>[印刷]の順にクリックし、[プロパティ]、[設定]、[オプション]、または[セットアップ]をクリックして設定を変更します。Macintosh の場合は、[ファイル]>[プリント]の順に選択し、[プリント]画面の項目やポップアップメニューで設定を変更します。 • この機能は内蔵 Web サーバー機能で設定できます。内蔵 Web サーバー機能は、ブラウザのアドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して起動します。
<p>グレー補正</p> <p>自動 オフ</p>	<p>コントラスト補正を自動的に調整します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[自動]です。</p>

項目	用途
明るさ -6～6	明暗を調整します。印刷結果を明るくするほど、トナーを節約できます。 メモ: 出荷時設定は[0]です。
コントラスト 0～5	コントラストを調整します。 メモ: 出荷時設定は[0]です。

[ジョブアカウント]メニュー

メモ:

- このメニュー項目は、オプションのアップグレードキット(256MB ユーザーフラッシュメモリーまたはフロントカード)が装着されているときのみ表示されます。
- PageScope Account Manager を利用するとジョブアカウントの統計情報を管理できます。管理する場合は、PageScope Account Manager をインストールする必要があります。また、本機を、管理対象のデバイスとして指定する必要があります。
- ジョブアカウントメニューを利用する場合は、内蔵 Web サーバー機能にパスワードを設定することをお勧めします。

項目	用途
ジョブアカウントのログ オン オフ	印刷ジョブをログとして記録するかどうかを指定します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。
ジョブアカウントのログ回数 毎日 毎週 毎月	ログファイルを更新する期間を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[毎月]です。 週は月曜日の 12:00 AM から日曜日の 11:59 PM までの期間になります。 月は 1 日の 12:00 AM から最終日の 11:59 PM までの期間になります。
最後に行うログ操作 なし 現在のログをEメールで送信 現在のログをEメールで送信して削除 現在のログをポスト 現在のログをポストして削除	ログファイルの更新が完了したときの処理動作を指定します。 メモ: 出荷時設定は[なし]です。

ユーザズガイド

項目	用途
<p>ログがほとんど満杯レベル</p> <p>オフ</p> <p>1~49</p>	<p>ログ記録領域の上限を設定します。</p> <p>メモ: 記録領域の上限は 50MB です。</p>
<p>ログ操作がほとんど満杯レベル</p> <p>なし</p> <p>現在のログをEメールで送信</p> <p>現在のログをEメールで送信して削除</p> <p>最も古いログをEメールで送信し削除</p> <p>現在のログをポスト</p> <p>現在のログをポストして削除</p> <p>最も古いログをポストして削除</p> <p>現在のログを削除</p> <p>最も古いログを削除</p> <p>現在のログ以外すべて削除</p> <p>すべてのログを削除</p>	<p>ログ記録領域が上限に近くなっている場合の対処方法を指定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[なし]です。</p>
<p>ログ操作が満杯</p> <p>なし</p> <p>現在のログを E メールで送信して削除</p> <p>最も古いログを E メールで送信して削除</p> <p>現在のログをポストして削除</p> <p>最も古いログをポストして削除</p> <p>現在のログを削除</p> <p>最も古いログを削除</p> <p>現在のログ以外すべて削除</p> <p>すべてのログを削除</p>	<p>ログ記録領域が上限に達した場合の対処方法を指定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[なし]です。</p>
<p>ログ記録 URL</p> <p>(入力内容)</p>	<p>ログを保存するフォルダーを指定します。</p> <p>メモ: このメニュー項目は、[ログ操作がほとんど満杯レベル]/[ログ操作が満杯]のどちらかの項目が[現在のログをポスト]、[現在のログをポストして削除]または[最も古いログをポストして削除]のどれかに設定されているときに設定できます。</p>

ユーザーズガイド

項目	用途
E メールログ (入力内容)	ログを送信する E メールアドレスを指定します。 メモ: このメニュー項目は、[ログ操作がほとんど満杯レベル]/[ログ操作が満杯]のどちらかの項目が[現在のログを E メールで送信]、[現在のログを E メールで送信して削除]または[最も古いログを E メールで送信して削除]のどれかに設定されているときに設定できます。
ログファイルプレフィックス (入力内容)	ログファイルのプレフィックスを変更します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • ログファイルは、2 種類の名前で保存されます。 進行中のログファイルは、以下の名前です。 「ja[_プレフィックスの設定内容]_current.csv」 過去のログファイルは、以下の名前です。 「ja[_プレフィックスの設定内容]_[ログの最初の日のタイムスタンプ].csv」 • 出荷時設定は[TCP/IP]メニューで設定したホスト名になります。
ログを削除 すべて選択 すべて選択解除 削除	表示されたリストから目的のログファイルを選択して削除します。 メモ: このメニュー項目は、[ジョブアカウントのログ]が[オン]になっているときに設定できます。
ログを印刷/エクスポート 印刷 詳細 ユーザーID サマリ アカウントコードサマリ エクスポート	ログファイルの処理方法を指定します。 メモ: このメニュー項目は、[ジョブアカウントのログ]が[オン]になっているときに設定できます。

[XPS]メニュー

項目	用途
エラーページ印刷 オフ オン	XML マークアップエラーを含め、エラーに関する情報ページを印刷します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。

[PDF]メニュー

項目	用途
用紙にあわせて印刷 はい いいえ	選択した用紙サイズに合わせてページの内容を拡大/縮小します。 メモ: 出荷時設定は[はい]です。
注釈 印刷しない 印刷する	PDF 内の注釈を印刷します。 メモ: 出荷時設定は[印刷しない]です。

[PCL]メニュー

項目	用途
フォント ソース 常駐 ダウンロード すべて	[フォント名]で使用されるフォントセットを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[常駐]です。RAM にダウンロードされた出荷時の標準フォントセットが表示されます。 • [ダウンロード]は RAM にダウンロードされたすべてのフォントが表示されます。 • [すべて]は各オプションで使用できるフォントがすべて表示されます。
フォント名 Courier 10	[フォント ソース]で選択されているフォントとその保存先を表示します。 メモ: 出荷時設定は[Courier 10]です。
シンボルセット 12U PC-850	各フォント名のシンボルセットを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[12U PC-850]です。 • シンボルセットは、英数字、句読点、特殊記号のセットです。シンボルセットにより、さまざまな言語や科学文献で使用される数学記号などの特殊なコンテンツの文字を印刷できます。使用可能なシンボルセットのみ表示されます。

ユーザーズガイド

項目	用途
<p>PCL 設定</p> <p>ポイントサイズ</p> <p>1.00~1008.00</p>	<p>スケーラブルアウトラインフォントのポイントサイズを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none">• 出荷時設定は[12]です。• ポイントサイズは、フォントの文字の高さを指します。1 ポイントは約 0.014 インチです。ポイントは 0.25 ポイント単位で増減できます。

ユーザーズガイド

項目	用途
PCL 設定 ピッチ 0.08～100	スケーラブル等幅フォントのフォントピッチを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[10]です。 • ピッチとは、文字間の固定スペースで、1 インチ当りの数値で表します (dpi)。ピッチは 0.01 dpi 単位で増減できます。 • スケーラブルでない等幅フォントの場合、ピッチが画面に表示されますが、変更できません。
PCL 設定 用紙の向き 縦長 横長	ページ上のテキストおよびグラフィックスの向きを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[縦長]です。[縦長]では、ページの短辺に平行な方向にテキストとグラフィックスが印刷されます。 • [横長]では、ページの長辺に平行な方向にテキストとグラフィックスが印刷されます。
PCL 設定 1 ページ当りの行数 1～255	1 ページに印刷する行数を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[64]です。 • [PCL 設定]では、[1 ページ当りの行数]、[A4 サイズの幅]、[用紙の向き]の設定に基づいて、行間のスペースを決定します。[A4 サイズの幅]、[用紙の向き]を選択してから、[1 ページ当りの行数]を設定してください。
PCL 設定 A4 サイズの幅 198 mm 203 mm	A4 サイズの用紙の印刷条件を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[198 mm]です。 • [203 mm]に設定すると、10 ピッチの文字を 80 個印刷できるページ幅になります。
PCL 設定 LF 後自動 CR オン オフ	ラインフィード(LF)制御コマンドの後にキャリッジリターン(CR)を自動的に実行するかどうかを指定します。 メモ: 出荷時設定は[オフ]です。

項目	用途
<p>PCL 設定</p> <p>CR 後自動 LF</p> <p>オン</p> <p>オフ</p>	<p>キャリッジリターン (CR) の後にラインフィード (LF) 制御コマンドを自動的に実行するかどうかを指定します。</p> <p>メモ: 出荷時設定は[オフ]です。</p>
<p>トレイ番号変更</p> <p>多目的フィーダー割当て</p> <p>オフ</p> <p>なし</p> <p>0~199</p> <p>トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3 x 割当て</p> <p>オフ</p> <p>なし</p> <p>0~199</p> <p>手差し用紙割当て</p> <p>オフ</p> <p>なし</p> <p>0~199</p> <p>手差し封筒割当て</p> <p>オフ</p> <p>なし</p> <p>0~199</p>	<p>トレイとフィーダーの給紙装置の割当てが異なるプリンターソフトウェアまたはプログラムで動作するようにトレイの割当てを変更できます。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[オフ]です。 • [なし]は PCL 5 インタープリタで選択されている場合に表示されますが、コマンドが無視されます。 • 0~199 の数値に、ユーザー定義の設定を割当てられます。
<p>トレイ番号変更</p> <p>出荷時標準設定の表示</p> <p>MPF 標準設定 = 8</p> <p>T1 標準設定 = 1</p> <p>T2 標準設定 = 4</p> <p>T3 標準設定 = 5</p> <p>T4 標準設定 = 20</p> <p>T5 標準設定 = 21</p> <p>封筒標準設定 = 6</p> <p>手差し標準設定 = 2</p> <p>手差し封筒標準 = 3</p>	<p>各トレイまたはフィーダーに割当てられている出荷時設定を表示します。</p>

ユーザーズガイド

項目	用途
トレイ番号変更 標準設定に復元 はい いいえ	トレイとフィーダーのすべての割当てを出荷時標準設定に戻します。

[HTML]メニュー

項目	用途
フォント名 Albertus MT Antique Olive Apple Chancery Arial MT Avant Garde Bodoni Bookman Chicago Clarendon Cooper Black Copperplate Coronet Courier Eurostile Garamond Geneva Gill Sans Goudy Helvetica Hoefler Text Intl CG Times Intl Courier Intl Univers	Joanna MT Letter Gothic Lubalin Graph Marigold MonaLisa Recut Monaco New CenturySbk New York Optima Oxford Palatino StempelGaramond Taffy Times TimesNewRoman Univers Zapf Chancery NewSansMTCS NewSansMTCT New SansMTJA NewSansMTKO
	HTML ドキュメントの標準フォントを設定します。 メモ: フォントが指定されていない HTML ドキュメントには、Times フォントを使用します。

ユーザーズガイド

項目	用途
フォントサイズ 1~255 pt	HTMLドキュメントの標準フォントサイズを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[12 pt]です。 フォントサイズは、1ポイント単位で増減できます。
拡大縮小 1~400%	HTMLドキュメントの標準フォントを拡大/縮小します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[100%]です。 拡大/縮小率は、1%単位で増減できます。
用紙の向き 縦長 横長	HTMLドキュメントのページの用紙の向きを設定します。 メモ: 出荷時設定は[縦長]です。
余白 8~255 mm	HTMLドキュメントのページ余白を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時設定は[19 mm]です。 余白は、1 mm 単位で増減できます。
背景 印刷しない 印刷	HTMLドキュメントの背景を印刷するかどうかを指定します。 メモ: 出荷時設定は[印刷]です。

[イメージ]メニュー

項目	用途
<p>自動調整</p> <p>オン</p> <p>オフ</p>	<p>最適な用紙サイズ、拡大/縮小率、向きを選択します。</p> <p>メモ:出荷時設定は[オン]です。この設定にすると、一部のイメージの拡大/縮小率および用紙の向きを設定を変更します。</p>
<p>反転</p> <p>オン</p> <p>オフ</p>	<p>モノクロのイメージを反転します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[オフ]です。 • この設定は、GIF または JPEG イメージには適用されません。
<p>倍率変更</p> <p>左上隅の固定</p> <p>最適なフォント選択</p> <p>中央の固定</p> <p>高さ/幅の調整</p> <p>高さの調整</p> <p>幅の調整</p>	<p>選択した用紙サイズに合わせてイメージを拡大/縮小します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時設定は[最適なフォント選択]です。 • [自動調整]を[オン]に設定すると、[倍率変更]は自動的に[最適なフォント選択]に設定されます。
<p>用紙の向き</p> <p>縦長</p> <p>横長</p> <p>縦長反転</p> <p>横長反転</p>	<p>イメージの印刷方向を設定します。</p> <p>メモ:出荷時設定は[縦長]です。</p>

12—環境保護のために

用紙とトナーの節約

プリンターの二酸化炭素排出量の 80%ほどが用紙の使用状況に関連している、ということが複数の調査で示されています。再生紙を使用したり、両面印刷や用紙の片面に複数ページを印刷したりするなどの方法で二酸化炭素排出量を大幅に減少することができます。

用紙の節約や節電について詳しくは、「エコモードを使用する」をご覧ください。

再生紙を使用する

当社は環境問題意識を持つ企業として、レーザープリンター向けに特別に生産された事務用再生紙の使用を推奨しています。

消耗品を節約する

用紙の両面に印刷する

お使いの機種が両面印刷に対応している場合、[印刷]ダイアログボックスから「両面印刷」を選択することによって、両面印刷にするかどうかを制御できます。

1 枚の用紙に複数ページを印刷する

[印刷]ダイアログボックスの[ページ割付](N アップ)で設定を選択することによって、1 枚の用紙の片面に、最大で 16 ページの連続したドキュメントを印刷できます。

ドラフトで事前チェックをする

複数部数のコピーを作成する前に、1 部のみ印刷し、内容とできあがりを十分確認してください。

紙づまりを防ぐ

紙づまりを防ぐには、正しい種類とサイズ of 用紙をセットします。

参照⇒[「紙づまりを起こさないためには」](#)

節電する

エコモードを使用する

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [設定]>[一般設定]>[エコモード]の順にクリックします。
3. 設定を選択します。

項目	用途
オフ	<p>エコモードを無効にし、すべての設定を出荷時設定で使用します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 他のモードで使用していたときに変更した設定は、出荷時設定にリセットされます。 • [オフ]は本機の性能を最も発揮できます。
電力	<p>アイドル中などの状態で電力消費を抑えます。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • ジョブを受信後、印刷準備が完了するまで内部のモーターが動作しません。1 ページ目が印刷されるまでの間にわずかな遅延を感じる場合があります。 • 使用しない時間が 1 分続いたときにスリープモードになります。 • スリープモードになると、操作パネルのディスプレイも消灯します。 • 装着されているオプション類もオフになります。
電力/用紙	[電力]と[用紙]の両方の設定を有効な状態にします。
用紙	自動両面印刷機能を有効にします。

4. [送信]をクリックします。

動作音を抑える

動作音を抑えるには、静音モードを使用します。

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [設定] >  > [設定] >  > [一般設定] >  > [静音モード] > 

2. 設定を選択します。

項目	用途
オン	<p>動作音を抑えます。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 通常より印刷速度が遅くなります。 • ジョブを受信後、印刷準備が完了するまで内部のモーターが動作しません。1 ページ目が印刷されるまでの間にわずかな遅延を感じる場合があります。 • [アラーム音設定]と[カートリッジアラーム]がオフになります。 • Advance Start の制御コマンドが無視されます。
オフ	<p>静音モードを無効にします(出荷時設定)。</p> <p>メモ: 本機の性能を最も発揮できます。</p>

3.  を押します。

スリープモードを設定する

節電のため、スリープモードに切り替える時間を短く設定できます。時間は 1～120 分の範囲で設定できます。出荷時設定は[30]分です。

メモ: スリープモード時でも印刷ジョブは受信できます。

内蔵 Web サーバー機能で設定する

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。

- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. 次の順で設定します。

[設定]>[一般設定]>[時間切れ]

3. [スリープモード]の項目にスリープモードに切りかわるまでの待機時間(分)を入力します。

4. [送信]をクリックします。

操作パネルで設定する

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [設定] >  > [設定] >  > [一般設定] >  > [タイムアウト] >  > [スリープモード] > 

2. スリープモードに切りかわるまでの待機時間(分)を選択します。

3.  を押します。

ハイバネットモードを使用する

ハイバネットは、消費電力が極めて少ないモードです。ハイバネットモードで動作中は他の機器やシステムの電源を切っても安全です。

メモ:

- 印刷ジョブを送信する前に本機をハイバネットモードから復帰させてください。ハードウェアリセットまたはスリープボタンの長押しでハイバネットモードから復帰します。
- 操作しない時間経過によってハイバネットモードに自動的に切りかわるように設定できます。
参照⇒[「電力モードの定期実行を設定する」](#)
- ハイバネットモード中は内蔵 Web サーバー機能が無効になり、アクセスできません。

内蔵 Web サーバー機能で設定する

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [設定]>[一般設定]>[スリープボタン設定]の順にクリックします。

- スリープボタンの動作項目([[スリープ]ボタンの動作]/[[スリープ]ボタンを押し続ける])のいずれかを[ハイバネート]に設定します。
- [送信]をクリックします。

操作パネルで設定する

- 操作パネルで、次の順に選択します。

 > [設定] >  > [設定] >  > [一般設定] > 

- ▲▼ボタンでスリープボタンの動作項目([[スリープ]ボタンの動作]/[[スリープ]ボタンを押し続ける])のいずれかを表示させ、 を押します。
- ▲▼ボタンで[ハイバネート]を選択し、 を押します。

メモ:

- [[スリープ]ボタンの動作]を[ハイバネート]に設定した場合は、スリープボタンを短く押すとハイバネートモードに切り替わります。
- [[スリープ]ボタンを押し続ける]を[ハイバネート]に設定した場合は、スリープボタンを長押しするとハイバネートモードに切り替わります。

電力モードの定期実行を設定する

電力モードの定期実行では、省電力状態またはレディ状態に切り替える条件を設定します。

- ブラウザを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

- [設定]>[一般設定]>[電力モードの定期実行]の順にクリックします。
- [アクション]の項目では、設定したい電力モードを選択します。
- [時]の項目では、設定したい時間を選択します。
- [日]の項目では、設定したい日または曜日を選択します。
- [追加]をクリックします。

13—セキュリティに関する機能

データの揮発性に関する注意

本機には、各種機能やネットワークの設定、ユーザーデータを保存できるさまざまな種類のメモリーが搭載されています。

メモリーの種類	説明
揮発性メモリー	一般的なランダムアクセスメモリー(RAM)を搭載しています。通常の印刷ジョブでユーザーデータなどの一時的な保存に利用されます。
不揮発性メモリー	EEPROM および NAND(フラッシュメモリー)の2種類の不揮発性メモリーを使用しています。どちらのメモリーも、基本プログラム、出荷時設定から変更した機能の設定、ネットワーク情報などを保存するために利用されます。

メモリーの内容は次の場合に消去してください。

- 本機を使用しなくなった場合。
- 使用部署または使用場所を変更する場合。
- 外部の人が本機の点検、保守などを行うようになる場合。
- 保守のため外部へ持ち出す場合。
- 外部へ売却する場合。

揮発性メモリーの情報を消去する

揮発性メモリー(RAM)の情報を保存しておくには電源が必要です。データを消去するには、本機の電源を切ります。

不揮発性メモリーの情報を消去する

- 個別設定、デバイスとネットワーク設定、セキュリティ設定、およびその他内蔵機能—情報と設定を消去するには、[構成設定メニュー]から[すべての設定を消去]を選択します。
 - ファクスデータ—ファクスの設定とデータを消去するには、[構成設定メニュー]から[すべての設定を消去]を選択します。
1. 本機の電源を切ります。

ユーザズガイド

2. テンキーの[2]と[6]を押しながら本機の電源を入れます。進行状況バーが画面に表示されたら、ボタンを放します。

電源投入の初期動作後、[構成設定メニュー]が表示されます。本機の準備が整うと、操作パネルのディスプレイに機能の一覧が表示されます。

3. ▲▼ボタンで[すべての設定を消去]を表示させます。

この操作の間、本機は何度か再起動を繰り返します。
ディスプレイに表示される手順に従います。

メモ: [すべての設定を消去]を使用すると、出荷時設定から変更した機能の設定、ソリューション、ジョブ、パスワードがメモリーから安全に消去されます。

4. 次の順に選択します。

[戻る]>[設定メニュー終了]

電源がオンのままりセットされ、通常の操作モードに戻ります。

14—メンテナンス

本機を清掃する

外側を清掃する

メモ: この作業は数か月ごとを目安に実施してください。

警告—破損の恐れがあります: 不適切な取扱いによる損傷は保証の対象外です。

1. 電源をオフにし、電源コードをコンセントから抜いたことを確認します。

 **注意—感電の恐れがあります:** 感電の危険を避けるため、本機の外側の掃除を始める前に電源コードをコンセントから抜き、接続されているすべてのコードやケーブルを外します。

2. 排紙トレイと多目的フィーダーから用紙を取除いてください。
3. 柔らかいブラシまたは掃除機を使用して、周囲のほこり、糸くず、紙片を除去します。
4. 清潔で糸くずの出ない布を水で湿らせ、表面を拭きます。

警告—破損の恐れがあります: 家庭用の洗剤や溶剤を使わないでください。外装に傷が付くことがあります。

5. 新しい印刷ジョブを送信する前に、すべての部分が乾いていることを確認してください。

原稿ガラスを清掃する

コピーやスキャンした画像に線が現れるなどの問題が発生した場合は、原稿ガラスを清掃してください。

1. 柔らかく、糸くずの出ない布やペーパータオルを水で湿らせます。

2. スキャナーカバーを開きます。



3. 以下の箇所を拭いて、乾かします。



1	スキャナーカバーの白い部分
2	原稿ガラス
3	ADF ガラス
4	ADF カバー下側の白い部分

4. スキャナーカバーを閉じます。

消耗品および各部の状態を確認する

消耗品の交換やメンテナンスが必要な場合は、操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。

消耗品および各部の状態を操作パネルで確認する

操作パネルで、次の順に選択します。

 >[ステータス/消耗品]>  >[消耗品状況]> 

消耗品および各部の状態を内蔵 Web サーバー機能で確認する

メモ: 確認するコンピューターと本機が同じネットワーク上に接続されていることを確認してください。

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [デバイス状況]をクリックします。

推定残りページについて

残りのトナー残量で印刷できるおよそのページ数は、最新の印刷履歴から計算されます。その精度は、実際の印刷内容、印刷品質の設定、およびその他の設定など、多数の要素によって大きく変わります。

実際のトナー消費量が以前よりも多くなるようなことがあると、印刷できるページ数は少なくなります。印刷できるページ数はおよその目安です。この数値を参考に消耗品を購入する予定の場合は、この数値が変動することを考慮してください。消費量は、国際標準化機構* のテスト方法およびページ内容に基づいて予測します。

*ブラックカートリッジで連続印刷した場合の平均値です。公表値は ISO/IEC 19752 に準拠しています。

消耗品の注文について

コニカミノルタ指定の純正消耗品や交換部品をお使いください

コニカミノルタプリンターは、コニカミノルタ指定の純正消耗品や交換部品をご使用いただくことで最良の画像品質・製品性能が得られるように設計されています。コニカミノルタ指定の純正消耗品以外をご使用の場合には製品性能が得られない場合がありますのでご注意ください。また、コニカミノルタ指定の純正消耗品以外をご使用になられたことによる品質トラブル等につきましては、製品保証対象外となります。

コニカミノルタ純正品以外のリサイクルトナーカートリッジは使用しないでください。リサイクルトナーカートリッジを使用したことによる故障や印刷品質の問題については、保証の対象にはなりません。また、技術的なサポートの対象にもなりません。

トナーカートリッジの注文

メモ:

- トナーカートリッジの寿命は、ISO/IEC 19752 標準に準拠しています。
- 長期間にわたって使用頻度が低い場合は寿命に影響することがあります。

名称	商品名
アフター用トナーカートリッジ 10K	TNP43

保守キットの注文

メモ:

- 特殊な用紙など、使用する用紙によっては保守キットの交換期間が短くなることがあります。
- 区切りローラー、フューザー、ピックアップローラー、転写ローラー、ドライブローラーアセンブリは、保守キットに含まれていますが、必要に応じて、個別に注文して交換できます。
- 保守キットの交換については、お買上げのサービス実施店またはサービス技術者にお尋ねください。

保守キット

名称
100 V 用保守キット

ADF セパレータパッドの注文

ADF が給紙できなくなったり、一度に複数枚の原稿を給紙するようなときは、ADF セパレータパッドを注文してください。

ADF セパレータパッドの交換については、ADF セパレータパッド付属の説明シートをご覧ください。

ADF セパレータパッド

名称
ADF セパレータパッド

イメージングユニットの注文

長期間にわたって使用頻度が低い場合は、イメージングユニットおよびトナーカートリッジ寿命に影響することがあります。

イメージングユニットの交換については、イメージングユニット付属の説明シートをご覧ください。

名称	商品名
アフター用イメージングユニット 60K	IUP19

消耗品の保管

消耗品は、清潔で涼しい場所に保管する必要があります。また、使用するまでは梱包から出さずに正しい面を上にして保管してください。

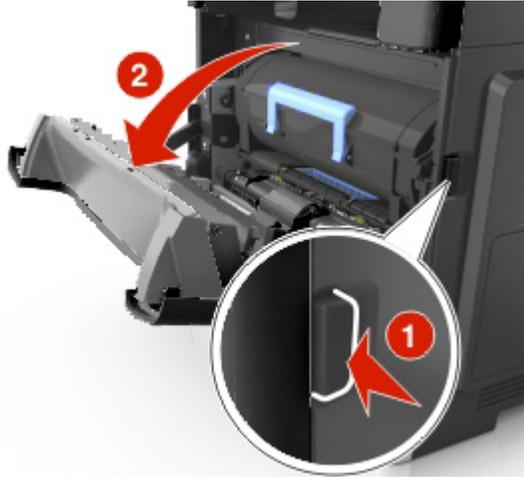
以下の環境は避けてください。

- 直射日光の当たる場所
- 気温が 35°C 以上の場所
- 湿度が 80% 以上の場所
- 潮風の当たる場所
- 有害ガスが当たる場所
- ほこりの多い場所

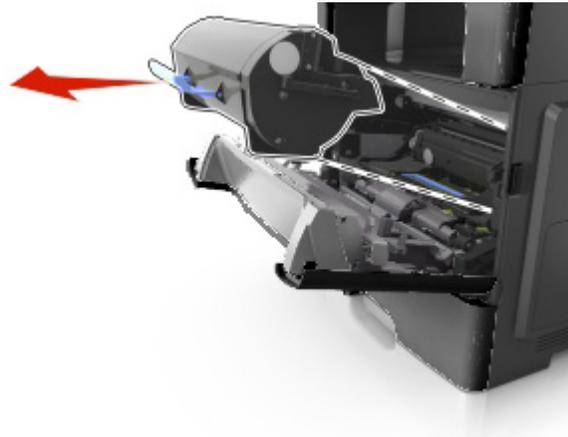
消耗品を交換する

トナーカートリッジを交換する

1. 右側面にあるボタンを押して前面ドアを開きます。

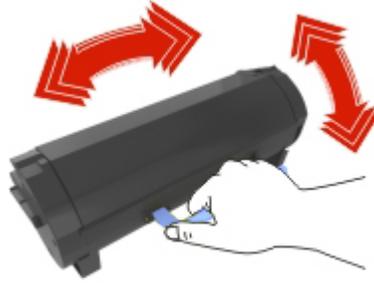


2. 取っ手を持ってトナーカートリッジを引出します。



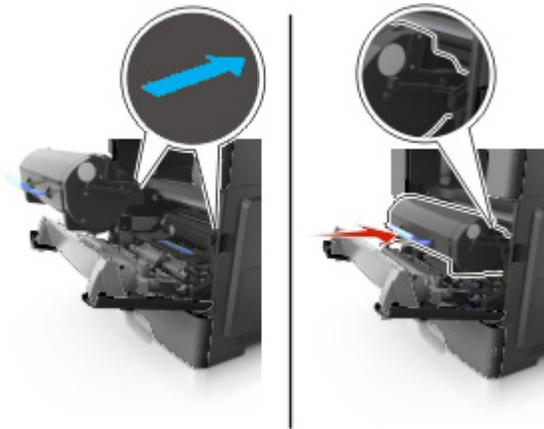
3. 新しいトナーカートリッジを梱包袋から取出し、梱包材をすべて取除きます。

4. 新しいカートリッジを振ってトナーの偏りをなくします。



5. トナーカートリッジのサイドレールの矢印を本機内側のサイドレールの矢印に合わせ、トナーカートリッジを奥に挿入します。

警告—破損の恐れがあります: イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。



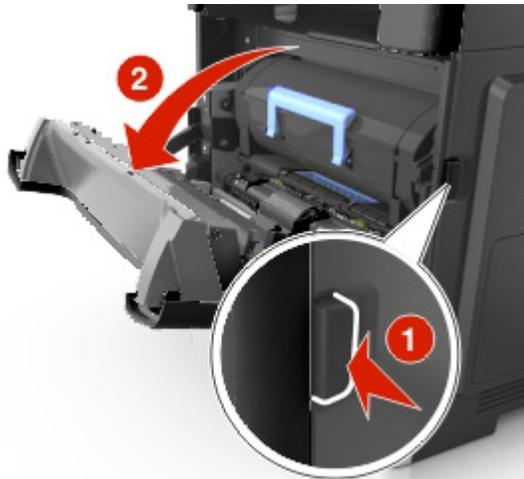
6. 前面ドアを閉じます。

メモ: 使用済みトナーカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。トナーカートリッジは火気のあるところに廃棄したり燃やしたりしないでください。

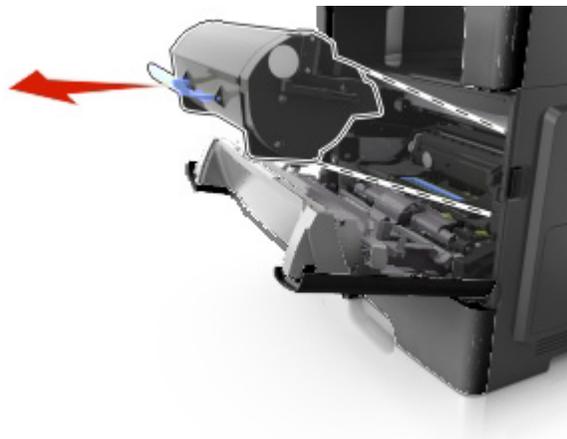
注意: トナーカートリッジを交換するときは、トナーがこぼれないように注意してください。もしトナーがこぼれた場合は、すみやかにやわらかい乾いた布で拭き取ってください。トナーが目に入った場合、直ちに流水で 15 分以上洗い流し、医師の診察を受けてください。

イメージングユニットを交換する

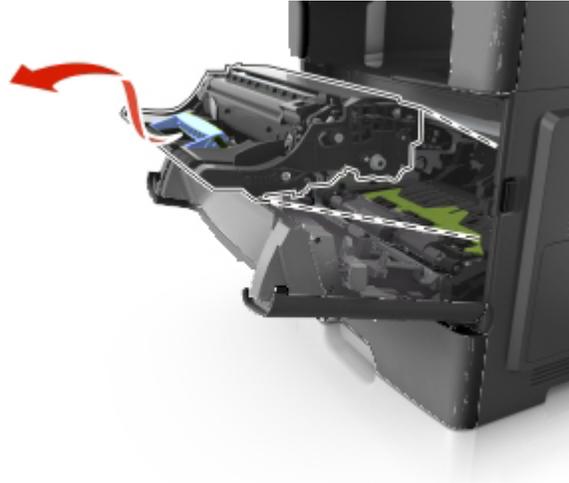
1. 右側面にあるボタンを押して前面ドアを開きます。



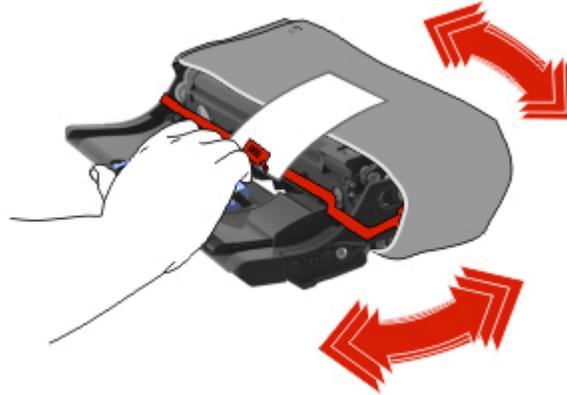
2. 取っ手を持ってトナーカートリッジを引出します。



3. 青色の取っ手を持上げ、イメージングユニットを引出します。



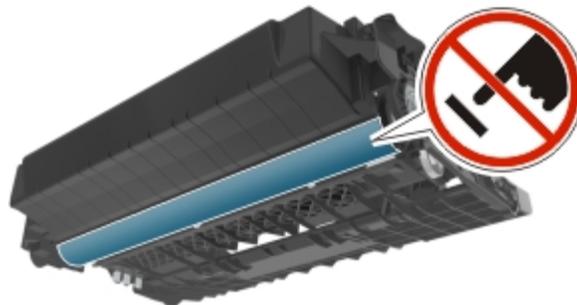
4. 新しいイメージングユニットを梱包袋から取出して振ります。



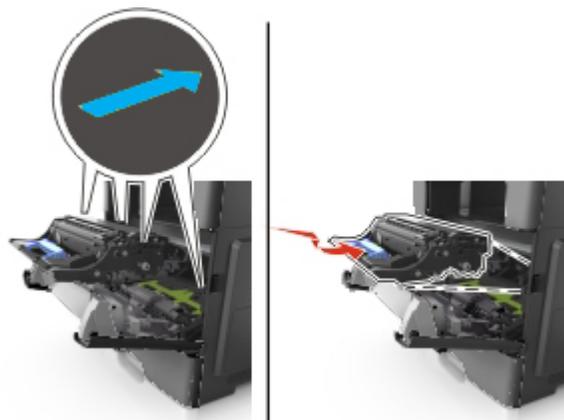
5. 梱包材をすべて取除きます。

警告—破損の恐れがあります: イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。

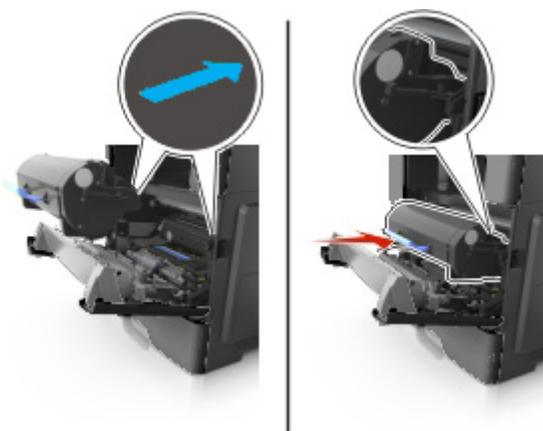
警告—破損の恐れがあります: イメージングユニットの下の光沢のある青いフォトコンダクタードラムには触れないでください。触れると、印刷品質に影響を与えることがあります。



6. イメージングユニットのサイドレールの矢印を本機内側のサイドレールの矢印に合わせ、イメージングユニットを奥に挿入します。



7. トナーカートリッジのサイドレールの矢印を本機内側のサイドレールの矢印に合わせ、トナーカートリッジを奥に挿入します。



8. 前面ドアを閉じます。

メモ: 使用済みイメージングユニットは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。イメージングユニットは火気のあるところに廃棄したり燃やしたりしないでください。

本機を移動する

⚠️ 注意—ケガをする可能性があります: 本機の重量は 18 kg を超えています。持ち上げる場合は、安全のため訓練された 2 人以上で持ち上げてください。

移動する前に

⚠️ 注意—ケガをする可能性があります: 本機を移動する際は、ケガや本機の破損を避けるため、以下のことに注意してください。

- 電源スイッチで本機の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。

- 本機を移動する前に、コードやケーブル類をすべて外してください。
- オプションのトレイが取付けられている場合、本機からトレイを取外します。オプションのトレイを取外すには、トレイの右側面のラッチをトレイの正面に向けてカチッと音がするまでスライドさせます。



- 本機を持ち上げるときは、本機の両側面にある持ち手を使用します。
- 本機を床などに置くときは指が本機の下に挟まれないように注意してください。
- 本機を設置する前に、本機の周囲に操作するために十分なスペースがあることを確認してください。

本製品に付属する、または製造元が代替品として認可した電源コードのみを使用してください。

警告—破損の恐れがあります: 不適切な移動による本機への損傷は保証の対象外です。

別の場所に移動する

本機やハードウェアオプションを別の場所に安全に移動するため、次の点に注意してください。

- 移動には、底がはみ出さない大きさの台車を使用してください。
- ハードウェアオプションの移動に台車を使用する場合は、ハードウェアオプション全体を載せられる台車を使用してください。
- 本機は直立状態に保ってください。
- 急激な動きは避けてください。

輸送するときは

本機を輸送するときは、元の梱包材を使用してください。

15—本機の管理について

ネットワーク設定と管理者情報を確認する

この章では、内蔵 Web サーバー機能を使用して基本的な管理を行う機能について説明しています。より高度なシステムの設定については、『Drivers and Documentation CD』に収録されている『ネットワークガイド』をご覧ください。

仮想ディスプレイを確認する

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. 画面左上に表示される仮想ディスプレイを確認します。

仮想ディスプレイは、実際の操作パネルのディスプレイと同じように動作します。

E メールアラートセットアップ

消耗品の残量が残りわずかになったとき、用紙の交換や追加が必要なとき、紙づまりが起こったときなどに、E メールで通知する E メールアラートを設定できます。

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [設定]をクリックします。
3. [その他の設定]メニューから[E メールアラートセットアップ]をクリックします。
4. 通知を受けたい項目のチェックを有効にし、通知先の E メールアドレスを入力します。
5. [送信]をクリックします。

メモ: E メールサーバの設定については、システム管理者に問わせてください。

レポートを確認する

内蔵 Web サーバーでは各種のレポートを表示できます。レポートでは、本機やネットワーク、および消耗品の状態を確認できます。

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワークポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [レポート]をクリックし、確認したいレポートを選択します。

内蔵 Web サーバー機能で消耗品通知を設定する

消耗品の残量が残りわずかになったり、なくなったり、寿命に達した場合に通知する方法を設定できます。

メモ:

- 消耗品通知は、トナーカートリッジ、イメージングユニットおよび保守キットに対して設定できます。
- 「残りほぼ僅か」、「残り僅か」、「残りごく僅か」の条件については、それぞれの消耗品について設定できませんが、消耗品寿命に関する通知すべてを設定できるわけではありません。E メールでの通知方法の場合は、設定可能な通知をすべて設定できます。
- 一部の消耗品は、消耗品の推定残量(%)で通知を出す方法で設定できます。

1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、[ネットワークポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [設定]>[印刷設定]>[消耗品通知]の順にクリックします。

3. 各消耗品のドロップダウンリストで、以下の通知設定の中から選択します。

通知方法	内容
オフ	消耗品について、何も通知せず動作を続けます。
Eメール	設定した条件(「残りほぼ僅か」、「残り僅か」、「残りごく僅か」)に達したとき、消耗品の状態をEメールで通知します。消耗品の状況は、メニューページおよび状況ページで確認できません。
警告	設定した条件に達したとき、操作パネルのディスプレイに警告メッセージを表示し、消耗品の状態をEメールで通知します。消耗品の条件に達しても動作は停止しません。
続行可能な停止 ¹	設定した条件に達するとジョブの印刷と処理を停止します。操作パネルのボタン操作で印刷を続行できます。
続行不能な停止 ^{1,2}	設定した条件に達するとジョブの印刷と処理を停止します。消耗品を交換するまで印刷を続行できません。
¹ 消耗品通知が有効になっている場合、消耗品の状態をEメールで通知します。 ² 一部の消耗品が空になった場合は、損傷を防ぐために動作を停止します。	

4. [送信]をクリックします。

出荷時設定に戻す

現在の設定を記録しておきたい場合は、設定に戻す前にメニュー設定ページを印刷します。

参照⇒「[メニュー設定ページを印刷する](#)」

すべての設定を出荷時設定に戻す必要がある場合は、[すべての設定を消去]を実行します。

参照⇒「[不揮発性メモリの情報を消去する](#)」

警告—破損の恐れがあります: 出荷時標準設定を復元すると、ほとんどの設定が出荷時設定に戻りますが、表示言語、カスタム用紙の設定情報、カスタムメッセージ、[ネットワーク/ポート]メニュー設定は変更されません。また揮発性メモリー(RAM)に保存されているダウンロードデータはすべて削除されますが、フラッシュメモリーに保存されているダウンロードデータには影響しません。

操作パネルで、次の順に選択します。

☉ >[設定]> OK >[設定]> OK >[一般設定]> OK >[出荷時標準設定]> OK >[復元]> OK

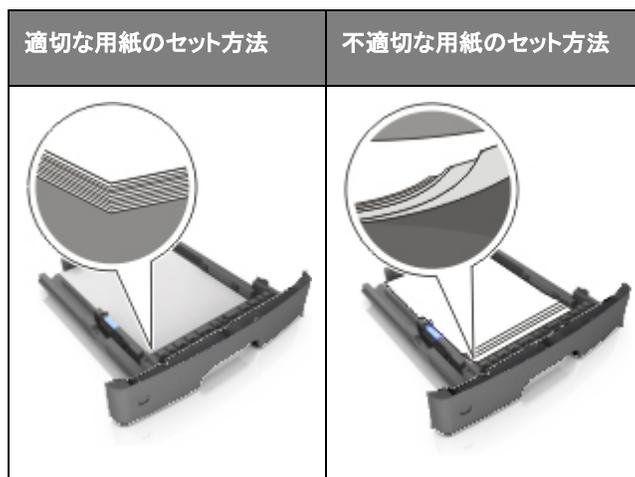
16—紙づまりの処理

紙づまりが起こると操作パネルのディスプレイにエラーメッセージが表示され、紙づまりがどこで起こっているか、場所を確認できます。複数個所で紙づまりが起こった場合は、つまったページ数が表示されます。

紙づまりを起こさないためには

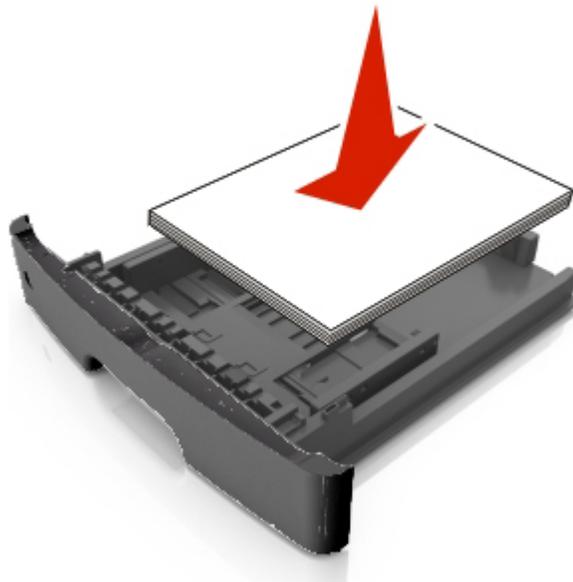
用紙を正しくセットする

- 用紙はトレイに平らにセットしてください。



- 印刷中はトレイを引抜かないでください。
- 印刷中はトレイに用紙をセットしないでください。印刷前にセットするか、セットするよう指示が表示されるまで待ってください。
- セットする用紙の量が多すぎないようにしてください。用紙の高さが給紙上限マークを超えないようにしてください。

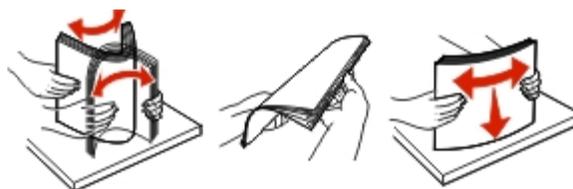
- 用紙をトレイに横からすべり込ませて追加しないようにしてください。図のように、上から用紙を確実にセットしてください。



- トレイまたは多目的フィーダーのガイドが正しい位置にあり、用紙または封筒をきつく固定していないことを確認してください。
- 用紙をセットしたらトレイを本機にしっかりと押込んでください。

推奨された用紙を使用する

- 推奨用紙または専用紙のみを使用してください。
- しわ、折り目のある用紙、湿っている用紙、曲がっている用紙はセットしないでください。
- 用紙の束をほぐし、よくさばいてから揃えてセットします。



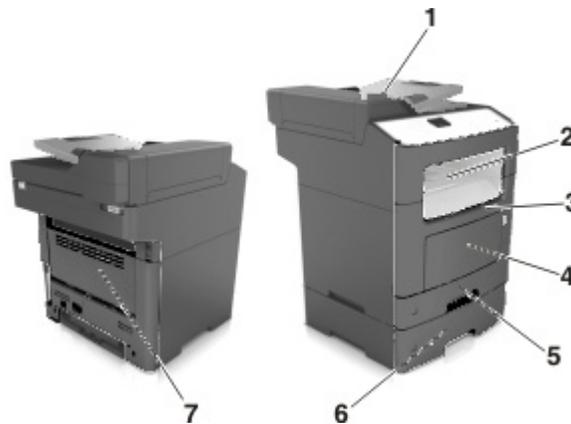
- 手で切った用紙は使用しないでください。
- サイズ、種類、重さが異なる用紙を同じトレイに同時にセットしないでください。
- 操作パネル、内蔵 Web サーバー機能で、用紙のサイズとタイプが正しく設定されていることを確認してください。
- 製造元が推奨する方法で用紙を保管してください。

紙づまりのメッセージと発生箇所について

紙づまりが発生すると、つまった場所とつまりの処理方法を示すメッセージが操作パネルの画面に表示されます。紙づまりを取除くには、画面に示されたドア、カバー、トレイを開きます。

メモ:

- [紙づまりアシスト]が[オン]に設定されている場合、紙づまりの原因のページが取除かれた後、自動で空白ページまたは一部印刷されたページを標準排紙トレイに排出します。印刷されたページの中に破棄されたページがあるかどうかチェックしてください。
- [紙づまり後の処理]が[オン]または[自動]に設定されている場合、紙づまりしたページは再度印刷されます。ただし、[自動]の設定の場合は、つまったページが必ず印刷されるわけではありません。



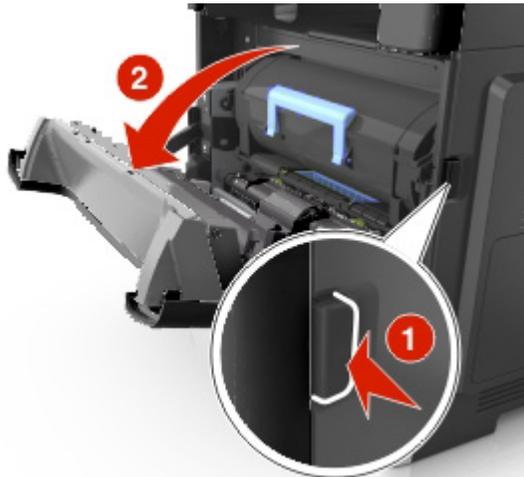
	場所	操作パネルのメッセージ	対処
1	自動原稿フィーダー (ADF)	スキャナの紙づまり。スキャナから原稿をすべて取り除いてください[28y.xx]	ADF にセットされている原稿をすべて取出してから、つまった用紙を取除きます。
2	標準排紙トレイ	紙づまり[20y.xx]	つまった用紙を取除きます。
3	前面ドア	紙づまり[20y.xx]	前面ドアを開き、トナーカートリッジ、イメージングユニットを取外し、つまった用紙を取除きます。
4	多目的フィーダー	紙づまり[25y.xx]	多目的フィーダーの用紙をすべて取出し、つまった用紙を取除きます。
5	トレイ 1	紙づまり[23y.xx]	トレイ 1 を完全に引出し、前面の両面印刷部の蓋を押下げて、つまった用紙を取除きます。 メモ: 23y.xx の紙づまりを処理するには、背面ドアを開ける必要がある場合があります。

	場所	操作パネルのメッセージ	対処
6	トレイ x	紙づまり[24y.xx]	指定されたトレイを引出し、つまった用紙を取除きます。
7	背面ドア	紙づまり[20y.xx]	背面ドアを開き、つまった用紙を取除きます。

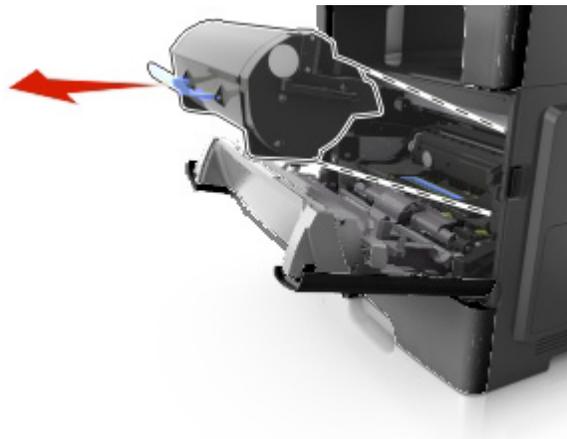
紙づまり[20y.xx]

⚠注意—表面が高温になっています: 本機の内部が高温になっている場合があります。高温になった部品で火傷などを負わないように、表面が冷えてから処理してください。

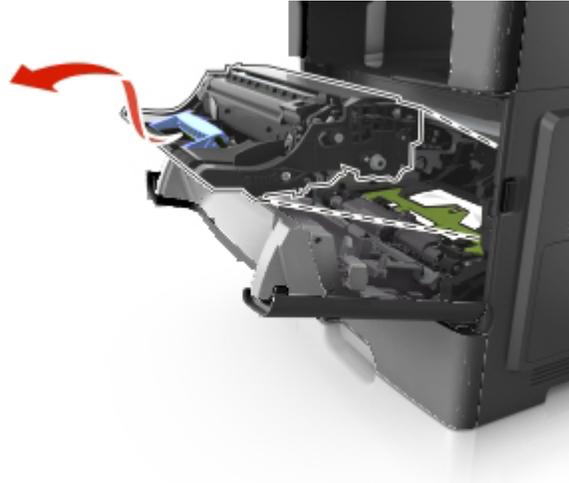
1. 右側面にあるボタンを押して前面ドアを開きます。



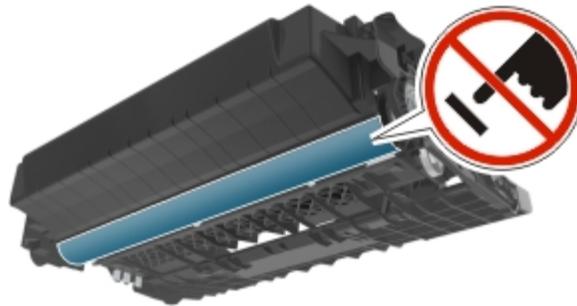
2. 取っ手を持ってトナーカートリッジを引出します。



3. 青色の取っ手を持ち上げ、イメージングユニットを引出します。



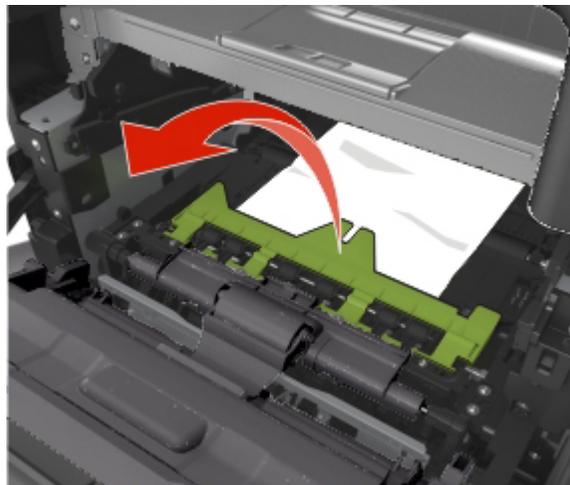
警告—破損の恐れがあります: イメージングユニットの下の光沢のある青いフォトコンダクタードラムには触れないでください。触れると、印刷品質に影響を与えることがあります。



4. イメージングユニットを平らな場所に置きます。

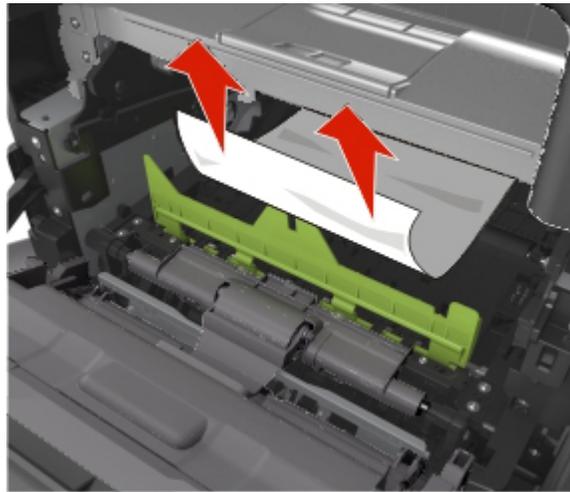
警告—破損の恐れがあります: イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。

5. 内部手前にある緑色のフラップを持ち上げます。

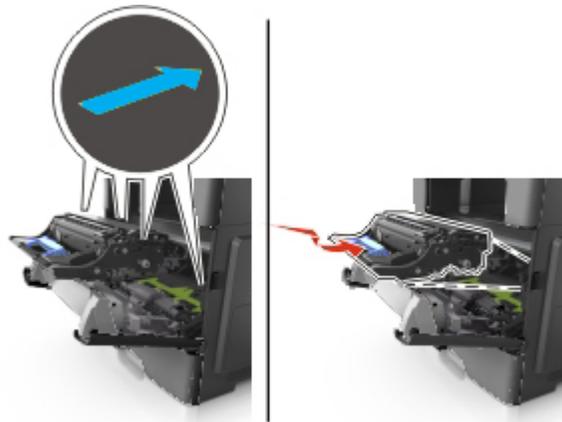


- つまった用紙の両側をしっかり持って、ゆっくり引出します。

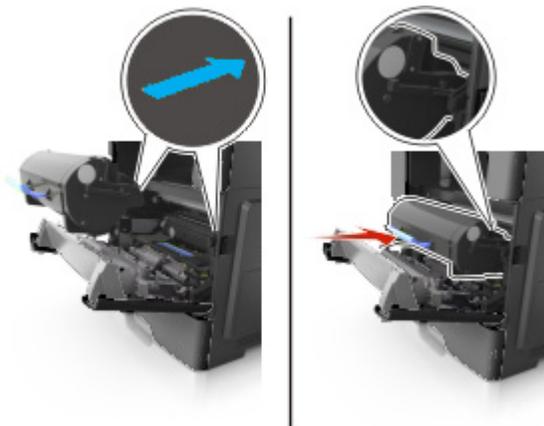
メモ: 紙片が残らないように取除いてください。



- イメージングユニットのサイドレールの矢印を本機内側のサイドレールの矢印に合わせ、イメージングユニットを奥に挿入します。



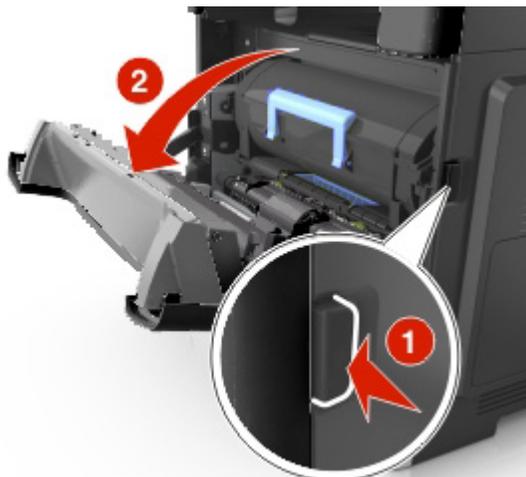
- トナーカートリッジのサイドレールの矢印を本機内側のサイドレールの矢印に合わせ、トナーカートリッジを奥に挿入します。



9. 前面ドアを閉じます。

紙づまり[20y.xx]

1. 右側面にあるボタンを押して前面ドアを開きます。
前面ドアを開けることで背面ドア部の用紙が外れやすくなります。



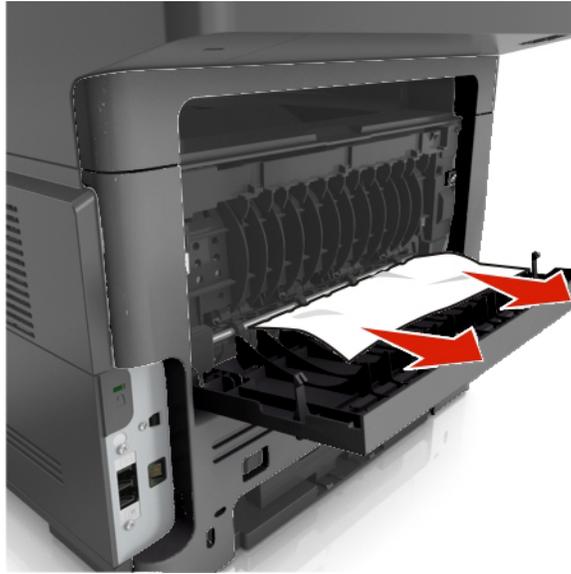
2. 背面ドアをゆっくりと引下げます。

⚠️ 注意—表面が高温になっています: 本機の内部が高温になっている場合があります。高温になった部品で火傷などを負わないように、表面が冷えてから処理してください。



3. つまった用紙の両側をしっかり持って、ゆっくり引出します。

メモ: 紙片が残らないように取除いてください。



4. 背面ドアを閉じてから前面ドアを閉じます。

紙づまり[20y.xx]

1. つまった用紙の両側をしっかり持って、ゆっくり引出します。

メモ: 紙片が残らないように取除いてください。



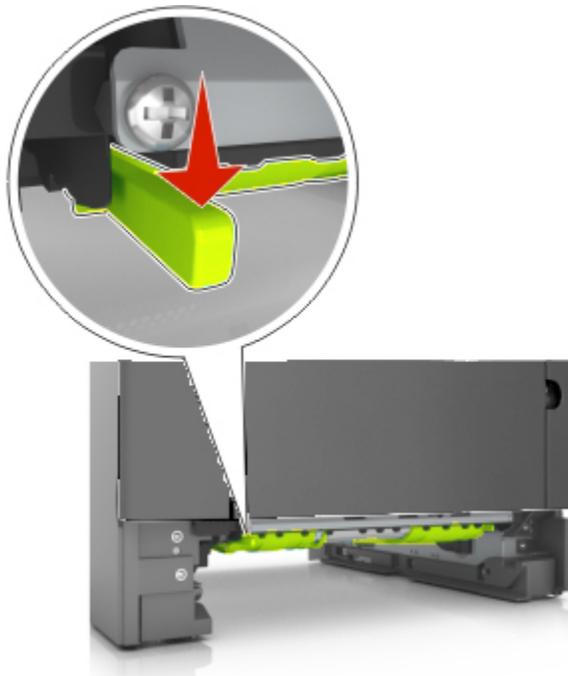
紙づまり[23y.xx]

 **注意**—表面が高温になっています:本機の内部が高温になっている場合があります。高温になった部品で火傷などを負わないように、表面が冷えてから処理してください。

1. トレイを手前に完全に引出します。

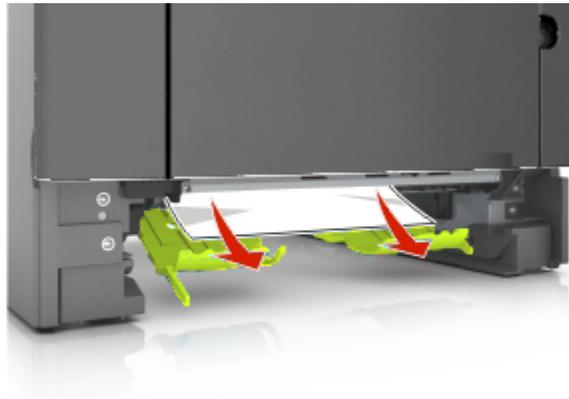


2. 緑のレバーの位置を確認して引下げ、つまった用紙を引出せるようにします。



3. つまった用紙の両側をしっかり持って、ゆっくり引出します。

メモ: 紙片が残らないように取除いてください。



4. トレイをセットします。奥まで押して確実にセットします。

紙づまり[24y.xx]

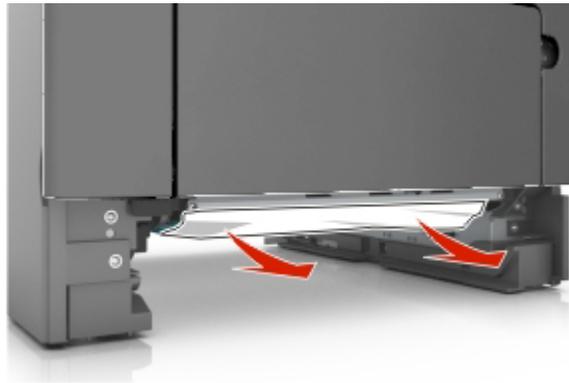
1. トレイを手前に完全に引出します。

メモ: 用紙がつまっているトレイはディスプレイのメッセージで確認できます。対象のトレイを引出してください。



2. つまった用紙の両側をしっかり持って、ゆっくり引出します。

メモ: 紙片が残らないように取除いてください。



3. トレイをセットします。奥まで押して確実にセットします。

紙づまり[25y.xx]

1. 多目的フィーダーでつまった用紙の両側をしっかり持って、ゆっくり引出します。

メモ: 紙片が残らないように取除いてください。



2. 用紙をほぐし、よくさばいてから平らな面で端を揃えます。用紙を折ったり畳んだりしないでください。



3. 多目的フィーダーに用紙を再度セットします。



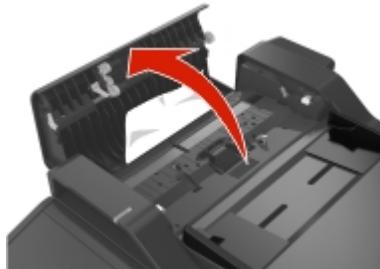
メモ: 左端のガイドが用紙の端に軽く触れる位置にあることを確認します。

スキヤナの紙づまり。スキヤナから原稿をすべて取り除いてください[28y.xx]

1. ADFトレイにセットしてある残りの原稿があれば取出しておきます。

メモ: ADFトレイから原稿を取除くとメッセージが消えます。

2. ADFカバーを開きます。



3. つまった用紙の両側をしっかり持って、ゆっくり引出します。

メモ: 紙片が残らないように取除いてください。

4. ADFカバーを閉じます。

5. 原稿をまっすぐに伸ばし、ADFトレイにセットしてから、用紙ガイドを原稿に合わせて調整します。

17—トラブルシューティング

表示されるメッセージについて

カートリッジ、イメージングユニットが不一致 [41.xy]

1. トナーカートリッジとイメージユニットが両方とも純正消耗品であることを確認します。

メモ: 消耗品の一覧については、以下の項目をご覧ください。

参照⇒[「消耗品の注文について」](#)

2. 純正のトナーカートリッジとイメージユニットに交換します。

カートリッジ残り僅か [88.xy]

トナーカートリッジを準備してください。印刷を続けるときは、操作パネルで[続行]を選択してメッセージを解除し、印刷を続行できます。最後に確認の  を押します。

カートリッジ残りほぼ僅か [88.xy]

印刷を続けるときは、操作パネルで[続行]を選択してメッセージを解除し、印刷を続行できます。最後に確認の  を押します。

[x] カートリッジ極少、残り約 n ページ [88.xy]

トナーカートリッジをただちに交換する必要があります。交換方法について、詳しくは、以下の項目をご覧ください。
参照⇒[「トナーカートリッジを交換する」](#)

印刷を続けるときは、操作パネルで[続行]を選択してメッセージを解除し、印刷を続行できます。最後に確認の  を押します。

[給紙源名]を下記に変更[カスタム文字列][用紙の向き]

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙をトレイまたは多目的フィーダーにセットします。操作パネルで[用紙メニュー]から[用紙サイズ]、[用紙タイプ]の設定を確認して、[用紙の変更が完了しました]と表示されたら  を押します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源名]を下記に変更[カスタムタイプ名][用紙の向き]

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙をトレイまたは多目的フィーダーにセットします。操作パネルで[用紙メニュー]から[用紙サイズ]、[用紙タイプ]の設定を確認して、[用紙の変更が完了しました]と表示されたら **OK** を押します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源名]を下記に変更[用紙サイズ][用紙の向き]

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙をトレイまたは多目的フィーダーにセットします。操作パネルで[用紙メニュー]から[用紙サイズ]、[用紙タイプ]の設定を確認して、[用紙の変更が完了しました]と表示されたら **OK** を押します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源名]を[用紙タイプ][用紙サイズ]に変更 [用紙の向き]にセット

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙をトレイまたは多目的フィーダーにセットします。操作パネルで[用紙メニュー]から[用紙サイズ]、[用紙タイプ]の設定を確認して、[用紙の変更が完了しました]と表示されたら **OK** を押します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

ジョブ再開時原稿台カバー閉じ原稿セット [2yy.xx]

操作パネルで以下のいずれか、または複数の方法を行います。

- 続いて ADF からスキャンするには、スキャン中の作業が完了した後に、[ADF からスキャン]を選択します。確認の **OK** を押します。
- 続いて原稿ガラスでスキャンするには、スキャン中の作業が完了した後に、[原稿台からスキャン]を選択します。確認の **OK** を押します。
- スキャンを終了するには、スキャン中の作業が完了した後に、[スキャンを中止してジョブを終了]を選択します。確認の **OK** を押します。

メモ: この操作は、スキャンジョブをキャンセルする操作ではありません。スキャン済みのページは、コピーやファクス、Eメール送信の処理に進みます。

- スキャンを中止してメッセージを解除するには、[ジョブをキャンセル]を選択します。確認の **OK** を押します。

前面ドアを閉じる

前面ドアを閉じます。

複雑なページ、一部のデータが印刷されない可能性があります [39]

以下のいずれかの方法を行います。

- 印刷を続ける場合は、操作パネルで[続行]を選択し、確認の **OK** を押します。メッセージを終了して印刷を継続できます。
- 印刷をキャンセルする場合は、そのまま確認の **OK** を押します。
- メモリーを増設します。

フラッシュメモリ不良 [51]

以下のいずれかの方法を行います。

- 不具合のあるフラッシュメモリーカードを交換します。
- 印刷を続ける場合は、操作パネルで[続行]を選択し、確認の **OK** を押します。メッセージを終了して印刷を開始します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

USB の読み取りエラーです。USB を外します。

サポートされていない USB デバイスが取付けられています。USB デバイスを取外し、サポートされているデバイスを取付けてください。

USB ハブ読み取りエラー。ハブを外してください。

サポートされていない USB ハブが取付けられています。USB ハブを取外し、サポートされているハブを取付けてください。

FAX メモリーフル

操作パネルで[続行]を選択するとメッセージを終了します。確認の **OK** を押します。

FAX 用パーティションが操作不能です。システム管理者に連絡してください

以下のいずれかの方法を行います。

- 操作パネルで[続行]を選択するとメッセージを終了します。確認の  を押します。
- 本機の電源を切ってから、再度入れます。メッセージが再び表示される場合は、システム管理者に問い合わせるか、本機の設定を確認してください。
参照⇒「[本機のファクス機能を設定する](#)」

FAX サーバーの[送信先形式]設定未定です。システム管理者に連絡してください。

以下のいずれかの方法を行います。

- 操作パネルで[続行]を選択するとメッセージを終了します。確認の  を押します。
- ファクス機能のセットアップを完了してください。メッセージが再び表示される場合は、システム管理者に問い合わせてください。

FAX 送信側名称未設定。システム管理者に連絡

以下のいずれかの方法を行います。

- 操作パネルで[続行]を選択するとメッセージを終了します。確認の  を押します。
- [アナログ FAX 設定]を設定してください。メッセージが再び表示される場合は、システム管理者に問い合わせてください。

FAX 送信側番号未設定。システム管理者に連絡

以下のいずれかの方法を行います。

- 操作パネルで[続行]を選択するとメッセージを終了します。確認の  を押します。
- [アナログ FAX 設定]を設定してください。メッセージが再び表示される場合は、システム管理者に問い合わせてください。

イメージングユニット残り僅か [84.xy]

イメージングユニットを準備してください。操作パネルで[続行]を選択するとメッセージを終了して印刷を継続できます。確認の  を押します。

イメージングユニット残りほぼ僅か [84.xy]

操作パネルで[続行]を選択するとメッセージを終了して印刷を継続できます。確認の  を押します。

イメージングユニット残りごく僅か、推定残りページ[x] [84.xy]

イメージングユニットをただちに交換する必要があります。詳しくは、以下の項目をご覧ください。
参照⇒「[イメージングユニットを交換する](#)」

操作パネルで[続行]を選択するとメッセージを終了して印刷を継続できます。確認の  を押します。

誤った用紙サイズ、開く:[給紙源] [34]

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙をトレイまたは多目的フィーダーにセットします。
- 操作パネルで[続行]を選択し、確認の  を押すと、メッセージを終了して別のトレイから給紙します。
- トレイ内の縦横それぞれの用紙ガイドがセットした用紙のサイズに合った正しい位置になっているかどうかを確認します。
- [印刷設定]または[プリント]ダイアログを開いて、用紙サイズと用紙タイプを確認します。
- 操作パネルで[用紙メニュー]の[用紙サイズ]、[用紙タイプ]の設定を確認します。
- 用紙サイズが正しく設定されているか確認します。たとえば、[多目的フィーダーサイズ]が[ユニバーサル]に設定されている場合、印刷するデータに対して用紙のサイズが十分であることを確認してください。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

フラッシュメモリーのデフラグにはメモリー不足です [37]

以下のいずれかの方法を行います。

- 操作パネルで[続行]を選択すると、デフラグを停止し、メッセージを終了して印刷を継続できます。確認の  を押します。
- メモリーに保存されているフォントやマクロなどのデータを削除します。
- メモリーを増設します。

メモリー不足、保持されたジョブは幾つか削除 [37]

現在のジョブを処理するため保持されたジョブ(コンフィデンシャルジョブ、確認ジョブ、予約ジョブおよび繰り返しジョブなど)の一部が削除されました。

操作パネルで[続行]を選択するとメッセージを終了します。確認の **OK** を押します。

メモリ不足、いくつかの保持されたジョブの復元不可 [37]

以下のいずれかの方法を行います。

- 操作パネルで[続行]を選択するとメッセージを終了します。確認の **OK** を押します。
- 空きメモリーを増やすため、他の保持されたジョブも削除します。

丁合印刷にはメモリー不足です [37]

以下のいずれかの方法を行います。

- 操作パネルで[続行]を選択すると、すでに保存されているジョブの一部を印刷した後、残りの部分のジョブを丁合で印刷します。確認の **OK** を押します。
- ジョブをキャンセルします。

リソース保存機能を使うにはメモリー不足です [35]

メモリーを増設するか、印刷を続ける場合は、操作パネルで[続行]を選択し、確認の **OK** を押します。メッセージを終了して印刷を継続できます。リソース保存機能は無効になります。

手差しフィーダーに下記をセット中[カスタム文字列][用紙の向き]

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙を手差しフィーダー(多目的フィーダー)にセットします。
- **OK** を押すとメッセージを終了して印刷を継続します。

メモ:手差しフィーダーに用紙がセットされていない場合に[続行]を選択または **OK** を押すと、他のトレイを自動で選択して印刷を続行します。

- 印刷ジョブをキャンセルします。

多目的フィーダに[カスタムタイプ名][用紙の向き]をセット中

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙を手差しフィーダー(多目的フィーダー)にセットします。

- **OK** を押すとメッセージを終了して印刷を続けます。

メモ: 手差しフィーダーに用紙がセットされていない場合に[続行]を選択または **OK** を押すと、他のトレイを自動で選択して印刷を続行します。

- 印刷ジョブをキャンセルします。

手差しフィーダーに下記をセット中[用紙サイズ][用紙の向き]

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙を手差しフィーダー(多目的フィーダー)にセットします。

- **OK** を押すとメッセージを終了して印刷を続けます。

メモ: 手差しフィーダーに用紙がセットされていない場合に[続行]を選択または **OK** を押すと、他のトレイを自動で選択して印刷を続行します。

- 印刷ジョブをキャンセルします。

MP フィーダに[用紙タイプ][用紙サイズ][用紙の向き]にセットをセット中

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙を手差しフィーダー(多目的フィーダー)にセットします。

- **OK** を押すとメッセージを終了して印刷を続けます。

メモ: 手差しフィーダーに用紙がセットされていない場合に[続行]を選択または **OK** を押すと、他のトレイを自動で選択して印刷を続行します。

- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源名]にセット[カスタム文字列][用紙の向き]

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙をトレイまたは多目的フィーダーにセットします。

- 適切な用紙をセットしたときは、操作パネルで[用紙のセットが完了しました]を選択し、確認の **OK** を押します。

メモ: 適切なサイズおよび種類の用紙がセットされたトレイが見つかると、そのトレイから印刷されます。適切なサイズおよび種類の用紙がセットされたトレイが見つからない場合は、初期設定のトレイから印刷されます。

- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源名]にセット[カスタムタイプ名][用紙の向き]

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙をトレイまたは多目的フィーダーにセットします。
- 適切な用紙をセットしたときは、操作パネルで[用紙のセットが完了しました]を選択し、確認の  を押します。

メモ: 適切なサイズおよび種類の用紙がセットされたトレイが見つかると、そのトレイから印刷されます。適切なサイズおよび種類の用紙がセットされたトレイが見つからない場合は、初期設定のトレイから印刷されます。

- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源名]にセット[用紙サイズ][用紙の向き]

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙をトレイまたは多目的フィーダーにセットします。
- 適切な用紙をセットしたときは、操作パネルで[用紙のセットが完了しました]を選択し、確認の  を押します。

メモ: 適切なサイズおよび種類の用紙がセットされたトレイが見つかると、そのトレイから印刷されます。適切なサイズおよび種類の用紙がセットされたトレイが見つからない場合は、初期設定のトレイから印刷されます。

- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源名]に[用紙タイプ][用紙サイズ][用紙の向き]にセット中

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙をトレイまたは多目的フィーダーにセットします。
- 適切な用紙をセットしたときは、操作パネルで[用紙のセットが完了しました]を選択し、確認の  を押します。

メモ: 適切なサイズおよび種類の用紙がセットされたトレイが見つかると、そのトレイから印刷されます。適切なサイズおよび種類の用紙がセットされたトレイが見つからない場合は、初期設定のトレイから印刷されます。

- 印刷ジョブをキャンセルします。

保守キット残り僅か [80.xy]

保守キットを準備してください。詳しくは、サービス実施店にご相談ください。

操作パネルで[続行]を選択するとメッセージを終了して印刷を継続できます。確認の  を押します。

保守キット残りほぼ僅か [80.xy]

詳しくは、サービス実施店にご相談ください。

操作パネルで[続行]を選択するとメッセージを終了して印刷を継続できます。確認の **OK** を押します。

保守キット残りごく僅か、推定残りページ[x] [80.xy]

保守キットをただちに交換する必要があります。詳しくは、サービス実施店にご相談ください。

操作パネルで[続行]を選択するとメッセージを終了して印刷を継続できます。確認の **OK** を押します。

FAX メモリーフル、FAX を印刷できません

操作パネルで[続行]を選択するとメッセージを終了します。印刷はされません。確認の **OK** を押します。

メモ: 保持されたファクスは、本機の再起動後に印刷が試みられます。

FAX メモリーフル、FAX を送信できません

1. 操作パネルで[続行]を選択するとメッセージを終了します。確認の **OK** を押します。
2. 以下のいずれかの方法を行います。
 - 解像度を落として再送信します。
 - ページ数を少なくして再送信します。

メモリーフル [38]

以下のいずれかの方法を行います。

- 操作パネルで[ジョブをキャンセル]を選択するとメッセージを終了します。確認の **OK** を押します。
- メモリーを増設します。

ネットワーク[x] ソフトウェアエラー [54]

以下のいずれかの方法を行います。

- 操作パネルで[続行]を選択するとメッセージを終了して印刷を継続できます。確認の **OK** を押します。
- 本機の電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。
- 本機またはプリントサーバーのネットワークファームウェアを更新します。

アナログ電話回線がモデムに未接続、FAX 使用不可。

本機をアナログ回線に接続してください。

プリンタメーカー以外の[消耗品タイプ]です。ユーザーガイドを参照してください [33.xy]

メモ: 消耗品タイプは、トナーカートリッジまたはイメージングユニットなどです。

他社製の消耗品または部品が取付けられています。

本機は、純正の消耗品および部品を使用して最適に動作するように設計されています。サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、パフォーマンス、信頼性、本機の寿命およびイメージングコンポーネントに影響する場合があります。

消耗品の寿命センサーは、純正の消耗品および部品を使用して機能するように設計されており、サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、予期せぬ結果になることがあります。想定された寿命を超えてイメージングコンポーネントを使用すると、本機や関連するコンポーネントが損傷する可能性があります。

警告—破損の恐れがあります: サードパーティ製の消耗品や部品の使用は、保証の対象に影響します。サードパーティ製の消耗品や部品の使用による損傷は、保証の対象外となる可能性があります。

これらのリスクをすべてご理解いただいた上で、純正でない消耗品や部品の使用を続行する場合は:

操作パネルで  と  ボタンを同時に 15 秒間押し続けます。メッセージを消去して印刷を続行できます。

リスクを回避していただくには、サードパーティ製の消耗品や部品を本機から取外し、純正の消耗品や部品を取付けてください。

メモ: 消耗品の一覧について詳しくは、以下の項目をご覧ください。

参照⇒[「消耗品の注文について」](#)

フラッシュメモリーの空領域がリソースには不足 [52]

以下のいずれかの方法を行います。

- 操作パネルで[続行]を選択するとメッセージを終了して印刷を継続できます。確認の  を押します。
- メモリーに保存されているフォントやマクロなどのデータを削除します。
- より容量の大きなフラッシュメモリーカードに交換します。

メモ: フラッシュメモリーに保存されていないダウンロード済みのフォントおよびマクロは削除されます。

プリンタは再起動されました。最後のジョブは完了していない可能性があります。

操作パネルで確認の  を押します。

詳しくは、サービス実施店にご相談ください。

なくなっているまたは呼び出ししないカートリッジを取り付けなおしてください [31.xy]

以下のいずれかの方法を行います。

- トナーカートリッジがなくなっていないかを確認します。なくなっている場合は、トナーカートリッジを取付けます。

カートリッジの取付け方法について詳しくは、以下の項目をご覧ください。

参照⇒[「トナーカートリッジを交換する」](#)

- トナーカートリッジが取付けられている場合は、応答しないトナーカートリッジを取外してから、取付けなおします。

メモ: カートリッジの再取付け後にメッセージが表示された場合、そのカートリッジは不良です。新しいトナーカートリッジに交換してください。

なくなっているまたは呼び出ししないイメージングユニットを取り付けなおしてください [31.xy]

以下のいずれかの方法を行います。

- イメージングユニットがなくなっていないかを確認します。なくなっている場合は、イメージングユニットを取付けます。

イメージングユニット取付け方法について詳しくは、以下の項目をご覧ください。

参照⇒[「イメージングユニットを交換する」](#)

- イメージングユニットが取付けられている場合は、応答しないイメージングユニットを取外してから、取付けなおします。

メモ: イメージングユニットの再取付け後にメッセージが表示された場合、そのイメージングユニットは不良です。新しいイメージングユニットに交換してください。

標準排紙トレイから用紙を取除く

標準排紙トレイにためられている用紙を取除きます。取除いたことは自動的に認識され、印刷が再開されます。

用紙を取除いてもメッセージが終了しないときは、**OK** を押してください。

ジョブを再度行う場合はすべての原稿を再度セットしてください

操作パネルで以下のいずれか、または複数の方法を行います。

- スキャンを中止してメッセージを解除するには、**[ジョブをキャンセル]**を選択します。
- 続いて ADF からスキャンをするには、スキャン中の作業が完了した後に、**[ADF からスキャン]**を選択します。

確認の **OK** を押します。

- 続いて原稿ガラスでスキャンをするには、スキャン中の作業が完了した後に、**[原稿台からスキャン]**を選択します。確認の **OK** を押します。
- スキャンを終了するには、スキャン中の作業が完了した後に、**[スキャンを中止してジョブを終了]**を選択します。確認の **OK** を押します。
- 続いて直前と同じ設定でスキャンをするには、**[ジョブを再起動]**を選択します。確認の **OK** を押します。

カートリッジを交換、推定残りページ 0 [88.xy]

カートリッジ交換が必要です。カートリッジを交換するまでメッセージを終了して印刷を再開することができません。交換方法について、詳しくは、以下の項目をご覧ください。

参照⇒[「トナーカートリッジを交換する」](#)

メモ: 交換用のカートリッジがない場合は、以下の項目をご覧ください。

参照⇒[「消耗品の注文について」](#)

カートリッジを交換、プリンタの地域設定が不一致 [42.xy]

地域番号が一致するトナーカートリッジを取付けます。x が本機の世界地域番号を、y がカートリッジの世界地域番号を示します。世界地域番号の一覧は以下の通りです。

世界地域番号一覧

世界地域番号	世界地域
0	全世界
1	米国、カナダ
2	ヨーロッパ経済圏 (EEA)、スイス
3	太平洋アジア地域 (日本)、オーストラリア、ニュージーランド
4	ラテンアメリカ
5	アフリカ、中東、上記以外のヨーロッパ
9	無効

メモ:

- x と y は、エラーコードに含まれる変数を示します。

- 印刷を続けるには、x と y の値が一致する必要があります。

不良イメージングユニットを交換してください [31.xy]

イメージングユニットが不良です。新しいイメージングユニットに交換してください。詳しくは、消耗品に付属のセットアップシートをご覧ください。

メモ: 交換用のイメージングユニットがない場合は、以下の項目をご覧ください。

参照⇒「[消耗品の注文について](#)」

イメージングユニットを交換、推定残りページ 0 [84.xy]

イメージングユニットの交換が必要です。イメージングユニットを交換するまでメッセージを終了して印刷を再開することができません。交換方法について、詳しくは、以下の項目をご覧ください。

参照⇒「[イメージングユニットを交換する](#)」

メモ: 交換用のイメージングユニットがない場合は、以下の項目をご覧ください。

参照⇒「[消耗品の注文について](#)」

ジョブを再度行う場合は、紙詰まりした原稿を再度セットしてください

操作パネルで以下のいずれか、または複数の方法を行います。

- スキャンを中止してメッセージを解除するには、[**ジョブをキャンセル**]を選択します。
- 続いて ADF からスキャンをするには、スキャン中の作業が完了した後に、[**ADF からスキャン**]を選択します。確認の **OK** を押します。
- 続いて原稿ガラスでスキャンをするには、スキャン中の作業が完了した後に、[**原稿台からスキャン**]を選択します。確認の **OK** を押します。
- スキャンを終了するには、スキャン中の作業が完了した後に、[**スキャンを中止してジョブを終了**]を選択します。確認の **OK** を押します。
- 続いて直前と同じ設定でスキャンをするには、[**ジョブを再起動**]を選択します。確認の **OK** を押します。

保守キットを交換、推定残りページ 0[80.xy]

本機のメンテナンスが必要です。サービス実施店にご相談ください。

参照⇒「[サポートとサービスのご案内](#)」

サポートされていないカートリッジを交換[32.xy]

対応しているカートリッジへの交換が必要です。カートリッジを交換するまでメッセージを終了して印刷を再開することができません。交換方法について、詳しくは、以下の項目をご覧ください。

参照⇒「[トナーカートリッジを交換する](#)」

メモ: 交換用のカートリッジがない場合は、以下の項目をご覧ください。

参照⇒「[消耗品の注文について](#)」

サポートされていないイメージングユニットを交換[32.xy]

対応しているイメージングユニットへの交換が必要です。イメージングユニットを交換するまでメッセージを終了して印刷を再開することができません。交換方法について、詳しくは、以下の項目をご覧ください。

参照⇒「[イメージングユニットを交換する](#)」

メモ: 交換用のイメージングユニットがない場合は、以下の項目をご覧ください。

参照⇒「[消耗品の注文について](#)」

スキャナの自動フィーダカバーを開く

ADF のカバーを閉じます。

スキャナは管理者により無効化されています [840.01]

スキャナーを使わない印刷を行うか、システム管理者に問合せてください。

スキャナが無効です。問題が解消しない場合は、システム管理者に連絡してください [840.02]

操作パネルで以下のいずれか、または複数の方法を行います。

- 「**スキャナが無効な状態で続行**」を選択し、確認の **OK** を押します。ホーム画面に戻ります。システム管理者に問合せてください。
- 「**再起動し、スキャナを自動的に有効化**」を選択し、確認の **OK** を押します。スキャンジョブは中止されます。

メモ: スキャナーが有効になるよう設定されます。

スキャナの紙づまり。スキャナから原稿をすべて取り除いてください [2yy.xx]

すべての原稿をスキャナーから取り除いてください。

スキャナの紙詰まり。詰まった原稿をスキャナから取り除きます [2yy.xx]

詰まった原稿をスキャナーから取り除いてください。

SMTP サーバー設定未定です。システム管理者に連絡して下さい。

操作パネルで「**続行**」を選択するとメッセージを終了します。確認の **OK** を押します。

メモ: メッセージが再び表示される場合は、システム管理者に問合せてください。

標準ネットワークソフトウェアエラー [54]

以下のいずれかの方法を行います。

- 操作パネルで[続行]を選択するとメッセージを終了して印刷を継続できます。確認の **OK** を押します。
- 電源を切ってから、再度入れます。
- 本機またはプリントサーバーのネットワークファームウェアを更新します。詳しくは、サービス実施店にご相談ください。

背面の USB ポートが無効です[56]

操作パネルで[続行]を選択するとメッセージを終了します。確認の **OK** を押します。

メモ:

- USB ポートから受信したデータは破棄されます。
- [USBバッファ]の設定を[無効]以外に設定してください。

ジョブを終了するには消耗品が必要

以下のいずれかの方法を行います。

- ジョブを処理するには、取付けられていない消耗品を取付けてください。
- ジョブをキャンセルしてください。

フラッシュオプションが多過ぎます [58]

1. 電源を切ります。
2. コンセントから電源コードを抜きます。
3. 不要なフラッシュメモリーを取外します。
4. 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
5. 電源を入れます。

取り付けられたトレイが多過ぎます [58]

1. 電源を切ります。
2. コンセントから電源コードを抜きます。
3. 不要なトレイを取外します。

4. 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
5. 電源を入れます。

未フォーマットのフラッシュメモリー [53]

以下のいずれかの方法を行います。

- 操作パネルで[続行]を選択すると、デフラグを停止し、メッセージを終了して印刷を継続できます。確認の **OK** を押します。
- フラッシュメモリーをフォーマットします。

メモ: エラーメッセージが表示され続ける場合は、フラッシュメモリーが不良のため、交換が必要な可能性があります。

Weblink サーバー未設定。システム管理者に問い合わせ。

操作パネルで[続行]を選択するとメッセージを終了します。確認の **OK** を押します。

メモ: メッセージが再び表示される場合は、システム管理者に問い合わせてください。

ハードウェアに関する問題を解決する

- [基本的な問題](#)
- [オプションの問題](#)
- [給紙の問題](#)

基本的な問題

本機が応答しない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 本機の電源が入っていることを確認します。 本機の電源は入っていますか？	手順 2 へ進みます。	電源を入れます。

ユーザズガイド

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 2</p> <p>スリープモードまたはハイバネートモードになっていないか確認します。</p> <p>スリープモードまたはハイバネートモードになっていませんか？</p>	<p>操作パネルのスリープボタンを押して、スリープモードまたはハイバネートモードから復帰します。</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>
<p>手順 3</p> <p>電源コードの一方が本機に接続されており、もう一方が正しく接地され正常に動作しているコンセントに接続されていることを確認します。</p> <p>電源コードは本機および正しくアースしたコンセントに接続されていますか？</p>	<p>手順 4 へ進みます。</p>	<p>電源コードの一方を本機に、もう一方を正しく接地され正常に動作しているコンセントに接続します。</p>
<p>手順 4</p> <p>コンセントに接続されている他の電気製品を確認します。</p> <p>他の電気製品は動作していますか？</p>	<p>他の電気製品をコンセントから抜き、本機の電源をオンにします。本機が動作しない場合は、他の電気製品をコンセントに接続しなおします。</p>	<p>手順 5 へ進みます。</p>
<p>手順 5</p> <p>本機とコンピューターをつないでいるケーブルが正しいポートに接続されていることを確認します。</p> <p>ケーブルは正しいポートに差込まれていますか？</p>	<p>手順 6 へ進みます。</p>	<p>以下が一致するようにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ケーブルの USB マークと本機の USB マーク • ポートとそれに対応するイーサネットケーブル
<p>手順 6</p> <p>コンセントがスイッチやブレーカーなどでオフになっていないことを確認します。</p> <p>コンセントがスイッチやブレーカーなどでオフになっていませんか？</p>	<p>スイッチをオンにするか、ブレーカーをリセットします。</p>	<p>手順 7 へ進みます。</p>

ユーザーズガイド

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 7</p> <p>サージプロテクタ、無停電電源装置、または延長コードに接続されていないかどうか確認します。</p> <p>サージプロテクタ、無停電電源装置、または延長コードに接続されていませんか？</p>	<p>本機の電源コードを正しく接地されたコンセントに直接接続します。</p>	<p>手順 8 へ進みます。</p>
<p>手順 8</p> <p>プリンターケーブルの一方が本機のポートに、もう一方がコンピューター、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスに接続されていることを確認します。</p> <p>プリンターケーブルの一方が本機に、もう一方がコンピューター、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスにしっかりと接続されていますか？</p>	<p>手順 9 へ進みます。</p>	<p>プリンターケーブルを本機およびコンピューター、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスにしっかりと接続します。</p>
<p>手順 9</p> <p>すべてのハードウェアオプションが正しく装着され、梱包材がすべて取除かれていることを確認してください。</p> <p>すべてのハードウェアオプションが正しく装着され、梱包材がすべて取除かれていますか？</p>	<p>手順 10 へ進みます。</p>	<p>本機の電源をオフにし、すべての梱包材を取除いてハードウェアオプションを再度装着してから、電源を入れます。</p>
<p>手順 10</p> <p>プリンタードライバーで正しいポート設定が選択されていることを確認します。</p> <p>ポート設定は間違っていますか？</p>	<p>手順 11 へ進みます。</p>	<p>正しいプリンタードライバー設定を使用します。</p>
<p>手順 11</p> <p>インストールされているプリンタードライバーを確認します。</p> <p>正しいプリンタードライバーがインストールされていますか？</p>	<p>手順 12 へ進みます。</p>	<p>正しいプリンタードライバーをインストールします。</p>

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 12</p> <p>本機の電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。</p> <p>本機は動作していますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。</p> <p>参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

操作パネルのディスプレイに何も表示されない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>操作パネルのスリープボタンを押します。</p> <p>ディスプレイに[レディ](準備完了)と表示されていますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>
<p>手順 2</p> <p>本機の電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。</p> <p>しばらくするとディスプレイに[お待ちください]と[レディ]が表示されますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>電源を切り、サービス実施店にご相談ください。</p> <p>参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

オプションの問題

内蔵オプションが検出されない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>本機の電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。</p> <p>内蔵オプションは正しく動作しますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>

ユーザズガイド

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 2</p> <p>内蔵オプションがコントローラーボードに正しく取付けられていることを確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電源スイッチで本機の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。 2. 内蔵オプションがコントローラーボードの適切なコネクタに取付けられていることを確認します。 3. 電源コードを本機に接続し、正しくアースしたコンセントに接続してから、電源をオンにします。 <p>内蔵オプションはコントローラーボードに正しく取付けられていますか？</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>	<p>内蔵オプションをコントローラーボードに正しく取付けます。</p>
<p>手順 3</p> <p>「メニュー設定ページ」を印刷して、ページ下部の装着オプションに内蔵オプションが含まれているか確認します。</p> <p>内蔵オプションは「メニュー設定ページ」に記載されていますか？</p>	<p>手順 4 へ進みます。</p>	<p>内蔵オプションをコントローラーボードに取付けなおします。</p>
<p>手順 4</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 内蔵オプションが選択されているかどうかチェックします。 <p>内蔵オプションを追加でセットアップした場合、印刷ジョブで使用できるようにするために、プリンタードライバーの設定でオプションを手動追加する必要がある場合があります。 参照⇒「プリンタードライバーで利用可能なオプションを更新する」</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 印刷ジョブを再送信します。 <p>内蔵オプションは正しく動作しますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

トレイに関する問題

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>1. トレイを開き、以下の項目を順に確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 紙づまりや給紙ミスがないか確認します。 - トレイ内の縦横それぞれの用紙ガイドがトレイ底の用紙サイズ指示と位置が合っているかどうか確認します。 - ユーザー定義のカスタムサイズの用紙を使用している場合は、用紙ガイドが用紙の端に当たっていることを確認します。 - 用紙が給紙上限マークを超えないようにします。 - 用紙はトレイに平らにセットしてください。 <p>2. トレイが正常に閉じるか確認します。</p> <p>トレイは動作しますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>
<p>手順 2</p> <p>1. 本機の電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>トレイは動作しますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>
<p>手順 3</p> <p>トレイが正しく取付けられているかどうか確認します。</p> <p>「メニュー設定ページ」を印刷して、ページ下部の装着オプションに内蔵オプションが含まれているか確認します。</p> <p>トレイは「メニュー設定ページ」に記載されていますか？</p>	<p>手順 4 へ進みます。</p>	<p>トレイを取付けます。詳しくは、トレイに同梱のセットアップ説明書類をご覧ください。</p>

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 4</p> <p>トレイがプリンタードライバーで使用可能かどうか確認します。</p> <p>メモ:トレイを追加で装着した場合、印刷ジョブで使用できるようにするために、プリンタードライバーの設定でオプションを手動追加する必要がある場合があります。 参照⇒「プリンタードライバーで利用可能なオプションを更新する」</p> <p>トレイはプリンタードライバーで使用可能ですか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

給紙の問題

紙づまりをしたページが再印刷されない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>1. [紙づまり後の処理]を有効にします。</p> <p>a. 操作パネルで、次の順に選択します。</p> <p>[設定]>[一般設定]>[印刷回復]>[紙づまり後の処理]</p> <p>b. [オン]または[自動]を選択します。</p> <p>c.  を押します。</p> <p>2. 印刷されなかったページを再送信します。</p> <p>紙づまりが発生したページが再印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

紙づまりが頻繁に起こる

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>1. トレイを開き、以下の項目を順に確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 用紙はトレイに平らにセットしてください。 - トレイ内の縦横それぞれの用紙ガイドがトレイ底の用紙サイズ指示と位置が合っているかどうか確認します。 - 用紙ガイドが用紙の両端に当たっていることを確認します。 - 用紙が給紙上限マークを超えないようにします。 - 推奨のサイズと種類の用紙に印刷しているかどうかを確認します。 <p>2. トレイを確実にセットします。</p> <p>[紙づまり後の処理]が有効な場合、紙づまりしたページが再度印刷されます。</p> <p>紙づまりがまだ頻繁に発生しますか？</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 2</p> <p>1. 包装から出したばかりの用紙をセットします。</p> <p>メモ:湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>紙づまりがまだ頻繁に発生しますか？</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 3</p> <p>1. 紙づまりを防止するための情報を確認します。 参照⇒「紙づまりを起こさないためには」</p> <p>2. この情報にしたがって用紙をセットし、印刷ジョブを再送信します。</p> <p>紙づまりがまだ頻繁に発生しますか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>問題は解決しました。</p>

紙づまりを取除いた後も紙づまりのメッセージが表示されている

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>1. 操作パネルで、次の順に選択します。</p> <p>- [次へ]>  >つまっているものを取り除き、[OK]を押します> .</p> <p>2. ディスプレイに表示される説明に従います。</p> <p>まだメッセージが表示されますか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>問題は解決しました。</p>

印刷に関する問題を解決する

印刷の問題

異なる文字が印刷される

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>16 進トレースモードになっていないことを確認します。</p> <p>メモ: ディスプレイに 16 進トレースモードのメッセージが表示されるときは、電源を切ってしばらく待ってから再度電源を入れると 16 進トレースモードが終了します。</p> <p>16 進トレースモードになっていますか？</p>	<p>16 進トレースモードを終了します。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>
<p>手順 2</p> <p>1. 操作パネルで[標準ネットワーク]または[ネットワーク x]の各プリンター言語の SmartSwitch 設定を[オン]に設定します。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>異なる文字で印刷されますか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>問題は解決しました。</p>

間違ったトレイから給紙される、間違った用紙で印刷される

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. トレイで使用可能な用紙に印刷していることを確認します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 <p>正しいトレイ、正しい用紙で印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>
<p>手順 2</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 操作パネルで[用紙メニュー]の[用紙サイズ/タイプ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 2. 印刷ジョブを再送信します。 <p>正しいトレイ、正しい用紙で印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>
<p>手順 3</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [印刷設定]または[プリント]ダイアログを開いて(オペレーティングシステムで異なります)、用紙タイプを指定します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 <p>正しいトレイ、正しい用紙で印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 4 へ進みます。</p>
<p>手順 4</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. トレイがリンクされていないことを確認します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 <p>正しいトレイ、正しい用紙で印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

ジョブが大きく丁合印刷されない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>1. 操作パネルで[仕上げメニュー]の[丁合]を[(1,2,3)(1,2,3)]に設定します。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>正しく丁合印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>
<p>手順 2</p> <p>1. プリンタードライバーで[ソート(1 部ごと)]を有効にします。</p> <p>メモ:プリンタードライバーの[ソート(1 部ごと)]の設定は、操作パネルの[仕上げメニュー]の設定より優先されます。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>正しく丁合印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>
<p>手順 3</p> <p>文書が複雑にならないよう、フォント数やフォントサイズ、画像数、画像サイズ、ページ数を減らしてから、印刷ジョブを再送信します。</p> <p>正しく丁合印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

複数言語の PDF ファイルが印刷されない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <ol style="list-style-type: none"> PDF ファイル作成時の印刷オプションで、すべてのフォントを埋め込む設定になっていることを確認します。 新しくフォントを埋め込んだ PDF ファイルを生成し、印刷ジョブを再送信します。詳しくは、Adobe Acrobat の説明書をご覧ください。 <p>ファイルが印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>
<p>手順 2</p> <ol style="list-style-type: none"> 印刷するドキュメントを Adobe Acrobat で開きます。 [ファイル]>[印刷]>[詳細設定]>[画像として印刷]>[OK]>[OK]の順にクリックします。 <p>ファイルが印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

ジョブが印刷できない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <ol style="list-style-type: none"> 印刷する文書を開いたアプリケーションから[印刷]ダイアログボックスを開き、正しいプリンターが選択されているかどうかを確認します。 <p>メモ: [通常使うプリンターに設定]していない場合は、印刷のたびにプリンターを選択する必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 印刷ジョブを再送信します。 <p>ジョブが印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>

ユーザズガイド

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 2</p> <p>1. 本機がコンセントに接続され、電源が入っていて、ディスプレイに[レディ]が表示されているかどうかを確認します</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>ジョブが印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>
<p>手順 3</p> <p>ディスプレイにエラーメッセージが表示されている場合は、メッセージを消去します。</p> <p>メモ: メッセージを終了すると印刷可能になります。</p> <p>ジョブが印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 4 へ進みます。</p>
<p>手順 4</p> <p>1. ポート(USB、イーサネット)が動作しているかどうか、ケーブルがコンピューターと本機にしっかりと接続されているかどうかを確認します。</p> <p>メモ: 詳しくは、本製品に付属の「設定マニュアル」をご覧ください。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>ジョブが印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 5 へ進みます。</p>
<p>手順 5</p> <p>1. 本機の電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>ジョブが印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 6 へ進みます。</p>

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 6</p> <p>1. プリンタードライバーを削除してから、再インストールします。 参照⇒「プリンタードライバーのインストール」</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>ジョブが印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

ジョブの印刷に予想以上の時間がかかる

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>本機の設定を変更します。</p> <p>1. 操作パネルで、次の順に選択します。</p> <p>[設定]>[一般設定]</p> <p>2. [エコモード]や[静音モード]を[オフ]に設定します。</p> <p>メモ:[エコモード]や[静音モード]を無効にすると、消耗品や電力の消費が上がります。</p> <p>速度は改善しましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>
<p>手順 2</p> <p>フォント数やフォントサイズ、画像数、画像サイズ、ページ数を減らしてから、印刷ジョブを再送信します。</p> <p>速度は改善しましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>

ユーザーズガイド

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 3</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. メモリーに保存されている[保持されたジョブ]のジョブを削除します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 <p>速度は改善しましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 4 へ進みます。</p>
<p>手順 4</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [ページ保護]機能を[オフ]にします。 操作パネルで、次の順に選択します。 [設定] > [一般設定] > [印刷回復] > [ページ保護] > [オフ] 2. 印刷ジョブを再送信します。 <p>速度は改善しましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 5 へ進みます。</p>
<p>手順 5</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ケーブルがプリントサーバーと本機にしっかりと接続されているかどうかを確認します。詳しくは、本製品に付属の「設定マニュアル」をご覧ください。 2. 印刷ジョブを再送信します。 <p>ジョブが印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

印刷速度が遅くなる

メモ:

- 幅の狭い用紙を使用して印刷するとき、本機は、フューザーへの損傷を防ぐために低速で印刷します。
- 長時間継続して印刷したり高温で印刷すると印刷速度が低下します。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>1. 用紙サイズがフューザーに適したサイズになっているか確認してください。</p> <p>メモ:A4 サイズが推奨サイズです。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>速度は改善しましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>
<p>手順 2</p> <p>1. フューザーを交換します。詳しくは、消耗品に付属のセットアップシートをご覧ください。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>速度は改善しましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

トレイがリンクしない

メモ:

- 各トレイは用紙長を自動で検知します。
- 多目的フィーダーでは、用紙のサイズが自動で検知されません。[用紙サイズ/タイプ]メニューでトレイごとの用紙サイズと用紙タイプを設定する必要があります。

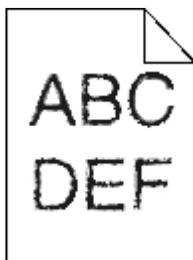
対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>1. トレイを開き、セットされている用紙が同じサイズと種類であることを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 各トレイの用紙ガイドが用紙のサイズに合っていることを確認します。 - トレイ内の縦横それぞれの用紙ガイドがトレイ底の用紙サイズ指示と位置が合っているかどうか確認します。 <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>トレイが正しくリンクされますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>
<p>手順 2</p> <p>1. リンクするトレイそれぞれに同じ用紙をセットし、操作パネルで[用紙メニュー]の各トレイの設定を実際の用紙に合わせます(各トレイとも同じ用紙、同じ設定になります)。</p> <p>メモ:用紙のサイズと種類は、リンクするトレイに実際にセットしている用紙に合わせます。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>トレイが正しくリンクされますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

予期しない改ページが発生する

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>[印刷タイムアウト]の設定を調整します。</p> <p>1. 操作パネルで、次の順に選択します。</p> <p style="padding-left: 20px;">[設定]>[一般設定]>[タイムアウト]>[印刷タイムアウト]</p> <p>2. 長い時間に設定し、 を押します。</p> <p>3. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>正しく印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>
<p>手順 2</p> <p>1. 原稿に余分な改ページがないか確認します。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>正しく印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

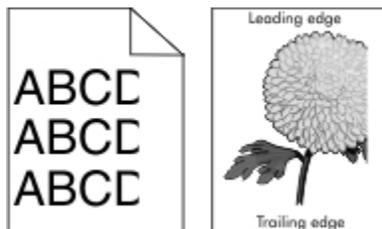
印刷品質の問題

文字がぎざぎざしている



対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>1. フォントのサンプル一覧を印刷して、使用しているフォントが本機に搭載されているかを確認します。</p> <p> a. 操作パネルで、次の順に選択します。</p> <p> [設定]>[レポート]>[フォント一覧印刷]</p> <p> b. [PCL フォント]または[PostScript フォント]を選択します。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>本機に搭載されているフォントを使用していますか？</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>	<p>本機に搭載されているフォントを使用して文書を作成してください。</p>
<p>手順 2</p> <p>コンピューターにインストールされているフォントが本機に搭載されているかを確認します。</p> <p>コンピューターにインストールされているフォントが本機に搭載されていますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。</p> <p>参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

ページやイメージが欠ける



対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>1. トレイ内の縦横それぞれの用紙ガイドをセットした用紙のサイズに合った正しい位置にします。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>ページやイメージが欠けますか？</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 2</p> <p>操作パネルで[用紙メニュー]の[用紙サイズ/タイプ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。</p> <p>[用紙サイズ/タイプ]の設定は実際のトレイにセットしてある用紙と同じですか？</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>	<p>どちらかで対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [用紙サイズ/タイプ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 • セットする用紙を[用紙サイズ/タイプ]の設定に合わせます。
<p>手順 3</p> <p>1. [印刷設定]または[プリント]ダイアログを開いて(オペレーティングシステムで異なります)、用紙サイズを指定します。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>ページやイメージが欠けますか？</p>	<p>手順 4 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 4</p> <p>1. イメージングユニットを取付けなおします。</p> <p> a. トナーカートリッジを取外します。</p> <p> b. イメージングユニットを取外します。</p> <p> 警告—破損の恐れがあります: イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。</p> <p> c. イメージングユニットを取付けてからトナーカートリッジを取付けます。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>ページやイメージが欠けますか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>問題は解決しました。</p>

画像が圧縮された状態で印刷される

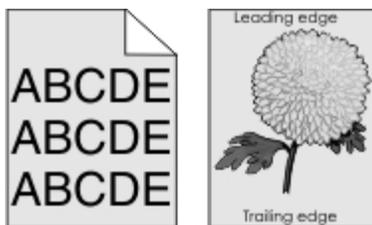
メモ: レターサイズ用の紙に印刷すると、画像を圧縮することがあります。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>1. 用紙サイズがフューザーに適したサイズになっているか確認してください。</p> <p> メモ: A4 サイズが推奨サイズです。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>圧縮画像は改善されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>

ユーザーズガイド

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 2</p> <p>1. フューザーを交換します。詳しくは、消耗品に付属のセットアップシートをご覧ください。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>圧縮画像は改善されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。</p> <p>参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

背景が薄いグレーになる



対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>1. 操作パネルで[印刷品質メニュー]の[トナーの濃さ]を下げます。</p> <p> メモ:出荷時設定は[8]です。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>背景の薄いグレーが印刷されなくなりましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 2</p> <p>イメージングユニットとトナーカートリッジを取付けなおします。</p> <ol style="list-style-type: none"> トナーカートリッジを取外します。 イメージングユニットを取外します。 <p>警告—破損の恐れがあります:イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。</p> <ol style="list-style-type: none"> イメージングユニットを取付けてからトナーカートリッジを取付けます。 印刷ジョブを再送信します。 <p>背景の薄いグレーが印刷されなくなりましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>
<p>手順 3</p> <p>イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。</p> <p>背景の薄いグレーが印刷されなくなりましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

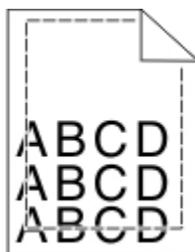
印刷に横方向の空白が現れる



対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <ol style="list-style-type: none"> ソフトウェアで適切な塗りパターンに設定していることを確認します。 印刷ジョブを再送信します。 <p>印刷に横方向の空白が現れますか？</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 2</p> <p>1. トレイまたは多目的フィーダーに推奨用紙をセットします。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>印刷に横方向の空白が現れますか？</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 3</p> <p>1. イメージングユニットのトナーの偏りをなくします。</p> <p>a. トナーカートリッジを外してからイメージングユニットを外します。</p> <p>b. イメージングユニットを振ってトナーの偏りをなくします。</p> <p>警告—破損の恐れがあります: イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。</p> <p>c. イメージングユニットを取付けてからトナーカートリッジを取付けます。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>印刷に横方向の空白が現れますか？</p>	<p>手順 4 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 4</p> <p>イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。</p> <p>印刷に横方向の空白が現れますか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>問題は解決しました。</p>

余白が正しくない



ユーザズガイド

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>1. トレイ内の縦横それぞれの用紙ガイドをセットした用紙のサイズに合った正しい位置にします。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>正しい余白になりましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>
<p>手順 2</p> <p>操作パネルで[用紙メニュー]の[用紙サイズ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。</p> <p>[用紙サイズ]の設定は実際のトレイにセットしてある用紙と同じですか？</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>	<p>どちらかで対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [用紙サイズ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 • セットする用紙を[用紙サイズ]の設定に合わせます。
<p>手順 3</p> <p>1. [印刷設定]または[プリント]ダイアログを開いて(オペレーティングシステムで異なります)、用紙サイズを指定します。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>正しい余白になりましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。</p> <p>参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

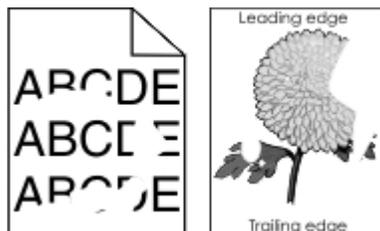
用紙がカールする

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>トレイ内の縦横それぞれの用紙ガイドをセットした用紙のサイズに合った正しい位置にします。</p> <p>縦横それぞれの用紙ガイドは正しい位置ですか？</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>	<p>縦横それぞれの用紙ガイドをセットした用紙のサイズに合った正しい位置にします。</p>

ユーザーズガイド

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 2</p> <p>操作パネルで[用紙メニュー]の[用紙タイプ]と[用紙の重さ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。</p> <p>[用紙タイプ]と[用紙重さ]の設定が実際のトレイにセットしてある用紙と合っていますか？</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>	<p>[用紙タイプ]と[用紙の重さ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。</p>
<p>手順 3</p> <ol style="list-style-type: none"> [印刷設定]または[プリント]ダイアログを開いて(オペレーティングシステムで異なります)、用紙種類を指定します。 印刷ジョブを再送信します。 <p>まだ用紙がカールしますか？</p>	<p>手順 4 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 4</p> <ol style="list-style-type: none"> トレイから用紙を取出し、裏返します。 印刷ジョブを再送信します。 <p>まだ用紙がカールしますか？</p>	<p>手順 5 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 5</p> <ol style="list-style-type: none"> 包装から出したばかりの用紙をセットします。 <p>メモ:湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 印刷ジョブを再送信します。 <p>まだ用紙がカールしますか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>問題は解決しました。</p>

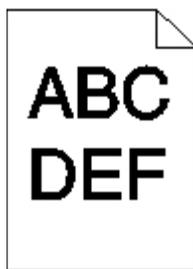
印刷が抜ける部分がある



対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>1. トレイ内の縦横それぞれの用紙ガイドをセットした用紙のサイズに合った正しい位置にします。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>まだ印刷が抜けますか？</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 2</p> <p>操作パネルで[用紙メニュー]の[用紙タイプ]と[用紙の重さ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。</p> <p>セットされている用紙の種類と重さがトレイに設定されていますか？</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>	<p>[用紙タイプ]と[用紙の重さ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。</p>
<p>手順 3</p> <p>1. [印刷設定]または[プリント]ダイアログを開いて(オペレーティングシステムで異なります)、用紙種類を指定します。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>まだ印刷が抜けますか？</p>	<p>手順 4 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 4</p> <p>トレイにセットした用紙の表面が粗いかどうかを確認します。</p> <p>用紙の表面が粗い用紙に印刷していますか？</p>	<p>操作パネルで[用紙メニュー]の[用紙表面粗さ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。</p>	<p>手順 5 へ進みます。</p>

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 5</p> <p>1. 包装から出したばかりの用紙をセットします。</p> <p>メモ:湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>まだ印刷が抜けますか？</p>	<p>手順 6 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 6</p> <p>イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。</p> <p>まだ印刷が抜けますか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>問題は解決しました。</p>

印刷が濃すぎる



対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>1. 操作パネルで[印刷品質メニュー]の[トナーの濃さ]を下げます。</p> <p>メモ:出荷時設定は[8]です。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>まだ印刷が濃いですか？</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

ユーザーズガイド

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 2</p> <p>1. 操作パネルで[用紙メニュー]の[用紙タイプ]、[用紙表面粗さ]および[用紙重さ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>セットされている用紙の種類と表面粗さ、および重さがトレイに設定されていますか？</p>	<p>手順 3 へ進みません。</p>	<p>どちらかで対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [用紙タイプ]、[用紙表面粗さ]および[用紙の重さ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 • セットする用紙を[用紙タイプ]、[用紙表面粗さ]および「用紙重さ」の設定に合わせます。
<p>手順 3</p> <p>1. [印刷設定]または[プリント]ダイアログを開いて(オペレーティングシステムで異なります)、用紙種類を指定します。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>まだ印刷が濃いですか？</p>	<p>手順 4 へ進みません。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 4</p> <p>トレイにセットした用紙の表面が粗いかどうかを確認します。</p> <p>用紙の表面が粗い用紙に印刷していますか？</p>	<p>操作パネルで[用紙メニュー]の[用紙表面粗さ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。</p>	<p>手順 5 へ進みます。</p>
<p>手順 5</p> <p>1. 包装から出したばかりの用紙をセットします。</p> <p>メモ:湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>まだ印刷が濃いですか？</p>	<p>手順 6 へ進みません。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 6</p> <p>イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。</p> <p>まだ印刷が濃いですか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>問題は解決しました。</p>

印刷が薄すぎる

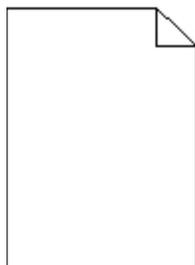


対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>1. 操作パネルで[印刷品質メニュー]の[トナーの濃さ]を上げます。</p> <p> メモ:出荷時設定は[8]です。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>まだ印刷が薄いですか？</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 2</p> <p>操作パネルで[用紙メニュー]の[用紙タイプ]、[用紙表面粗さ]および[用紙重さ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。</p> <p>セットされている用紙の種類と表面粗さ、および重さがトレイに設定されていますか？</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>	<p>どちらかで対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [用紙タイプ]、[用紙表面粗さ]および[用紙の重さ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 • セットする用紙を[用紙タイプ]、[用紙表面粗さ]および「用紙重さ」の設定に合わせます。
<p>手順 3</p> <p>1. [印刷設定]または[プリント]ダイアログを開いて(オペレーティングシステムで異なります)、用紙種類を指定します。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>まだ印刷が薄いですか？</p>	<p>手順 4 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

ユーザーズガイド

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 4</p> <p>トレイにセットした用紙の表面が粗いかどうかを確認します。</p> <p>用紙の表面が粗い用紙に印刷していますか？</p>	<p>操作パネルで[用紙メニュー]の[用紙表面粗さ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。</p>	<p>手順 5 へ進みます。</p>
<p>手順 5</p> <p>1. 包装から出したばかりの用紙をセットします。</p> <p>メモ:湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>まだ印刷が薄いですか？</p>	<p>手順 6 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 6</p> <p>1. イメージングユニットのトナーの偏りをなくします。</p> <p>a. トナーカートリッジを外してからイメージングユニットを外します。</p> <p>b. イメージングユニットを振ってトナーの偏りをなくします。</p> <p>警告—破損の恐れがあります:イメージングユニットを10分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。</p> <p>c. イメージングユニットを取付けてからトナーカートリッジを取付けます。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>まだ印刷が薄いですか？</p>	<p>手順 7 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 7</p> <p>イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。</p> <p>まだ印刷が濃いですか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>問題は解決しました。</p>

何も印刷されない



対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イメージングユニットに梱包材が残っていないことを確認します。 <ol style="list-style-type: none"> a. トナーカートリッジを外してからイメージングユニットを外します。 b. イメージングユニットから適切に梱包材が取外されていることを確認します。 <p>警告—破損の恐れがあります: イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。</p> <ol style="list-style-type: none"> c. イメージングユニットを取付けてからトナーカートリッジを取付けます。 2. 印刷ジョブを再送信します。 <p>まだ何も印刷されませんか？</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 2</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イメージングユニットのトナーの偏りをなくします。 <ol style="list-style-type: none"> a. トナーカートリッジを外してからイメージングユニットを外します。 b. イメージングユニットを振ってトナーの偏りをなくします。 <p>警告—破損の恐れがあります: イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。</p> <ol style="list-style-type: none"> c. イメージングユニットを取付けてからトナーカートリッジを取付けます。 2. 印刷ジョブを再送信します。 <p>まだ何も印刷されませんか？</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

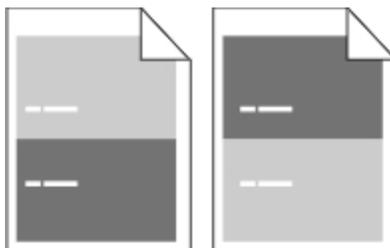
対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 3</p> <p>イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。</p> <p>まだ何も印刷されませんか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。</p> <p>参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>問題は解決しました。</p>

ページが黒く印刷される



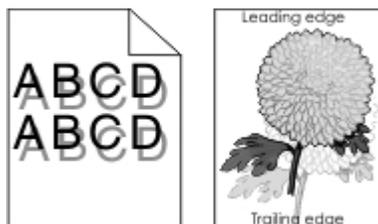
対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>1. イメージングユニットを取付けなおします。</p> <p style="padding-left: 20px;">a. トナーカートリッジを取外してからイメージングユニットを取外します。</p> <p style="padding-left: 40px;">警告—破損の恐れがあります: イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。</p> <p style="padding-left: 20px;">b. イメージングユニットを取付けてからトナーカートリッジを取付けます。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>ページが黒く印刷されますか？</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 2</p> <p>イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。</p> <p>ページが黒く印刷されますか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。</p> <p>参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>問題は解決しました。</p>

印刷不良が繰り返し現れる



対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>印刷不良の間隔を計測します。</p> <p>印刷不良の間隔が次の値に一致するかどうかを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 97mm - 47mm - 38mm <p>一覧の中に該当する印刷不良の間隔がありますか？</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 印刷不良の間隔が 80mm かどうかを確認します。 2. 間隔を記録して、サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」
<p>手順 2</p> <p>イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。</p> <p>まだ印刷不良が現れますか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>問題は解決しました。</p>

ページに影が印刷される



対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>正しい種類と重さの用紙をトレイにセットします。</p> <p>正しい種類と重さの用紙がトレイにセットされていますか？</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>	<p>正しい種類と重さの用紙をトレイにセットします。</p>
<p>手順 2</p> <p>操作パネルで[用紙メニュー]の[用紙タイプ]と[用紙の重さ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。</p> <p>セットされている用紙の種類と重さがトレイに設定されていますか？</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>	<p>[用紙メニュー]の[用紙タイプ]と[用紙の重さ]で設定した用紙に対応するように用紙を交換します。</p>
<p>手順 3</p> <ol style="list-style-type: none"> [印刷設定]または[プリント]ダイアログを開いて(オペレーティングシステムで異なります)、用紙種類を指定します。 印刷ジョブを再送信します。 <p>まだページに影が印刷されますか？</p>	<p>手順 4 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 4</p> <p>イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。</p> <p>まだページに影が印刷されますか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>問題は解決しました。</p>

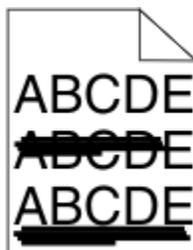
印刷が傾く



ユーザズガイド

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. トレイ内の縦横それぞれの用紙ガイドをセットした用紙のサイズに合った正しい位置にします。 2. 印刷ジョブを再送信します。 <p>まだ印刷が傾いていますか？</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 2</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. トレイで使用可能な用紙に印刷していることを確認します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 <p>まだ印刷が傾いていますか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>問題は解決しました。</p>

ページに横線が現れる

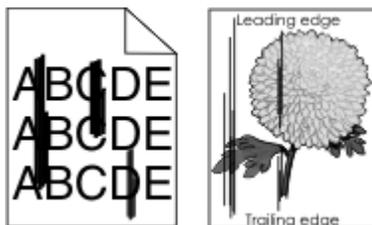


対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [印刷設定]または[プリント]ダイアログを開いて(オペレーティングシステムで異なります)、トレイや多目的フィーダーを指定します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 <p>ページに横線が現れますか？</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

ユーザーズガイド

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 2</p> <p>操作パネルで[用紙メニュー]の[用紙タイプ]と[用紙の重さ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。</p> <p>セットされている用紙の種類と重さがトレイに設定されていますか？</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>	<p>[用紙タイプ]と[用紙の重さ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。</p>
<p>手順 3</p> <p>1. 包装から出したばかりの用紙をセットします。</p> <p>メモ:湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>ページに横線が現れますか？</p>	<p>手順 4 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 4</p> <p>1. イメージングユニットを取付けなおします。</p> <p>a. トナーカートリッジを外してからイメージングユニットを外します。</p> <p>警告—破損の恐れがあります:イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。</p> <p>b. イメージングユニットを取付けてからトナーカートリッジを取付けます。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>ページに横線が現れますか？</p>	<p>手順 5 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 5</p> <p>イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。</p> <p>ページに横線が現れますか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>問題は解決しました。</p>

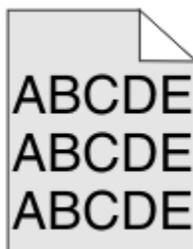
ページに縦線が現れる



対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>1. [印刷設定]または[プリント]ダイアログを開いて(オペレーティングシステムで異なります)、用紙種類を指定します。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>ページに縦線が現れますか？</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 2</p> <p>操作パネルで[用紙メニュー]の[用紙タイプ]、[用紙表面粗さ]および[用紙の重さ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。</p> <p>セットされている用紙の種類と表面粗さ、および重さがトレイに設定されていますか？</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>	<p>どちらかで対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [用紙タイプ]、[用紙表面粗さ]および[用紙の重さ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 • セットする用紙を[用紙タイプ]、[用紙表面粗さ]および「用紙重さ」の設定に合わせます。
<p>手順 3</p> <p>1. 包装から出したばかりの用紙をセットします。</p> <p>メモ:湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>ページに縦線が現れますか？</p>	<p>手順 4 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 4</p> <p>1. イメージングユニットを取付けなおします。</p> <p>a. トナーカートリッジを取外してからイメージングユニットを取外します。</p> <p>警告—破損の恐れがあります: イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。</p> <p>b. イメージングユニットを取付けてからトナーカートリッジを取付けます。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>ページに縦線が現れますか？</p>	<p>手順 5 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 5</p> <p>イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。</p> <p>ページに縦線が現れますか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>問題は解決しました。</p>

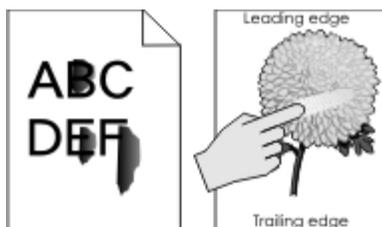
印刷にトナーにじみまたは背景の影が現れる



ユーザーズガイド

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>イメージングユニットを取付けなおします。</p> <p>1. イメージングユニットを一旦取外し、また取付けます。</p> <p style="text-align: center;">警告—破損の恐れがあります:イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>印刷ににじみや影が現れますか？</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 2</p> <p>イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。</p> <p>印刷ににじみや影が現れますか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>問題は解決しました。</p>

トナーがはがれやすい



対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>操作パネルで[用紙メニュー]の[用紙タイプ]および[用紙の重さ]の設定を確認します。</p> <p>セットされている用紙の種類および表面粗さがトレイに設定されていますか？</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>	<p>[用紙タイプ]および[用紙の重さ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。</p>

ユーザーズガイド

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 2</p> <p>トレイにセットした用紙の表面が粗いかどうかを確認します。</p> <p>用紙の表面が粗い用紙に印刷していますか？</p>	<p>操作パネルで[用紙メニュー]の[用紙表面粗さ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。</p> <p>参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

印刷にトナーのしみが現れる

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。</p> <p>印刷にトナーのしみが現れますか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。</p> <p>参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>問題は解決しました。</p>

OHP フィルムの印刷品質が悪い

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>操作パネルで[用紙メニュー]の[用紙タイプ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。</p> <p>使用するトレイの[用紙タイプ]が[OHPフィルム]に設定されていますか？</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>	<p>トレイの[用紙タイプ]を[OHPフィルム]に設定します。</p>
<p>手順 2</p> <p>1. 推奨されている OHP フィルムを使用しているかどうかを確認します。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>まだ印刷品質に問題がありますか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。</p> <p>参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>問題は解決しました。</p>

印刷濃度が一定でない



対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 印刷濃度が一定ではありませんか？	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「 サポートとサービスのご案内 」	問題は解決しました。

印刷に縦方向の空白が現れる



対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 1. ソフトウェアで適切な塗りパターンに設定していることを確認します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 印刷に縦方向の空白が現れますか？	手順 2 へ進みます。	問題は解決しました。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 2</p> <p>1. 操作パネルで[用紙メニュー]の[用紙タイプ]および[用紙の重さ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>印刷に縦方向の空白が現れますか？</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 3</p> <p>推奨用紙を使用しているかどうかを確認します。</p> <p>1. トレイまたは多目的フィーダーに推奨用紙をセットします。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>印刷に縦方向の空白が現れますか？</p>	<p>手順 4 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 4</p> <p>1. イメージングユニットのトナーの偏りをなくします。</p> <p>a. トナーカートリッジを外してからイメージングユニットを外します。</p> <p>b. イメージングユニットを振ってトナーの偏りをなくします。</p> <p>警告—破損の恐れがあります: イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。</p> <p>c. イメージングユニットを取付けてからトナーカートリッジを取付けます。</p> <p>2. 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>印刷に縦方向の空白が現れますか？</p>	<p>手順 5 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 5</p> <p>イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。</p> <p>印刷に縦方向の空白が現れますか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>問題は解決しました。</p>

コピーに関する問題を解決する

- [コピーが応答しない](#)
- [スキャナーユニットが開いている](#)
- [コピー品質が悪い](#)
- [原稿や写真の一部分しかコピーされない](#)

コピーが応答しない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>ディスプレイにエラーメッセージが表示されているかどうかを確認します。</p> <p>メッセージが表示されていますか？</p>	<p>表示されているメッセージを確認してエラーを解除します。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>
<p>手順 2</p> <p>電源コードの一方が本機に接続されており、もう一方が正しく接地され正常に動作しているコンセントに接続されていることを確認します。</p> <p>電源コードは本機および正しくアースしたコンセントに接続されていますか？</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>	<p>電源コードの一方を本機に、もう一方を正しく接地され正常に動作しているコンセントに接続します。</p>
<p>手順 3</p> <p>本機の電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。</p> <p>[自己診断を実行中]と[レディ](準備完了)が表示されていましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

スキャナーユニットが開いている

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>スキャナー部とプリンター部の間に障害物がないかどうかを確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> スキャナー部を持上げます。 スキャナー部を開いたまま、障害物を取除きます。 スキャナー部を下します。 <p>スキャナー部が確実に閉じられていますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

コピー品質が悪い

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>ディスプレイにエラーメッセージが表示されているかどうかを確認します。</p> <p>メッセージが表示されていますか？</p>	<p>表示されているメッセージを確認してエラーを解除します。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>
<p>手順 2</p> <p>原稿の状態を確認します。</p> <p>原稿の品質は問題ありませんか？</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>	<p>スキャンの解像度の設定を高解像度にします。</p>
<p>手順 3</p> <p>暗い点や線がコピーされた場合は、原稿ガラスと ADF ガラスを柔らかく、糸くずの出ない布を水で湿らせて清掃します。</p> <p>原稿ガラスはきれいですか？</p>	<p>手順 4 へ進みます。</p>	<p>清掃してください。 参照⇒「原稿ガラスを清掃する」</p>

ユーザーズガイド

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 4</p> <p>印刷ジョブを送って、印刷品質を確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> [一般設定]メニューで[エコモード]の状態を設定します。 [コピー設定]メニューで[濃さ]の設定を調整します。 印刷が薄くなっている場合は、トナーカートリッジを交換してください。 <p>印刷の品質は問題ありませんか？</p>	<p>手順 5 へ進みます。</p>	<p>印刷品質の問題を解決してください。</p> <p>参照⇒「印刷品質の問題」</p>
<p>手順 5</p> <p>原稿や写真の置き方を確認してください。</p> <p>原稿や写真は、下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。</p> <p>原稿や写真は正しくセットされていますか？</p>	<p>手順 6 へ進みます。</p>	<p>原稿や写真は、下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。</p>
<p>手順 6</p> <p>コピーの設定を確認します。</p> <p>コピー画面で[原稿タイプ]と[内容のソース]の設定がスキャンする原稿の状態に合っているかを確認します。</p> <p>[原稿タイプ]と[内容のソース]の設定がスキャンする原稿の状態に合っていますか？</p>	<p>手順 7 へ進みます。</p>	<p>[原稿タイプ]と[内容のソース]の設定をスキャンする原稿の状態に合わせて変更してください。</p>
<p>手順 7</p> <p>特定のパターンが印刷される場合は次の項目を確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 操作パネルで、次の順に選択します。 <p>[コピー設定]>[シャープネス]> 小さい数値に設定</p> <p>メモ: 拡大/縮小は設定しないでください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 再度コピーをします。 <p>まだ特定のパターンが印刷されますか？</p>	<p>手順 8 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

ユーザーズガイド

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 8</p> <p>印刷にかすれや薄い部分がある場合は次の項目を確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 操作パネルで、以下の項目を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> [シャープネス]—大きい数値に設定 [コントラスト]—大きい数値に設定 再度コピーをします。 <p>まだ印刷にかすれや薄い部分がありますか？</p>	<p>手順 9 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 9</p> <p>色が薄い、または背景の模様が印刷されています場合は次の項目を確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 操作パネルで、以下の項目を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> [背景削除]—現在より少なくする [濃さ]—現在より大きくする 再度コピーをします。 <p>まだ色が薄い、または背景の模様が印刷されてしまいますか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>問題は解決しました。</p>

原稿や写真の一部分しかコピーされない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>原稿や写真の置き方を確認してください。</p> <p style="padding-left: 40px;">原稿や写真は、下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。</p> <p>原稿や写真は正しくセットされていますか？</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>	<p>原稿や写真は、下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。</p>

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 2</p> <p>用紙サイズの設定がトレイにセットしてある用紙と合っているかどうかを確認します。</p> <p>操作パネルで[用紙メニュー]の[用紙サイズ/タイプ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。</p> <p>用紙サイズの設定がトレイにセットしてある用紙と合っていますか？</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>	<p>どちらかで対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [用紙サイズ/タイプ]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 • セットする用紙を[用紙サイズ/タイプ]の設定に合わせます。
<p>手順 3</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 印刷ジョブの場合は、[印刷設定]または[プリント]ダイアログを開いて(オペレーティングシステムで異なります)、用紙サイズを指定します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 <p>正しく印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

ファクスに関する問題を解決する

- [ファクス機能のセットアップが完了していない](#)
- [Caller ID\(発信者 ID\)が表示されない](#)
- [ファクスが送受信できない](#)
- [送信はできるが受信ができない](#)
- [受信はできるが送信ができない](#)
- [受信したファクスの画像品質が悪い](#)

ファクス機能のセットアップが完了していない

ファクス用の電話線が接続されている場合は、ネットワークプリンターの設定をする前に、ファクス機能のセットアップを確認してください。

メモ:ファクス機能がセットアップされるまでインジケータが赤色に点滅します。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>1. 操作パネルで、次の順に選択します。</p> <p> > [設定] >  > [一般設定] >  > [初期設定の実行] >  > </p> <p>2. 本機の電源を切ってから、再度入れます。</p> <p>操作パネルのディスプレイに[言語を選択]が表示されます。</p> <p>3. 言語を選択し、 を押します。</p> <p>4. 国または地域を選択し、 を押します。</p> <p>5. タイムゾーンを選択し、 を押します。</p> <p>6. ▲▼ボタンで[FAX]を選択し、 を押します。</p> <p>ファクス機能がセットアップされましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

Caller ID(発信者 ID)が表示されない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>お使いの電話回線が発信者 ID サービスに加入しているかどうか電話会社に確認してください。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の発信者 ID のタイプがある場合は、設定を変更する必要があります。対応する FSK(パターン 1)、DTMF(パターン 2)に合わせて設定してください。 発信者 ID のタイプは出荷時の設定によっては選択できません。 お使いの回線の発信者 ID のタイプが何であるかは電話会社に確認してください。 <p>Caller ID は表示されますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

ファクスが送受信できない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>ディスプレイにエラーメッセージが表示されているかどうかを確認します。</p> <p>メッセージが表示されていますか？</p>	<p>表示されているメッセージを確認してエラーを解除します。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>
<p>手順 2</p> <p>電源コードの一方が本機に接続されており、もう一方が正しく接地され正常に動作しているコンセントに接続されていることを確認します。</p> <p>電源コードは本機および正しくアースしたコンセントに接続されていますか？</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>	<p>電源コードの一方を本機に、もう一方を正しく接地され正常に動作しているコンセントに接続します。</p>
<p>手順 3</p> <p>電源を確認します。</p> <p>本機がコンセントに接続されていることを確認し、電源を入れます。ディスプレイに[レディ]が表示されるかどうか確認してください。</p> <p>電源が投入され、ディスプレイに[レディ]が表示されますか？</p>	<p>手順 4 へ進みます。</p>	<p>電源が投入され、ディスプレイに[レディ]が表示されるまで待ちます。</p>
<p>手順 4</p> <p>接続を確認します。</p> <p>次の機器を接続している場合は、それぞれに電話線が確実に接続されているかどうかを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 外付け電話機 - ハンドセット - 留守番電話機 <p>電話線が確実に接続されていますか？</p>	<p>手順 5 へ進みます。</p>	<p>電話線を確実に接続します。</p>

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 5</p> <p>1. 壁面などにあるアナログ電話ジャックを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 壁面などにあるアナログ電話ジャックに電話線で電話機などを接続してください。 b. ダイヤルトーンが聞こえるかどうかを確認します。 c. ダイヤルトーンが聞こえない場合は、別の電話線を使ってアナログ電話ジャックに接続します。 d. まだダイヤルトーンが聞こえない場合は、電話線を別のアナログ電話ジャックに接続します。 e. ダイヤルトーンが確認できたら本機とアナログ電話ジャックを接続します。 <p>2. 再度ファクスの送受信を行います。</p> <p>ファクスの送受信ができますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 6 へ進みます。</p>
<p>手順 6</p> <p>アナログ電話サービス、または正しいデジタルコネクタに接続されているかどうかを確認します。</p> <p>本機の内蔵ファクスモデムはアナログ回線対応機器です。デジタル回線サービスの場合は、本機を接続するためにアダプターなどの機器が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> - ISDN 回線サービスを使用している場合は、ISDN ターミナルアダプターのアナログ電話ポート(R インターフェースポート)に本機を接続します。詳しくは、電話会社に確認してください。 - DSL サービスを使用している場合は、DSL フィルターやアナログ変換用のルーターに接続します。詳しくは、接続プロバイダーに確認してください。 - PBX 電話サービスを使用している場合は、PBX のアナログ接続用コネクタに接続していることを確認してください。アナログ接続用コネクタが存在しない場合は、ファクス専用のアナログ電話回線を設置することを検討してください。 <p>本機がアナログ電話サービス、または正しいデジタルコネクタに接続されていますか？</p>	<p>手順 7 へ進みます。</p>	<p>本機をアナログ電話サービス、または正しいデジタルコネクタに接続します。</p>

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 7</p> <p>ダイヤルトーンを確認します。</p> <p>ダイヤルトーンが聞こえますか？</p>	<p>手順 8 へ進みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 電話回線が正常に動作しているか確認するために、ファクス番号に電話をかけてみてください。 • 電話回線が別の機器で使用されている場合は、他の機器が使い終わるまで待ってからファクスを送信します。 • オンフックダイヤルを使用できる場合は、音量を大きくしてダイヤルトーンが聞こえるかどうかを確認します。
<p>手順 8</p> <p>本機と電話回線の間には他の機器（留守番電話機やモデム付きのコンピューター、または電話回線スプリッタ）が接続されている場合は、一時的に切断した状態でファクスを送受信してみてください。</p> <p>ファクスの送受信ができますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 9 へ進みます。</p>
<p>手順 9</p> <p>1. コールウェイティング機能（通話中に他の着信に応答する機能）を利用している場合は、一時的に無効にします。一時的にコールウェイティングを無効にするための操作について詳しくは、電話会社にお問合わせください。</p> <p>2. 再度ファクスの送受信を行います。</p> <p>ファクスの送受信ができますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 10 へ進みます。</p>

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 10</p> <p>1. ボイスメールサービスを利用している場合は、一時的に無効にします。詳しくは、電話会社にお問合わせください。</p> <p>メモ:ボイスメールサービスを利用する場合は、別途ファクス用のアナログ電話回線を設置することを検討してください。</p> <p>2. 再度ファクスの送受信を行います。</p> <p>ファクスの送受信ができますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 11 へ進みます。</p>
<p>手順 11</p> <p>原稿を 1 ページのみにしてスキャンしてみます。</p> <p>1. ファクス番号をダイヤルします。</p> <p>2. 1 ページのみの原稿をスキャンします。</p> <p>ファクスの送受信ができますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

送信はできるが受信ができない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>トレイや多目的フィーダーを確認します。</p> <p>用紙がセットされていないときは、トレイや多目的フィーダーに用紙をセットします。</p> <p>ファクスが受信できますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 2</p> <p>応答するまでの呼出し回数を確認します。</p> <p>1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> - 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。 - プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。 <p>2. [設定]>[FAX 設定]>[アナログ FAX 設定]の順にクリックします。</p> <p>3. [呼び出し回数]フィールドに本機が受信応答するまでの呼出し回数を入力します。</p> <p>4. [送信]をクリックします。</p> <p>ファクスが受信できますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>
<p>手順 3</p> <p>トナーカートリッジを交換します。詳しくは、消耗品に付属のセットアップシートをご覧ください。</p> <p>ファクスが受信できますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

受信はできるが送信ができない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>ファクスモードになっているかどうかを確認します。</p> <p>操作パネルでファクスボタンを押してファクスモードにします。再度ファクスを送信します。</p> <p>ファクスが送信できますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>

ユーザーズガイド

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 2</p> <p>1. ADF の場合は、原稿を上向きにし、短辺を奥に向けて ADF トレイにセットします。原稿ガラスの場合は、原稿を下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> - ADF トレイで、ハガキや写真、小サイズの原稿、OHP フィルム、写真専用紙、薄い原稿(雑誌の切抜きなど)を読込まないでください。これらの原稿は原稿ガラスを使用してください。 - 原稿が正しくセットされると、ADF インジケータが点灯します。 <p>2. 再度ファクスを送信します。</p> <p>ファクスが送信できますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>
<p>手順 3</p> <p>1. FAX ショートカット番号が正しい宛先の番号に設定されているかどうかを確認します。</p> <p>メモ:あるいは手で電話番号をダイヤルすることもできます。</p> <p>2. 再度ファクスを送信します。</p> <p>ファクスが送信できますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

受信したファクスの画像品質が悪い

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>ファクスの送信者に確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原稿の品質に問題がないかを確認します。 2. 可能であればファクスの読取り解像度を高めます。 3. ファクスを再送信してもらいます。電話回線の品質に問題があった可能性があります。 <p>受信ファクスの出力は問題のない品質になりましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>
<p>手順 2</p> <p>ファクス送信の通信速度を落とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力します。 <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> - 本機の IP アドレスは、[ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。 - プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。 <ol style="list-style-type: none"> 2. [設定]>[FAX 設定]>[アナログ FAX 設定]の順にクリックします。 3. [最高速度]フィールドで通信速度を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> - 2400 - 4800 - 9600 - 14400 - 33600 4. [送信]をクリックします。 5. ファクスを再送信してもらいます。 <p>受信ファクスの出力は問題のない品質になりましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 3</p> <p>トナーカートリッジを交換します。</p> <p>[カートリッジ残り僅か [88.xy]]が表示されている場合は、トナーカートリッジを交換してからファクスを再送信してもらいます。</p> <p>受信ファクスの出力は問題のない品質になりましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

スキャナーに関する問題を解決する

- [スキャナーが応答しない](#)
- [スキャンジョブが成功しない](#)
- [スキャナーユニットが開いている](#)
- [スキャンに時間がかかりすぎる、またはコンピューターがフリーズする](#)
- [スキャンした画像品質が悪い](#)
- [原稿や写真の一部分しかスキャンされない](#)

スキャナーが応答しない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>本機の電源が入っていることを確認します。</p> <p>本機の電源は入っていますか？</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>	<p>電源を入れます。</p>
<p>手順 2</p> <p>プリンターケーブルの一方が本機のポートに、もう一方がコンピューター、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスに接続されていることを確認します。</p> <p>プリンターケーブルの一方が本機に、もう一方がコンピューター、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスにしっかりと接続されていますか？</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>	<p>プリンターケーブルを本機およびコンピューター、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスにしっかりと接続します。</p>

ユーザズガイド

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 3</p> <p>電源コードの一方が本機に接続されており、もう一方が正しく接地され正常に動作しているコンセントに接続されていることを確認します。</p> <p>電源コードは本機および正しくアースしたコンセントに接続されていますか？</p>	<p>手順 4 へ進みます。</p>	<p>電源コードの一方を本機に、もう一方を正しく接地され正常に動作しているコンセントに接続します。</p>
<p>手順 4</p> <p>コンセントがスイッチやブレーカーなどでオフになっていないことを確認します。</p> <p>コンセントがスイッチやブレーカーなどでオフになっていませんか？</p>	<p>スイッチをオンにするか、ブレーカーをリセットします。</p>	<p>手順 5 へ進みます。</p>
<p>手順 5</p> <p>サージプロテクタ、無停電電源装置、または延長コードに接続されていないかどうか確認します。</p> <p>サージプロテクタ、無停電電源装置、または延長コードに接続されていませんか？</p>	<p>本機の電源コードを正しく接地されたコンセントに直接接続します。</p>	<p>手順 6 へ進みます。</p>
<p>手順 6</p> <p>コンセントに接続されている他の電気製品を確認します。</p> <p>他の電気製品は動作していますか？</p>	<p>他の電気製品をコンセントから抜き、本機の電源をオンにします。本機が動作しない場合は、他の電気製品をコンセントに接続しなおして、手順 6 を再確認します。</p>	<p>手順 7 へ進みます。</p>
<p>手順 7</p> <p>本機の電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。</p> <p>本機は動作していますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

スキャンジョブが成功しない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>ケーブルの接続を確認します。</p> <p>イーサネットまたは USB ケーブルがコンピューターと本機にしっかりと接続されているかどうかを確認します。</p> <p>ケーブルが確実に接続されていますか？</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>	<p>ケーブルを確実に接続します</p>
<p>手順 2</p> <p>ファイル名がすでに使用されている名前でないか確認します。</p> <p>ファイル名はすでに使用されている名前ではないですか？</p>	<p>ファイル名を変更します。</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>
<p>手順 3</p> <p>スキャンした文書や写真が他のアプリケーションで開いていないか、別のユーザーによって使用されていないかを確認します。</p> <p>スキャンした文書や写真が他のアプリケーションや別のユーザーによって開かれていませんか？</p>	<p>スキャンしたファイルを閉じます。</p>	<p>手順 4 へ進みます。</p>
<p>手順 4</p> <p>スキャンの宛先を設定する機能でタイムスタンプを付加したり、既存のファイルを上書きする機能を有効にしているかどうか確認してください。</p> <p>宛先を設定する機能でタイムスタンプを付加したり、既存のファイルを上書きする機能を有効にしていますか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスののご案内」</p>	<p>宛先を設定する機能でタイムスタンプを付加したり、既存のファイルを上書きする機能を有効にしてください。</p>

スキャナーユニットが開いている

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>スキャナー部とプリンター部の間に障害物がないかどうかを確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> スキャナー部を持上げます。 スキャナー部を開いたまま、障害物を取除きます。 スキャナー部を下します。 <p>スキャナー部が確実に閉じられていますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

スキャンに時間がかかりすぎる、またはコンピューターがフリーズする

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>他のアプリケーションが、スキャン作業に影響していないかどうか確認します。</p> <p>使用していないすべてのアプリケーションを終了します。</p> <p>まだスキャンに時間がかかりすぎる、またはコンピューターがフリーズしますか？</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 2</p> <p>低解像度の設定でスキャンしてください。</p> <p>まだスキャンに時間がかかりすぎる、またはコンピューターがフリーズしますか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>問題は解決しました。</p>

スキャンした画像品質が悪い

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <p>ディスプレイにエラーメッセージが表示されているかどうかを確認します。</p> <p>メッセージが表示されていますか？</p>	<p>表示されているメッセージを確認してエラーを解除します。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>
<p>手順 2</p> <p>原稿の状態を確認します。</p> <p>原稿の品質は問題ありませんか？</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>	<p>スキャンの解像度の設定を高解像度にします。</p>
<p>手順 3</p> <p>暗い点や線がコピーされた場合は、原稿ガラスと ADF ガラスを柔らかく、糸くずの出ない布を水で湿らせて清掃します。</p> <p>原稿ガラスはきれいですか？</p>	<p>手順 4 へ進みます。</p>	<p>清掃してください。 参照⇒「原稿ガラスを清掃する」</p>
<p>手順 4</p> <p>原稿や写真の置き方を確認してください。</p> <p>原稿や写真は、下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。</p> <p>原稿や写真は正しくセットされていますか？</p>	<p>手順 5 へ進みます。</p>	<p>原稿や写真は、下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。</p>

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 5</p> <p>印刷ジョブを送って、印刷品質を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [一般設定]メニューで[エコモード]の状態を設定します。 • [コピー設定]、[Eメール設定]、または[FTP設定]メニューで[濃さ]の設定を調整します。 • 印刷が薄くなっている場合は、トナーカートリッジを交換してください。 <p>スキャンの品質は問題ありませんか？</p>	<p>手順 6 へ進みます。</p>	<p>印刷品質の問題を解決してください。 参照⇒「印刷品質の問題」</p>
<p>手順 6</p> <p>スキャンの設定を確認します。</p> <p>スキャン画面で[原稿タイプ]と[内容のソース]の設定がスキャンする原稿の状態に合っているかを確認します。</p> <p>[原稿タイプ]と[内容のソース]の設定がスキャンする原稿の状態に合っていますか？</p>	<p>手順 7 へ進みます。</p>	<p>[原稿タイプ]と[内容のソース]の設定をスキャンする原稿の状態に合わせて変更してください。</p>
<p>手順 7</p> <p>スキャンの解像度の設定を高解像度にします。</p> <p>スキャンの解像度の設定を高解像度にしましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>

原稿や写真の一部分しかスキャンされない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>原稿や写真の置き方を確認してください。</p> <p>原稿や写真は、下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。</p> <p>原稿や写真は正しくセットされていますか？</p>	<p>サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「サポートとサービスのご案内」</p>	<p>原稿や写真は、下向きにし、端を原稿ガラスの左奥に合わせてセットします。</p>

内蔵 Web サーバー機能の画面が開かない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 1</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本機の電源を入れます。 2. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力します。 3. [Enter]キーを押します。 <p>内蔵 Web サーバーのページが開きますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 2 へ進みます。</p>
<p>手順 2</p> <p>本機のIPアドレスが正しいことを確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本機のIPアドレスを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> - [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]の項目で確認する - 「ネットワーク設定ページ」または「メニュー設定ページ」を印刷し、[TCP/IP]の項目で確認する <p>メモ: IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。</p> 2. ブラウザーを起動し、アドレスフィールドに本機のIPアドレスを入力します。 <p>メモ: 内蔵 Web サーバー機能にアクセスするには、ネットワーク設定に応じて、IP アドレスの前に「http://」ではなく「https://」と入力する必要があります。</p> 3. [Enter]キーを押します。 <p>内蔵 Web サーバーのページが開きますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 3 へ進みます。</p>

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
<p>手順 3</p> <p>ネットワークが動作していることを確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「ネットワーク設定ページ」を印刷します。 「ネットワーク設定ページ」の最初の項目で状態が「接続中」であるかどうかを確認します。 <p>メモ: 状態が[接続なし]の場合は、接続が一時的に切断されているか、ネットワークケーブルに問題がある可能性があります。解決方法をシステム管理者に問い合わせしてから、再度「ネットワーク設定ページ」を印刷します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ブラウザを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力します。 [Enter]キーを押します。 <p>内蔵 Web サーバーのページが開きますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 4 へ進みます。</p>
<p>手順 4</p> <p>ケーブルが本機とプリントサーバーやネットワークにしっかりと接続されているかどうかを確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ケーブルを正しく接続します。詳しくは、本製品に付属の「設定マニュアル」をご覧ください。 ブラウザを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力します。 [Enter]キーを押します。 <p>内蔵 Web サーバーのページが開きますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 5 へ進みます。</p>
<p>手順 5</p> <p>プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。</p> <p>プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。</p> <p>内蔵 Web サーバーのページが開きますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>システム管理者に問い合わせてください。</p>

サポートとサービスのご案内

サポートへお問い合わせいただく場合は、発生している問題、操作パネルのディスプレイに表示されているメッセージ、問題を解決するためにどのような対処をされたか、などをお知らせください。

合わせて、製品の機種名、シリアル番号をご用意ください。製品情報の確認は、保証書や製品本体背面に貼られたラベルで確認いただくか、「メニュー設定ページ」を印刷して確認いただけます。また、サポートセンターのステッカーがある場合は、そちらの記載内容もご確認ください。

コニカミノルタホームページ: <http://www.konicaminolta.jp/>

18—付録

著作権について

本書の著作権はコニカミノルタ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

Copyright © 2013 KONICA MINOLTA, INC., JP Tower, 2-7-2 Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, 100-7014, Japan. All Rights Reserved.

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本製品を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響について、コニカミノルタ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

登録商標および商標

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタ株式会社の商標および登録商標です。

bizhub および PageScope は、コニカミノルタ株式会社の商標および登録商標です。

Mac および Mac ロゴは、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc.の商標または登録商標です。

PCL® は、Hewlett-Packard Company の登録商標です。PCL は、プリンター製品に搭載されるプリンタコマンド(言語)と機能のセットで、Hewlett-Packard Company が開発したものです。本製品は PCL 言語と互換性があります。本製品は、各種アプリケーションプログラムで使用される PCL コマンドを認識し、コマンドに対応する機能を実行できます。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタ株式会社(以下、「KM」)より提供される、プリンターシステムの一部を構成するソフトウェア(以下、「プリンティングソフトウェア」)、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ(以下、「フォントプログラム」)、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピューターシステム上で動作するソフトウェア(以下、「ホストソフトウェア」)、そして関連する説明資料(以下、「ドキュメンテーション」)が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それらすべてのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスをKMにより付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピューターにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピューターにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピューターにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションに対する権利および所有権を第三者(以下、譲受人)に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人に本ソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物のすべてを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限りです。
5. お客様は本ソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、およびそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利はすべて KM およびそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行にしたがって使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、すべての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KM およびそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KM およびそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の

用途への適合性、所有権、第3者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。

11. Notice to Government End Users (本規定に関して: 本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。) The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

騒音レベル

以下の測定は、ISO 7779 に基づいて測定され、ISO 9296 に準拠して公示されました。

メモ: 一部のモードでは、この範囲外になる場合があります。

1メートルあたりの平均音圧 (dBA)	
印刷時 (片面/両面)	53 dBA / 52 dBA
スキャン時	55 dBA
コピー時	54 dBA
待機時	なし

温度仕様条件

操作環境の温度	15.6 ~ 32.2°C
輸送環境の温度	-40 ~ 40°C

製品の廃棄

通常のご家庭ごみと同様にプリンターや消耗品を処分しないでください。廃棄やリサイクルの方法については最寄りの自治体にご相談ください。

国際エネルギースタープログラム対応について



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本プリンター未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

消費電力

製品消費電力

次表は、製品の消費電力特性です。

メモ: 一部のモードでは、この範囲外になる場合があります。

モード	説明	消費電力(W:ワット)
印刷時	印刷ジョブを受信し、プリントする動作中	520 W
コピー時	原稿をスキャンし、プリントする動作中	540 W
スキャン時	原稿をスキャンし、ファイルとして保存する動作中	20 W
レディ(待機時)	各種ジョブが受信可能な待機状態	11 W
スリープモード時	各種ジョブが受信可能な省電力モード中	5 W
ハイバネートモード	各種ジョブが受信できない省電力モード中(スリープモードよりさらに省電力)	0.4 W
電源オフ	電源スイッチがオフ(電源コードには接続)	0 W

上記の表の消費電力は、時間平均測定値を表します。瞬間的にこの数値を上回ることもあります。

スリープモード

本機は、スリープモードと呼ばれる省エネモードがあります。スリープモードは、非アクティブ(データを受信しない状態)が一定時間続くと、自動的に電力消費を抑えてエネルギーを節約する機能です。スリープモードに切替るまでの待機時間をタイムアウトと呼びます。

スリープモードになるまでのタイムアウトの出荷時設定	30 分
---------------------------	------

設定メニューでスリープモードのタイムアウトを 1 分～120 分の間で変更することができます。短い時間に設定すると、電力消費を低減しますが印刷ジョブを受信してスリープモードから復帰する処理に時間がかかるようになります。長い時間に設定すると、印刷ジョブの処理は速くなりますが、電力は消費します。

ハイバネートモード

本機は、ハイバネートモードと呼ばれるより低電力の動作モードがあります(休止状態)。ハイバネートモード中は、すべてのシステムおよび接続デバイスは安全にパワーダウンしています。

ハイバネートモードは、次のいずれかの条件で切替ります：

- ハイバネートモードのタイムアウトを設定する
- 電力モードの定期実行を設定する
- スリープボタン

ハイバネートモードの有効/無効の出荷時設定	ハイバネートにしない(無効)
ハイバネートモードになるまでのタイムアウトの出荷時設定	無効

ハイバネートモードは、非アクティブ(データを受信しない状態)が長い時間続くと、自動的に切替ります。ハイバネートモードに切替るまでの待機時間をタイムアウトと呼び、設定メニューでハイバネートモードのタイムアウトを1時間~1か月の間で変更することができます。

電源オフ

本機は電源オフの状態でも少量の電力を消費します。完全に消費電力を停止する場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。

総電気使用量

この情報は製品全体の電力使用を管理するために役立つ情報です。消費電力は電源単位のW(ワット)を用いて表され、製品全体の消費電力は各モードの時間条件で算出されます。またこれにより、製品全体の電力使用量も、各モードの電力使用量の合計で計算できます。